



0009373000



0009373-000

CZ-1113-53

山梨県令規類纂

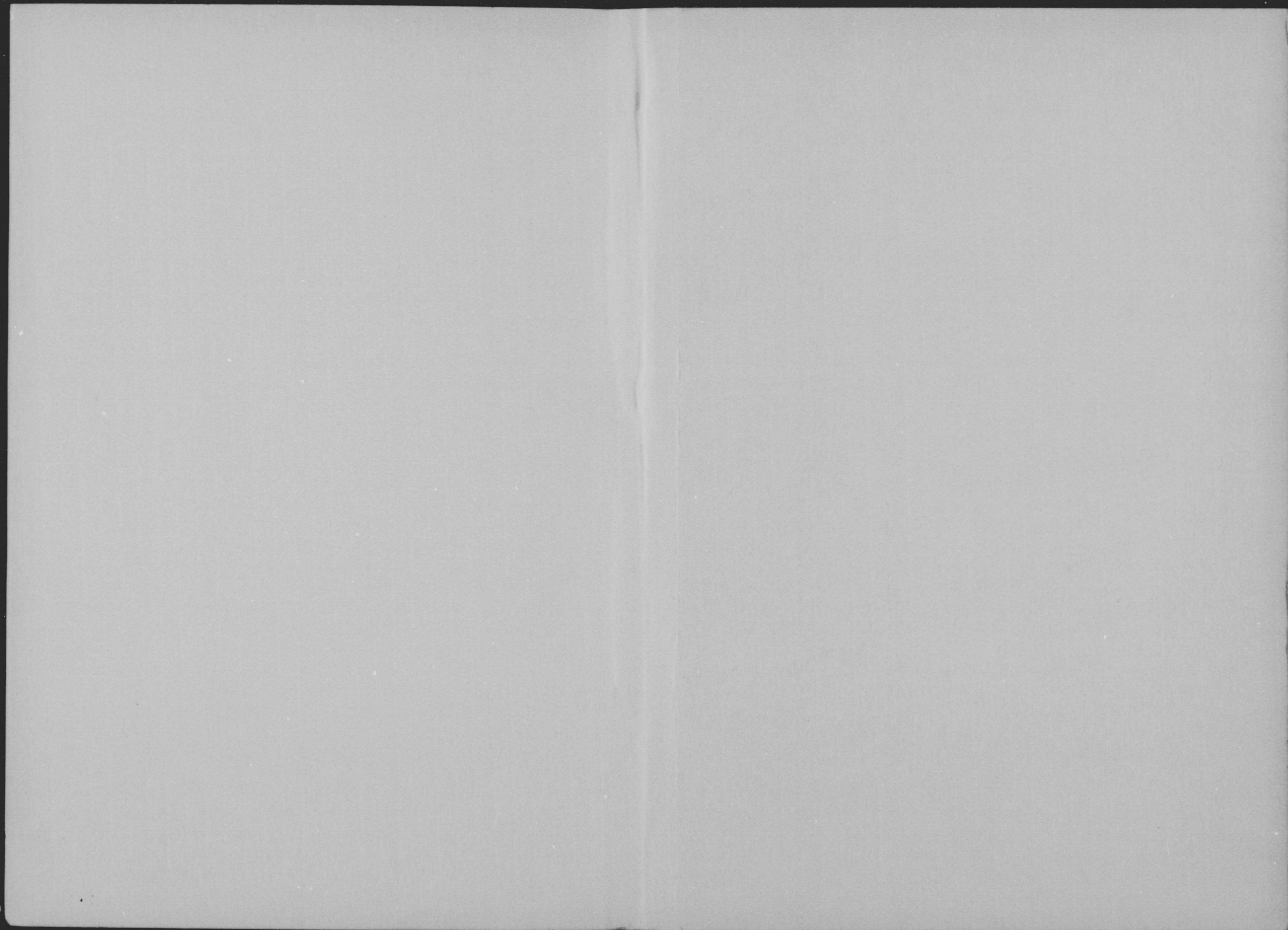
啓文社編輯局・編纂

啓文社

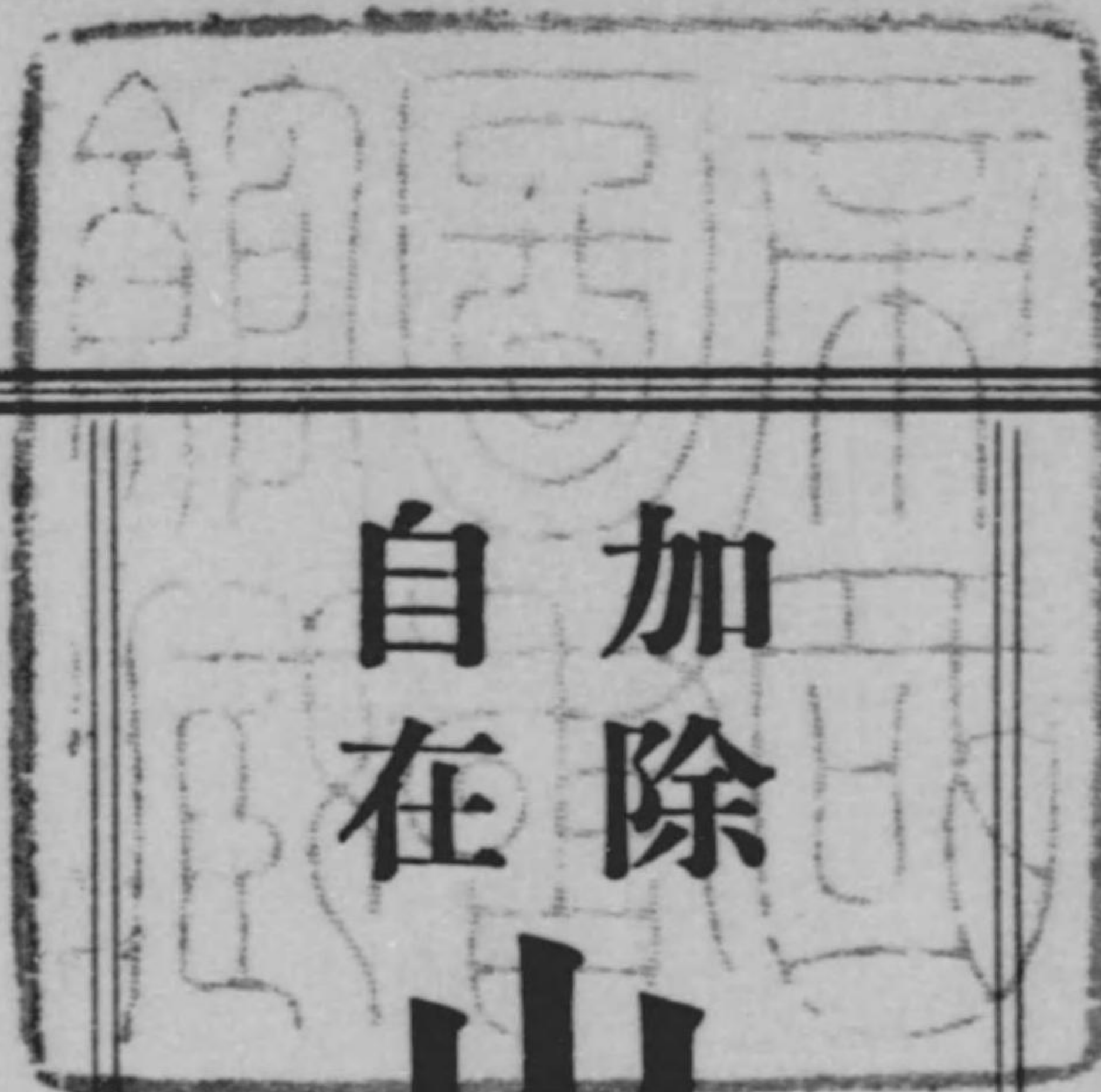
4~5

1930. 5

ABI



シシ3L15
(分類表あり)



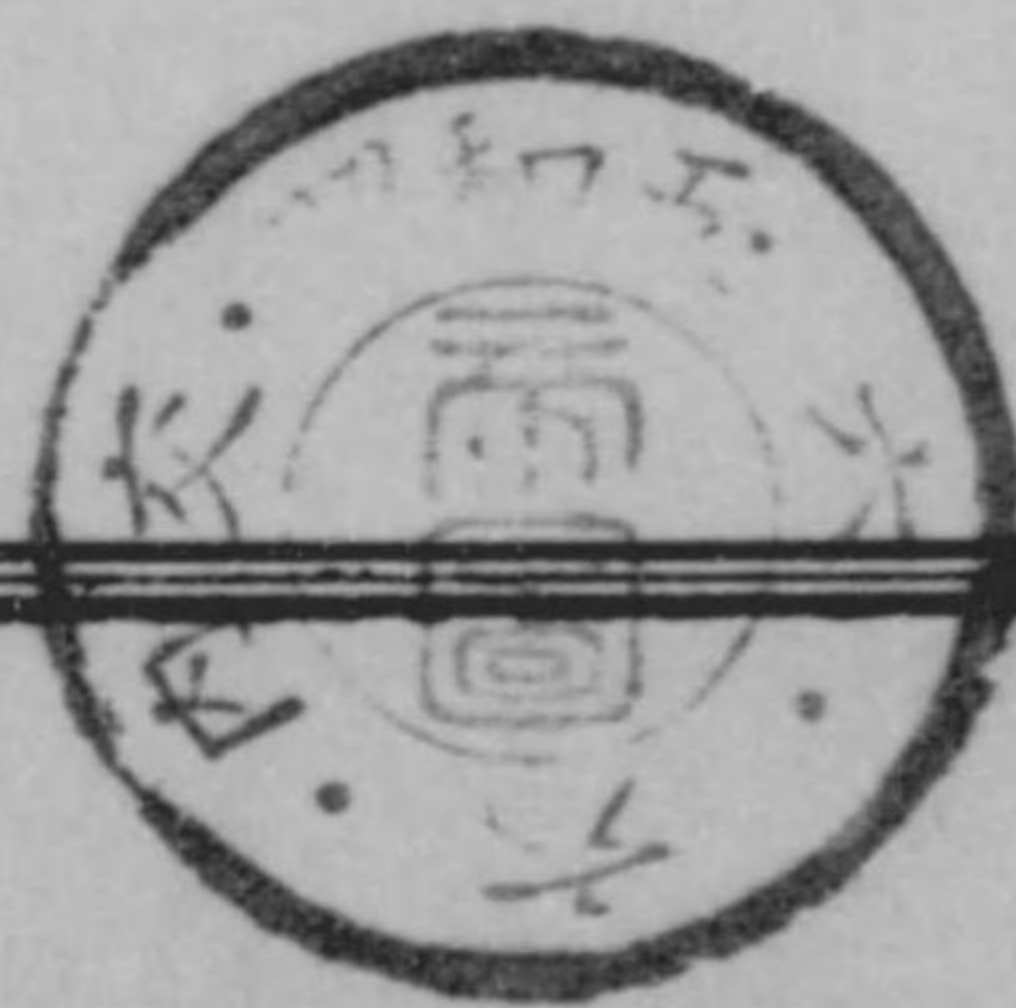
加除
自在

山梨縣令規類纂

山梨縣校閱
啓文社編輯局編纂

株式會社

啓文社發行



(シシ3L15)

分類表

3			2			1	
第八編	第七編	第六編	第五編	第四編	第三編	第二編	第一編
社	神社及宗教會	兵事	學事	財務	地方制度	議員選舉	總引規

5		4	
第十一編	警	第十編	土產
			業

察木業

CZ

1113

53



80W01231

第九編 產業

目次

第九編 産業

第一章 農事

○野守雇入心得方	昭治 七	布達甲	四八	一
○農會ニ於テ調査スヘキ農事ニ關スル報告様式	明治三六	告示	六	二
○郡農會及縣農會特別議員任期ノ件	昭和 二	縣令	二五四	五
○米麥採種圃設置獎勵規程	大正一二	縣令	一五	五
○自作農創設維持資金貸付規則	大正一五	縣令	一二一	八
○市町村(産業組合及之ニ準スヘキモノ)自作農創設維持資金貸付規則	大正一五	告示	二五四	二八
準則	大正一五	告示	二七六	三八
○山梨縣自作農創設維持調査會規則	大正一五	地發	三七九	三八
○自作農創設維持資金借入ニ關スル件	大正一五	農發	一二三	四六
○自作農創設維持ノ爲ニスル土地所有權取得ノ登録稅並ニ抵當權取得ノ登録稅免除ニ關スル件	昭和 二	農發	一二三	四六

目次 第九編 產業 農事 肥料

○自作農地取得者ノ指導督勵ニ關スル件	昭和 三	農發	七七	四七
○自作農創設維持ニ關スル件	昭和 四	農發	五二	四八
○山梨縣立農事試驗場職制	大正 一二	縣令	四九	六四
○山梨縣立農事試驗場分析規程	大正 一四	告示	一二	六四
○山梨縣立農事試驗場分析手數料徵收規程	大正 一四	縣令	四	六六
○山梨縣立農事試驗場種苗配付規程	大正 四	告示	一〇一	六七
○管内在米高調査ノ件	昭和 二	農發	二二五	六七
○古麥ノ殘存見込高調査ノ件	昭和 三	親農發	二〇	六八
○米穀需要供給狀況調査報告方ノ件	大正 七	農收	二二五一	七〇

第二章 肥料

○肥料取締法施行細則	明治 四一	縣令	五九	七三
○肥料検査官吏證票ノ件	明治 四一	告示	三八〇	八四
○肥料取締法第八條ニ依ル物料指定	明治 四二	告示	四六	八四

第三章 害蟲驅除

○害蟲驅除豫防規則	昭和 二	縣令	二	八五
○害蟲驅除豫防方法	昭和 二	告示	二	八七
○害蟲驅除豫防規則施行細則	大正 一五	訓令甲	八四	九二
○害蟲驅除施行結果報告ニ關スル件	昭和 二	農發	二三八	九三
○病害虫豫防事務成績報告ノ件	昭和 二	農發	九七	九四
○山梨縣立農事試驗場苗木青酸瓦斯燻蒸規程	大正 四	告示	九一	九四
○野鼠窒扶斯菌並殺鼠劑配付規程	大正 一二	縣令	五一	九四

第四章 耕地整理及開墾助成

○耕地整理法施行細則	大正 一七	縣令	三九	九七
○耕地整理基本調査規程	明治 四〇	縣令	四五	一四三
○耕地整理及土地改良獎勵規程	大正 九	縣令	四〇	一四四
○耕地整理及補助金交付規程	明治 四三	縣令	二一	一四五
○震災復舊耕地整理補助金交付規程	大正 一三	縣令	一	一四六

目次 第九編 產業 害蟲驅除 耕地整理及開墾助成

目次 第九編 産業 耕地整理及開墾助成

○耕地整理施行地區内ニ施設スル工事其ノ他ノ行爲ニ關スル件	大正二	縣令 二〇	一四七
○耕地整理換地處分ニ關スル件	大正元	梨農發八九〇	一四九
○設計書變更ニ關スル件	昭和二	農發 三三七	一四九
○耕地整理監督ノ件	大正三	梨農發一六二	一四九
○耕地整理豫算及決算報告ニ關スル件	大正一二	農發 一〇六	一四九
○耕地整理會計簿ノ件	明治四三	梨農發二九八	一五〇
○耕地整理組合起債認可稟請ノ件	明治四三	梨地發 七七	一五九
○耕地整理組合起債ハ一時借入ノ場合ト雖認可ヲ經ヘキ件	明治四四	梨農發三二五二ノ一	一五九
○耕地整理等ノ事業資金借入ニ關スル件	明治四四	梨農發 九六	一五九
○耕地整理及産業組合資金供給ノ件	大正四	梨地收二二三一ノ一	一六〇
○耕地整理事業及産業組合資金取扱順序ニ關スル件	大正四	梨地收一九七二ノ一	一六〇
○耕地整理ニ關スル件	大正四	梨地收一八〇九	一六五
○簡易土地改良獎勵規程	大正九	縣令 二六	一六五
○開墾地移住家屋建築補助規程	大正一四	縣令 五	一六六

第五章 畜産

○畜産獎勵規程	大正一五	縣令 九九	一七五
○縣有種畜管理規程	大正九	告示 一〇四	一七九
○種牡牛検査施行規程	明治四〇	縣令 四四	一八三
○種牡牛馬設置獎勵規則ニ關スル件	昭和四	農收 四二六	一八四
○馬匹去勢術練習生採用試験手續及受験人心得	明治三五	告示 六四	一八四
○山梨縣營牧場放牧規程	昭和二	縣令 三九	一八五
○家畜市場法施行細則	明治四四	縣令 三六	一八八
○家畜市場法施行細則ニ依ル事務取扱ノ件	明治四四	訓令乙一三三	一九七
○畜産組合ニ關スル件	大正四	梨農收二〇〇九ノ一	一九八
○畜産組合書類提出方ノ件	大正一五	梨農收九九六ノ一	一九九
○畜産組合及畜産組合聯合會事業報告書記載事項ノ件	大正五	梨農收一五二七ノ一	一九九
○畜産組合事業報告書記載事項ノ件	大正六	農收 一一四	一九九
○畜産組合事業報告其他様式改正ニ關スル件	大正一四	農發 二二四	二〇〇
○畜産組合資金取扱順序ニ關スル件	大正一四	梨地收二二四七ノ一	二〇〇
○地方競馬ニ關スル件	昭和二	農收四〇一四	二〇一

目次 第九編 産業 畜産 水産

○同上ノ件……………	昭和 二		二〇一
○畜牛結核病豫防法施行細則……………	大正 一二	農發 三三九	二〇一
○畜牛結核病豫防法令施行手續……………	大正 一二	縣令 二八	二〇一
○畜牛結核病豫防ニ關スル件……………	明治 三八	訓令甲 一八	二〇二
○畜牛結核病豫防法施行規則第三十五條ノ二ニ係ル官廳又ハ公署ノ件……………	大正 三	衛收 一九六〇	二〇六
○畜牛結核病検査ニ關スル件……………	大正 一〇	告示 一四六	二〇七
		農發 一五七	二〇八

第六章 水産

○漁業取締規則……………	大正 四	縣令 三四	二一一
○漁業取締規則ニ關スル件……………	大正 四	梨土發 一三九	二一四
○漁業ニ關スル件……………	大正 一〇	農發 一三八	二一五

第七章 鑛業

○鑛業ニ付操業上注意ノ件……………	明治 四三	梨農收 二二二九	二二七
○鑛業出願ニ對シ調査ノ件……………	明治 四三	梨農發 二二九	二二七
○鑛物並砂鑛ノ製練ニ關シ報告方……………	明治 四三	訓令甲 六五	二二七

第八章 移住

○北海道移住民汽車船賃割引券取扱方……………	明治 三七	訓令甲 一五	二一九
○北海道移住民汽車船賃割引券ヲ下付スヘキ町村役場……………	明治 三九	告示 一四四	二一九
○樺太移住民割引券取扱方……………	明治 四五	梨農發 一六一	二二〇
○樺太移住民汽車船賃割引券下付申出方……………	大正 一〇	告示 一〇二	二二〇

第九章 度量衡

○度量衡取締規則……………	大正 一〇	縣令 二二	二二一
---------------	-------	-------	-----

目次 第九編 産業 度量衡 産業組合、農業倉庫及同業組合

○度量衡取締規則施行手續……………大正一〇 訓令甲 一四 二二九

○度量衡法施行細則ニ依ル第一種取締ノ際提出ヲ要セサル度量衡器及計量器指定ノ件……………大正一〇 告示 八〇 二二六

○メートル法度量衡實施ノ件……………大正一三 農發 一九四 二二六

○メートル法度量衡ニ改定實行事項調査ニ關スル件……………大正一三 農發 二三九 二二六

第十章 産業組合、農業倉庫及同業組合

○産業組合法施行細則……………大正 六 縣令 三四 二二九

○産業組合登記届出ニ關スル書式……………大正 七 告示 一一〇 二八五

○産業組合ノ使用スル洋式帳簿様式……………大正 七 告示 二四一 二九六

○産業組合定款ノ規定上注意スヘキ事項ノ件……………大正一五 農收 二四二 三一九

○定款變更認可申請ニ關スル件……………昭和 四 農發 一三 三一九

○産業組合及産業組合聯合會監査規程準則……………昭和 二 告示 二一九 三二〇

○農業倉庫業法施行細則……………大正 七 縣令 一三 三二三

○農業倉庫獎勵規程……………大正 七 縣令 一四 三三一

○農業倉庫業務規程ノ件……………大正 六 農發 三六〇 三三二

○農業倉庫業ニ關スル件……………大正 六 農收 三六三六 三三六

○同上ノ件……………大正 六 農發 三三九 三三六

○農業倉庫業經營主體ニ關スル件……………大正一四 農收 三六六六 三三七

○同業(準則)組合規則……………明治一八 布達 甲二〇 三三七

○同業(準則)組合報告事項ノ件……………大正 三 梨農 二三〇 三三八

○重要物産同業組合並同聯合會事務取扱手續……………大正 五 縣令 一四 三三八

○重要物産同業組合經費豫算並決算様式及業務成績報告書記載事項……………大正 五 告示 一九三 三四〇

第十一章 氣象

○私設氣象觀測所設置規定……………明治二九 訓令 二 三五三

○管内氣象報告規程……………明治三三 訓令 二九 三五四

○警報信號標掲揚様式……………明治四一 告示 一〇五 三五五

○甲府測候所職制……………大正一二 縣令 四七 三五八

○甲府測候所氣象報告信號規程……………大正 五 告示 一六 三五八

目次 第九編 産業 産業組合、農業倉庫及同業組合 氣象

第十二章 商工

○ 會社組織ヲ以テ銀行業ヲ營マントスルモノノ申出方	明治三四	縣令	四五	三六三
○ 無盡業取扱ニ關スル件	大正四	梨農發	二八二	三六三
○ 無盡會社役員ニ關スル件	大正六	農收	九二三	三六五
○ 無盡業者ニ對スル支店ニ關スル件	大正六	農收	一三二五	三六五
○ 無盡業取締ニ關スル件	大正一三	親農收	八二	三六五
○ 山梨縣工業試驗場職制	大正一二	縣令	四八	三六六
○ 工業試驗場鑑定依頼者心得	明治四〇	告示	四八	三六六
○ 山梨縣工業試驗場作業資金取扱細則	明治四一	甲	二五二	三六七

第十三章 蠶業

○ 蠶絲業法施行手續	昭和四	縣令	四八	三六九
○ 蠶種検査手数料徴收規則	昭和四	縣令	四九	三九七

○ 山梨縣蠶業取締所職制	昭和三	勅令	一四	三九七
○ 山梨縣蠶業取締所處務規程	明治四五	訓令乙	二〇	三九八
○ 山梨縣蠶種検査吏員養成規程	大正九	告示	七八	三九九
○ 山梨縣蠶業試驗場職制	昭和三	縣令	二七	三九九
○ 山梨縣蠶業試驗場處務規程	昭和三	訓令乙	二二一	四〇〇
○ 山梨縣蠶業試驗場原蠶種配付規程	大正一二	縣令	二二	四〇一
○ 山梨縣指定蠶品種ニ關スル規程	大正一三	告示	三五	四〇二
○ 山梨縣指定蠶品種ニ關スル規定ニ依ル蠶品種名	大正一五	告示	四一	四〇三
○ 山梨縣養蠶教師養成規程	大正一四	告示	三〇	四〇四
○ 製絲技術者養成規程	大正一一	告示	一〇三	四〇六
○ 養蠶教師規程	昭和二	縣令	一一	四〇九
○ 山梨縣養蠶改良獎勵規程	大正一三	縣令	一一	四一三
○ 實地指導桑園委託規程	昭和三	告示	六六	四二〇
○ 桑園改良獎勵規程	大正一二	縣令	一二	四二五
○ 蠶種賣買取締規則	昭和二	縣令	三一	四二九
○ 繭賣買取締規則	大正一四	縣令	二五	四三三
○ 繭賣買取締規則施行ニ關スル件	大正一四	農發	四四〇	四三六

目次 第九編 産業 蠶業 恩賜縣有財産

○ 繭賣買取締規則事務取扱ノ件	大正一五	農發 一六	四三六
○ 繭檢定規程	大正一五	告示 一〇〇	四三七
○ 繭ノ正量取引及共同販賣方法	大正一五	告示 二七五	四三九
○ 繭市場取締規則	昭和 三	縣令 三九	四四〇
○ 繭市場取締規則ニ依ル願書添付圖面指定	昭和 四	告示 二五	四四四

第十四章 恩賜縣有財産

○ 山梨縣恩賜縣有財産管理規則	明治四五	縣令 二二	四四五
○ 山梨縣恩賜縣有財産管理規則施行細則	明治四五	縣令 二三	四五四
○ 山梨縣恩賜縣有財産施業規程並同施業案編成手續	大正 三	訓令乙一九五	四七七
○ 恩賜縣有財産實査規程	大正 三	訓令乙一九五	五二五
○ 山梨縣恩賜縣有財産實拂讓與規則	大正 四	縣令 二三	五五三
○ 恩賜縣有財産ニ關スル諸願屆書ハ出張所ヲ經由ノ件	明治四四	告示 一〇四	五五七
○ 恩賜縣有財産ノ立木、木材又ハ根株ニ用フル極印雛形	明治四四	告示 一〇三	五五七
○ 極印使用區分及使用心得	明治四四	訓令乙 七二	五五八

○ 山梨縣恩賜縣有財産及縣有模範林ノ立木及木材ノ材積單位	大正 三	告示 一七二	五五九
○ 恩賜縣有財産内ノ產物買受人其他ノ入山者ニ交付スヘキ入山證ノ雛形及之カ交付ニ關スル手續	大正 元	訓令乙 五七	五五九
○ 山梨縣下入會御料地ニ關スル權利義務繼承ノ件	明治四四	告示 一三九	五六一
○ 交付金ノ通告ヲ了セシモノ報告方	明治四五	梨恩發 七三	五六一
○ 交付金使途ニ關スル件	大正 五	梨恩發 一五〇	五六二
○ 同上ノ件	大正 五	梨恩發 一五〇ノ三	五六二
○ 同上ノ件	大正 五	梨恩發 一五〇ノ五	五六二
○ 防火線設置ニ關スル件	大正 五	梨恩發 一〇五	五六三
○ 富士嶽麓開發地貸付規程	大正 一四	告示 九九	五六三
○ 林道工夫規程	大正 八	訓令乙二四四	五六五
○ 山林課出張所及分擔區名稱位置區域	大正 一五	告示 一三二	五六六
○ 山林課出張所執務規程	大正 五	訓令乙 七八	五七〇
○ 内務部山林課出張所分擔區員服制	大正 七	告示 一八三	五八二

第十五章 森林

○ 林業獎勵規程	大正一五	縣令 三九	五八五
○ 林業講習規程	明治三八	告示 一八八	六二四
○ 公有林、社寺有林施業規程	明治四二	縣令 八一	六二四
○ 保安林施業及開墾制限地開墾規程	大正一五	縣令 四一	六三〇
○ 保安林所有者變更ニ關スル件	大正 八	山發 一一	六三九
○ 森林開墾ニ關スル件	明治四一	梨林發 五六	六三九
○ 同上ノ件	明治四一	梨林發 七五	六三九
○ 制限地開墾取扱ニ關スル件	明治四三	梨林發 一七	六三九
○ 制限地開墾ニ關スル件	大正 九	山收 八九四	六四〇
○ 制限地開墾取扱方ノ件	大正 元	梨林發 一七	六四〇
○ 同上ノ件	昭和 四	山發 一	六四〇
○ 制限地開墾手續ニ關スル件	大正一三	山發 二六九	六四一
○ 制限地開墾願ニ關スル件	大正 六	林發 一三六	六四一
○ 制限地開墾使用期間記入ノ件	大正 九	山梨三七九八	六四一
○ 森林組合資金ニ關スル件	大正 四	梨地收二二五九ノ一	六四二

○ 同上ノ件	大正 五	梨地收二二五九ノ三	六四三
○ 縣有模範林及苗圃施業ニ關スル處分規程	明治三六	訓令乙 五四	六四四
○ 樹苗需給調査ニ關スル件	大正一五	山發 二六七	六四四
○ 杉苗赤枯病豫防上ノ注意	明治四五	訓令甲 一一	六四五
○ 竹林ノ病害防止ニ關スル件	大正 七	告諭 二	六四七
○ 森林害虫驅除豫防ノ件	大正 八	縣 三七	六四八
○ 森林害虫ノ形態及被害ノ狀況並驅除豫防ノ方法	大正 八	告示 一四四	六四九
○ 御料地境界調査吏員立會ニ關スル件	明治二九	訓令 三三	六五〇
○ 製炭補助規程	大正 七	告示 二〇六	六五一

第十六章 雜

○ 産業獎勵規程	大正 四	告示 九九	六五五
○ 産業開發ニ關スル講習講話ノ件	大正 三	梨農發二二四	六五五
○ 山梨縣産業技術員養成所規程	昭和 二	縣令 一六	六五六

○副業獎勵規程	大正一三	縣令	二四	六五九
○副業組合並養鶏組合規則準則	大正一三	告示	一九五	六六三

第九編 産業

第一章 農事

●野守雇入心得方

(明治七年二月二十八日)
(布達甲第四十八號)

各村雇置候野守之儀ハ其村内耕地養水路ノ見廻作物ノ防害等防護シ其他一村内ノ雜事使役ニ供スル爲メノ趣意ニテ畢竟尋常各家雇人之其雇主ニ對シ其職務ヲ盡スモ同一ニシテ其被雇ノ村方ニ對シタル用向ノ外關係無之答ノ處追々相逢候舊來村番人ノ惡習爾今不相改動モスレハ他區他村迄モ立入威權ハ間敷名ヲ詮議等ニ托シ惡事ヲ見遁シ内濟取計金錢貪取候様ノ惡行有之趣相聞不届ノ事ニ候右様不正ノ者ハ取糺至當ノ處分可有之候得共抱置候村方ニテモ野守ノ職分ヲ誤認致シ候ヨリ前件ノ如キ弊ヲ生シ又一般人民ニ於テモ野守ノ趣意ヲ不相辨役員ノ様相心得候者モ有之旁不都合不少一體人民保護取締ノ義ハ裁判所ニ於テモ速部ヲ置キ縣廳ニテモ巡邏ノ番人ヲ設ケ惡徒追捕搜索等擔任候事ニテ野守ニ於テ右様不心得ノ所行有之

候テハ公ノ權ヲ犯シ候儀ニ相當リ以テノ外ノ事ニ付以來各村正副戸長ニ於テ篤ト人選ノ上雇入急度取締可致向後猶モ舊習不相改ニ於テハ品ニ寄り其村正副戸長ノ越度タルヘク候依テ野守雇入心得方別紙ニ相示候條厚ク可相心得事

但野守之義ハ可成相廢シ伍長等ニテ日課ヲ立村内取締ノ方法協議可致事

右之趣管内無洩相逢スル者也

野守雇入心得

一 野守ノ儀ハ一村内ノ雇人ニテ尋常農商其他一家雇人ト同一般ノ儀ニ付總テ其雇主ニ對シタル事件ノ外他ニ關係爲致問敷事

一 雇人ノ大要ハ村内耕地ノ障礙養水路ノ安危等ヲ見廻リ其他林藪或ハ社寺堂宮等ニ隱レ忍フ胡亂ノ者有無等心付或ハ平常村内一般ノ雜事ニ使役スル者ト可心得事

一 村内見廻リ先ニ於テ若盜賊等現ニ惡行有之歟或ハ人家へ忍入等見受候節ハ差押ヘ不苦候得共唯不審ト見認ル迄ニテ現ニ惡行不見届者ヲ捕押セル事一切不相成是等ハ早々村役へ報知差圖ヲ受クヘク自己ノ存意ヲ以テ差押又ハ他區他村迄モ立入候等ノ儀有之問敷事

但現ニ悪行不見届共近傍村々ヨリ追逐シ來ル歟又ハ布
 達人相害ニ似寄ノ者或ハ持兇器人ヲ殺傷スルノ類臨時
 急遽ノ際村役へ届出ル暇無之場合ハ此限ニ非スト雖モ
 素ヨリ雇主へ對シ防護スル迄ノ職務ト可相心得事
 一 耕地ノ妨害チナスカ又ハ諸惡行有之者差押方ハ村役ヨリ
 差圖ノ外他人ノ囑托ヲ受ケテ取計フ事一切不相成假令輕
 キ事ニテモ頼ミテ受見通シ又ハ取通シ金錢等貪取ル等ノ
 義ハ勿論堅ク可相戒事

報告書様式

第一號

反別	一毛作田地	二毛以上作田地	合計
	桑樹其ノ他樹木ヲ植付ケタルモノ	普通ノ裏作ノ綠肥ノ計	
其他計			

第二號

反別	田	合計

第三號

田反別	自作	小作	合計
畑反別			

第四號

耕作用馬牛頭數	牛	馬	合計
---------	---	---	----

第五號

戸數	總戸數	專業農家	兼業農家	農家合計
----	-----	------	------	------

第六號

戸數	自作農家	小作農家	自作兼小作農家	合計
----	------	------	---------	----

●農會ニ於テ調査スヘキ農事ニ關スル報告様式

(明治三十六年一月十四日) 告示第六號

明治四一年四月告示第一一二號、四二年七月同第二七〇號改正

明治三十五年農商務省令第二十六號ニ依リ農會ニ於テ調査スヘキ農事ニ關スル報告様式左ノ通相定ム

第七號

戸數	五反未滿	五反以上	一町以上	三町以上	五町以上	十町以上	五十町以上	合計

第八號

戸數	五反未滿	五反以上	一町以上	二町以上	三町以上	五町以上	合計

第九號

現在數	農學校、農事講習所、又ハ之ニ準スヘキモノヲ卒業シタル者			農事講習會又ハ之ニ準スヘキモノニ於テ講習ヲ受ケタルモノ		合計
	小學程度	中學程度	高等學校程度	大學程度		

調査ノ標準

一 一毛作トハ一年中ニ一回植付ケタルモノトスルコト(故障ノ爲收穫出來ストモ)稻、其ノ他ノ苗代ハ一毛ニ數ヘサルコト(苗ヲ販賣スル場合ニモ)桑樹、果樹其ノ他樹木ヲ植付ケタルモノハ一毛作ト看做スコト二毛以上作トハ一年中ニ一回以上別種ノ作物ヲ植付ケタルモノナルコト(但同種ノ作物ト雖モ二回以上收穫スル場合ハ二毛以上作ト看做スコト)

牛馬耕田畑ハ耕起ニ牛馬ヲ用キタルモノノミヲ計上スルコト

第一號及第二號田畑ノ面積中ニハ休閒地ヲ計上セサルモノトスルコト

農事講習所又ハ之ニ準スヘキモノヲ卒業シタル者ハ小學程度、中學程度、高等學校程度、大學程度ヲ卒業シタルモノニ分類スルコト

農事講習會又ハ之ニ準スヘキモノハ五日間以上開催シタルモノトスルコト

自作農家及小作農家ニハ兼業農家ヲモ併上スルコト

第七號農家戸數ハ區域内ニ現住スルモノヲ計上シ所有耕地ハ區域外ニ在ルモノト雖モ合算シ調査スルコト

第三號田畑面積中ニハ休閒地ヲモ計上シ第八號ノ調査ニ要スル面積ニモ同シク算入スルコト

第三號ノ面積合計ト第七號第八號ノ調査ニ要スル面積合計トハ必ス一致スルコトヲ要ス、第五號、第六號及第八號ノ戸數合計亦必ス一致スルヲ要スルコト

郡農會及縣農會特別議員任期ノ件

(昭和二年九月十九日 縣令第五十四號)

農會法第十九條ニ依リ任命スヘキ郡農會特別議員ノ任期ハ四箇年トス

附則

大正十二年六月山梨縣令第三十二號ハ之ヲ廢止ス

第九編 産業 第一章 農事

米麥採種圃設置獎勵規程

(大正十二年三月二十二日 縣令第十五號)

沿道 昭和二年四月縣令第二五號改正

米麥採種圃設置獎勵規程左ノ通定ム

米麥採種圃設置獎勵規程

第一條 米麥ノ增收ヲ圖ラムカ爲本縣ノ品種改良計畫ニ基キ郡市農會ニ於テ米麥採種圃ノ經營ヲナストキハ本規程ニ依リ獎勵金ヲ交付ス

第九編 産業 第一章 農事

第二條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル郡市農會ハ事業計畫書及様式第一號ノ表ヲ添附シ毎年米ニ在リテハ三月末日迄ニ在リテハ八月末日迄ニ知事ニ申請スヘシ

第三條 前條ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受ケヘシ但シ獎勵金交付ノ指令ヲ受ケル前、前條ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ認可ヲ受ケルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ速ニ知事ニ届出ツヘシ

第四條 獎勵金ノ交付額ハ設置費ニ對シテハ一段歩常米貳拾五圓參拾五圓以內種子配付費ニ對シテハ米麥各一石ニ付五圓以內トス

第五條 採種圃ニハ左記雛形ノ標木ヲ樹立スヘシ

何々郡市農會米(麥)採種圃 品種名 管理人名 地上八尺

第六條 採種圃ノ經營ニ關シテハ當該吏員ノ指示ニ從フモノトス

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル郡市農會ハ様式第二號ノ報告書ヲ知事ニ提出スヘシ

附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第二條ノ申請期日ハ大正十二年ニ限り四月十五日トス
様式第一號

米麥採種圃表

種別	品種名	段別	採種圃所在地	管理人名

様式第二號

一 種子配布成績報告 (米翌年七月末日限 麥同十二月末日限)

共同又は自家用ノ別	品種名	收量	種子量	配布數量	配布町村數	配布人員又は配布箇所數	採種圃設置別
共同							
自家用							

備考

- 一 有價又は無價配布ノ別
- 二 自家用一人當最多最少配布數量
- 三 共同一箇所當最多最少配布數量

二 苗代成績報告 (七月十日限)

品種名	苗代面積	播種期	播種量	種肥種類	肥料數量	生育否	病蟲害ノ狀況	管理人

三 本田成績報告 (穗揃期ノ狀況九月十五日限)

品種名	面積	播種期	種肥種類	肥料數量	穗揃期	混種ノ狀況	生育否	病蟲害ノ狀況	管理人

四 麥採種圃成績報告 (穗揃期ノ狀況五月末日限)

品種名	面積	播種期	播種量	發芽狀況	穗揃期	混種狀況	生育否	病蟲害ノ狀況	肥料種類	肥料數量	管理人

第九編 産業 第一章 農事

自作農創設維持資金貸付規則

(大正十五年十月七日)
縣令第二百二十一號

昭和三年一月二日縣令第三八號改正

山梨縣自作農創設維持資金貸付規則左ノ通定ム

自作農創設維持資金貸付規則

- 第一條 知事ハ自作農ノ創設又ハ維持ヲ行フ爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ市町村、産業組合及之ニ準スヘキ者ニ對シ資金ヲ貸付ス
- 第二條 前條ノ資金ハ左記該當者ニ對シ貸付クルコトヲ要ス
 - 一 自作田畑ヲ購入セムトスル者
 - 二 自作田畑ヲ維持(自作田畑トシテ土地ヲ購入シタルニ因リ生シタル其ノ土地ノ抵當債務ノ借替)セントシ知事ノ適當ト認ムル者
- 第三條 本資金ノ貸付利率ハ一箇年三分五厘トシ其ノ償還方法ハ貸付年度内据置廿四箇年賦均等償還法ニ依リ毎年三月十日限リ當該年度ノ金額ヲ償還セシム但シ特別ノ事情アルトキハ償還方法ヲ變更スルコトアルヘシ
- 第四條 本資金ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ様式第一號申請書ニ左ノ書類ヲ添付シ前年度八月末日迄ニ之ヲ知事ニ提出ス

- 一 様式第二號ニ依ル事業計畫書
- 二 事業ニ關スル收支豫算書
- 三 貸付ニ關スル規程
- 四 市町村ニ在リテハ起債決議書市町村組合ニ在リテハ起債決議書及組合規約ノ謄本、産業組合及産業組合聯合會ニ在リテハ定款、借入額最高限度決議書ノ謄本、最近年度事業報告書、財産目錄及貸借對照表
- 第五條 本資金借入申請中ノ者前條第一號乃至第三號ノ事項及第四號ノ事項中事業施行ニ關スルモノヲ變更シタルトキハ其旨遲滞ナク知事ニ届出ツヘシ
- 第六條 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者前條ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受ケヘシ
- 第七條 貸付ノ通知ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク様式第三號ノ借入契約書ヲ提出シ資金ノ貸付ヲ受ケヘシ
- 第八條 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者自作田畑トシテ土地ヲ購入シ又ハ維持セムトスル者ニ對シ之カ貸付ヲ行フトキハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス
 - 一 借受人ハ現ニ耕作ニ從事シ自作田畑ノ經營ヲ持續シ得ル見込アル者ナルコト

- 二 借受人ハ購入セムトスル土地カ小作地ナルトキハ其ノ土地ノ小作ナルコト但シ其ノ土地ノ購入耕作ニ付當該小作人ノ同意ヲ得タル者ナルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 三 借受人ハ簡易生命保險加入者ヲ先ニスルコト
- 四 購入セムトスル土地ノ購入價格ハ借受人自作田畑トシテ其土地ノ經營ヲ持續シ得ル爲附録ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及當該地方ニ於ケル普通價格ヲ超エサルコト
- 五 小作權賣買ノ慣行アル土地ニ於テ土地ノ購入ニ際シ其ノ土地ノ小作權ヲ併セ購入スルトキハ土地ノ購入價格ニ小作權ノ購入價格ヲ加算シタルモノカ前號ノ標準價格及普通價格ヲ超エサルコト
- 六 維持セムトスル土地ノ抵當債務額ハ第四號ノ標準價格及普通價格ヲ超エス其ノ購入價格ハ購入當時ニ於ケル第四號ノ標準價格ヲ超エサルコト
- 七 購入シ又ハ維持セムトスル土地ハ其ノ上ニ自作ノ障礙ト爲ルヘキ權利存在セサルコト
- 八 購入セムトスル土地ノ上ニハ抵當權存在セサルコト
- 九 購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ價格ハ四千圓ヲ超エサルコト但シ現ニ田畑ヲ所有スル者ニ對スル貸付ニ在

- 十 貸付利率ハ年三分五厘以下、据置期間ハ貸付年度内トシ償還期間ハ知事ノ適當ト認ムル場合ヲ除クノ外二十年ヲ下ラサルコト
- 十一 貸付ハ年賦償還又ハ半年賦償還ノ方法ニ依リ元金ト利息トヲ併セ計算シ毎年同一ノ金額ヲ償還セシムルコト
- 十二 借受人前號ニ依ル償還金額ノ外未償還金額ヲ償還セムトスルトキハ之ヲ認ムルコト
- 十三 購入シ又ハ維持シタル土地ノ收穫高不可抗力ニ因リ著シク減少シ又ハ皆無トナリタルトキハ借受人ノ事情ニ應ジ償還方法ヲ適當ニ變更スルコト
- 十四 購入シ又ハ維持シタル土地ノ全部ノ上ニ貸付金ノ擔保トシテ第一抵當權ヲ設定セシムルコト

五 借受人ハ償還ヲ了リタルトキト雖モ貸付ノ際決定セラレタル償還期間内及第十三號ニ依リ變更セラレタル償還期間内ハ貸付者ノ承認ヲ得ルニ非サレハ當該土地ノ自作ヲ中止又ハ廢止シ及第十四號ノ抵當權ヲ除クノ外其ノ土地ノ上ニ抵當權ヲ設定セシメサルコト

六 借受人ハ前號ノ期間内其ノ土地ヲ讓渡スルコトヲ得サルモノトスルコト但シ貸付者ノ定ムル制限ニ從ヒ其ノ土地ヲ貸付者又ハ貸付者ヲ經テ之ヲ第三者ニ讓渡ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

七 前號ノ規定ニ依リ貸付者ヲ經テ土地ヲ第三者ニ讓渡スルトキハ其ノ讓受人ハ第一號ノ資格ヲ具備シ且田畑ヲ所有セス又ハ第八號但書ニ該當スルモノニシテ借受人ノ債務ヲ引受クル者ナルコト

八 前號ノ讓受人ナキ場合ニ於テ其ノ他ノ者ニ土地ヲ讓渡シタルトキハ讓渡ノ際借受人ヲシテ未償還金額ヲ返還セシムルコト

九 借受人前號ノ規定ニ違反シタルトキハ違約金ヲ徴收シ且貸付金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシメ又ハ左ノ金額ヲ以テ土地ヲ先買シ得ルコト

十 購入價格ノ全額ニ相當スル金額ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額

合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額

十一 購入價格ノ一部ニ相當スル金額ノ貸付ヲ爲シタル場合又ハ維持ノ爲メ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ貸付當時ニ於ケル其ノ土地ノ價格(購入ノ場合ニ在リテハ購入價格)ト貸付金額トノ差額ヲ加算シタル金額

十二 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者ハ土地價格其ノ他重要ナル事項ノ評定ニ付知事ノ適當ト認ムル機關ヲ設置シ調査審議セシムルコトヲ要ス

十三 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者ハ其ノ貸付ヲ受ケタル日ヨリ壹箇月以内ニ第八條ニ依リ貸付ヲ了スルコトヲ要ス但シ知事ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

十四 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者貸付ヲ了シタルトキハ遲滞ナク様式第四號ニ依リ貸付調査知事ニ提出スヘシ

十五 本資金ノ貸付ヲ受ケタルモノカ第八條第十二號第十八號第十九號ニ依リ貸付金ヲ返還セシメタルトキハ直ニ其ノ事由ヲ具シ知事ニ之ヲ償還スヘシ

十六 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者元利金ノ償還ヲ怠リタル十三條 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者元利金ノ償還ヲ怠リタル

ルトキハ償還金百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ延滞利息ヲ支拂フヘシ

第十四條 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者ハ翌年度四月三十日迄ニ前年度ノ事業ニ關スル收支決算書及様式第五號ニ依ル事業報告書ヲ知事ニ提出スヘシ

第十五條 本資金ノ貸付ヲ受ケタル者左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ知事ハ償還金ノ全部若ハ一部ノ即時還付ヲ命シ又ハ償還方法ヲ變更セシムルコトアルヘシ

一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ

二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

第十六條 本則ニ依リ知事ニ提出スヘキ書類ハ産業組合、産附録

第十七條 本則ニ依リ知事ニ提出スヘキ書類ハ産業組合、産附録

業組合聯合會ニ在リテハ市町村長ヲ經由スヘシ

第十七條 本則ハ自作農ノ創設又ハ維持ヲ行フ者其ノ事業ニ附隨シテ第八條ノ資格ヲ有スル者ノ爲ニ必要ナル宅地ノ創設又ハ維持ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス但シ宅地トシテ講入シ又ハ維持セムトスル土地ノ面積ハ現ニ所有スル宅地(維持セムトスル宅地ヲ除ク)ノ面積ヲ併セ五畝歩以内トシ其ノ價格及貸付金額ハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中八月末日トアルハ大正十五年度ニ限り十一月十日迄大正十六年度ハ十二月末日迄トス

備考

小作料金—地租及地租附加税又ハ之ニ準スルキ地方税

0.06273

一 小作料ハ平年作ニ於ケル實納小作料ニ依ルコト但シ小作料ノ定ナキ土地ニ在リテハ其ノ土地ニ類似スル土地ノ小作料ニ依ルコト

小作料カ平年作ニ於ケル收穫高ノ五割五分以上ナル場合ニ於テハ其ノ五割五分ニ相當スル額ヲ以テ小作料ニ代フルコト

- 小作料方平年作ニ於ケル收穫高ノ四割以下ナル場合ニ於テ農業經營費比較的多カラサルトキ其ノ他特殊ノ事由ナキトキハ收穫高ノ四割迄ノ範圍ニ於テ適宜ノ程度ニ認定シタル額ヲ以テ小作料ニ代フルコトヲ得ルコト
- 二 小作料及收穫高ヲ價格ニ換算スル場合ニ於テハ其ノ物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五箇年ノ平均價格ヲ用フルコト
- 三 小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ土地ノ購入ニ際シ其ノ土地ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ小作料ハ小作權ノ賃借料(又小作料)ヲ含ムモノヲ以テスルコト
- 様式
- 第一號

自作農創設維持資金借入申請書

一 金額 金 圓 何年度分

二 用途 自作田畑購入維持資金ニ充當

右金額御貸付相成度別紙關係書類相添へ此段申請候也

年 月 日

郡市 町村 番地

債務者 市町村長産業組合理事又ハ之ニ準スヘキ者

郡市 町村 番地

保證人 (産業組合、産業組合聯合會ノ場合)

山梨縣知事 殿

第二號 事業計畫書

一 計畫ノ事由

本事業計畫ノ必要ナル事由トシテ自作及小作ノ現状其ノ變遷、土地分配、小作爭議、永小作ノ狀況等ヲ記スコト

二 借入調査

計	借入先	借入金額	借入日期	据置期間	償還期間	年利率	据置期間内ノ利息	償還金年額	申請者負擔年額		備考
									据置期間内	償還期間内	
		円		月	年		円	円	円	円	

注意

- 一 借入手續中ノモノニ在リテハ見込借入金額、借入期日等ヲ記載シ其旨備考欄ニ記載スヘシ
- 二 申請者負擔年額欄ニハ貸付利率ヲ低減スル爲使用スル金額ヲ記載スヘシ
- 三 貸付利率、償還期間及償還方法
- 四 借入先別ニ記入スルコト
- イ 貸付金ノ使途明細
- イ 購入

計		購入		何年度借入ノ分
計	維持	計	購入	
宅計 地	宅計 地	宅計 地	宅計 地	
其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	

注意

- 備考欄ニハ賣却者ノ賣却前ニ於ケル田畑所有段別ニ依リ十町以上、三町以上、一町以上、一町未満ニ区分シ各別ニ人数及賣却段別ヲ記載スヘシ
- 貸付未済金額ノ保管方法欄ニハ貸付未済金額ヲ他ニ預入シタル場合ニ於テハ其ノ預先預金ノ種類及利率ヲ記載スヘシ

二 貸付後ノ成績

規則		付		貸	
何年度貸付ノ分		何年度貸付ノ分		貸付年度別	
小計		小計		小計	
町村	町村	町村	町村	町村	町村
大字	大字	大字	大字	大字	大字
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
金額	金額	金額	金額	金額	金額
償還金運納	償還金運納	償還金運納	償還金運納	償還金運納	償還金運納
地目別	地目別	地目別	地目別	地目別	地目別
段別	段別	段別	段別	段別	段別
其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他
備考	備考	備考	備考	備考	備考

借受人ノ土地經營 及經濟狀態ノ概況	反		違	
	計	小計	計	小計

三 第八條第十二號及第十三號ニ依ル償還方法ノ變更

貸付年度別	町村大字		地目別	段別	變更前ノ償還方法		變更後ノ償還方法		變更事由	備考
	氏名				經過期間 年 月 日	償還金額	經過期間 年 月 日	償還金額		

計	何年度貸付ノ分		何年度貸付ノ分	
	小計	人	小計	人
	宅計其畑田 地ノ他	宅計其畑田 地ノ他	宅計其畑田 地ノ他	宅計其畑田 地ノ他

注 意
第十三號ニ依ル變更ニ在リテハ變更ノ事由欄ニ收穫ノ減少又ハ皆無ノ事由及其ノ狀況ヲ記載スヘシ

第九編 産業 第一章 農事

四 第八條第十五號ニ依リ承認ヲ得タル抵當權ノ設定

何年度貸付ノ分	小計	貸付年度別												
		町村大字	氏名	地目別	段別	価格	未償還金額	残存期間	抵當金額	抵當期間	利率	償還方法	設定承認シタル事由	備考
		人	田畑 其他	田		円	円	年月	円	年月	%			
		人	田畑 其他	田		円	円	年月	円	年月	%			

五 第八條第十五號ニ依リ自作ヲ爲ササル場合

何年度貸付ノ分	小計	貸付年度別										
		町村大字	氏名	地目別	段別	自作ヲ爲ササル事由	自作ヲ爲ササル期間	備考				
		人	田畑 其他									
		人	田畑 其他									

小計	何年度貸付ノ分	小計	何年度貸付ノ分
計	宅計畑田	計	宅計畑田
	地		地
	其畑田		其畑田
	ノ他		ノ他

注意
備考欄ニハ自作チ爲ササル期間内ニ於ケル土地ノ利用状況ヲ記載スヘシ
六 第八條第十六條ニ依ル土地ノ讓渡

貸付年度別	譲渡	受	人	譲渡	渡	地	備考
氏大 人名	町 名	譲 受 前 所 有 地	地 目 別	段 別	讓 渡 價 格 未 償 還 金	期 殘 存 當 初	由 及
氏大 人名	町 名	段 別	價 額	段 別	最高 平均 額	期 殘 存 當 初	由 及

小計	何年度貸付ノ分	小計	何年度貸付ノ分
計	宅計畑田	計	宅計畑田
	地		地
	其畑田		其畑田
	ノ他		ノ他

計									
小計									
計	人	人	計	畑田					
宅地			計	其畑田					
			宅地	ノ他					

注意

譲渡ニ依リテ償還期間及償還金年額ニ變更テ生シタル場合ニ於テハ其ノ旨備考欄ニ記載スヘシ

市町村(産業組合及之ニ準スヘキモノ)自作農創設維持資金貸付規則準則

市町村(産業組合及之ニ準スヘキモノ)自作農創設維持資金貸付規則準則

(大正十五年十一月十五日) 告示第二百五十四號

市町村(産業組合及之ニ準スヘキモノ)自作農創設維持資金貸付規則準則左ノ通定メタリ

何々市町村(産業組合)自作農創設維持資金貸付規則(準則)

第一條 (本組合ハ組合員中)自作ノ目的ヲ以テ土地ヲ購入シ又ハ維持スル爲資金ヲ必要トスル者ニ對シ本規則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ之カ貸付ヲ爲ス

第二條 前條資金ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ左ノ資格ヲ有ス

- ルコトヲ要ス
- 一 資金ヲ借受クルニ非サレハ土地ヲ購入シ又ハ維持スルコト能ハサルコト
 - 二 現ニ農業ニ従事シ居ルコト
 - 三 購入又ハ維持シタル畑田ノ自作ヲ繼續シ得ル見込アルコト
 - 四 購入セムトスル土地カ小作地ナル場合ニ於テハ當該土地ノ小作者ナルコト但シ購入耕作ニ付其ノ土地ノ小作者ノ同意ヲ得タル者ナルトキハ此ノ限ニ在ラス
 - 五 土地ヲ維持スル爲資金ノ貸付ヲ受ケムトスルトキハ最近當該土地ヲ購入シタル爲現ニ高利ノ債務ヲ有スルコト
 - 六 現ニ簡易生命保險加入者ナルカ又ハ加入ノ見込アル者

第三條

購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ價格ハ四千圓ヲ超エタルコトヲ得ス但シ現ニ畑田ヲ所有スル者ニ對スル貸付ニ在リテハ其ノ畑田(維持セムトスル畑田ヲ除ク)ノ價格ト購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ價格トノ和カ四千圓ヲ超エサルコトヲ要ス

購入セムトスル土地ノ價格ハ附錄ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及當該地方ノ普通價格ヲ超エサルコトヲ要ス

現ニ所有スル土地ノ價格ノ算定ハ前項ノ標準價格ニ依ル但シ普通價格標準價格ヨリ低キトキハ普通價格ニ依ル

小作權賣買ノ慣行アル土地ニ於テ其ノ購入ニ際シ小作權ヲ併セ購入スルトキハ土地ノ購入價格ニ小作權ノ購入價格ヲ加算シタルモノカ前項ノ標準價格普通價格ヲ超エサルコトヲ要ス

維持セムトスル土地ノ抵當債務額ハ本條第二項ノ價格ヲ超エス其ノ土地ノ購入當時ニ於ケル價格ハ第二項ノ標準價格ヲ超エサルコトヲ要ス

貸付金額ハ一世帯ニ付四千圓以内トシ土地ノ購入價額又ハ土地抵當債務額ノ全額トス但シ全額未滿ノ貸付ヲ受ケムトスル者ニ對スル貸付金額ハ其ノ要求額トス

第四條 購入シ又ハ維持セムトスル土地ハ其ノ上ニ自作ノ障礙トナルヘキ權利存在セサルコトヲ要ス

第五條 資金ノ貸付ハ購入セムトスル者ヲ先ニシ維持セムトスル者ヲ後ニス

購入又ハ維持セムトスル者ノ間ニ於ケル貸付ノ順位ハ左記ニ依ル

- 一 農業ニ依リ主トシテ生計ヲ立ツル小作農又ハ自作農兼小作農
- 二 農業ニ依リ主トシテ生計ヲ立ツル自作農
- 三 農業労働者

前項ニ依ル同順位ノ者ニ在リテハ土地單價ノ低キ者ヲ先ニス

第六條 資金貸付利率ハ一簡年三分五厘トシ其ノ償還方法ハ貸付年度ハ据置二十四箇年賦均等償還ノ方法ニ依リ毎年三月日限リ當該年度ノ金額ヲ償還セシム但シ据置期間内ノ利息計算ハ貸付金交付ノ翌日ヨリ起算シ償還當日迄日割ヲ以テ計算ス

第七條 借受人所定償還金額ノ外未償還金額ノ全部若ハ一部ヲ償還セムトスルトキハ之ヲ認ムルコトアルヘシ

第八條 資金ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ第一號様式ニ依ル借

受申込書ニ第二號様式ニ依ル土地目録ヲ添付シ前年度八月日迄ニ之ヲ市町村長(産業組合長)ニ差出スヘシ

第九條 資金貸付ノ通知ヲ受ケタル者ハ第三號様式ニ依ル借用證書ヲ市町村長(産業組合長)ニ差出シ資金ノ貸付ヲ受クヘシ

第十條 資金ノ貸付ハ擔保貸付トシ借受人ノ購入シ又ハ維持セムトスル土地全部ノ上ニ第四號様式ニ依リ第一抵當權ヲ設定セシム

第十一條 購入シ又ハ維持シタル土地ノ收穫高不可抗力ニ因リ著シク減少シ又ハ皆無トナリタルトキハ借受人ハ事情ヲ具シ既定ノ償還金支拂方法ノ變更ヲ市町村長(産業組合長)ニ申請スルコトヲ得

第十二條 借受人ハ借入金ノ償還ヲ了シタルトキト雖貸付ノ際決定シタル償還期間内及前條ニ依リ變更セラレタル期間内ハ市町村長(産業組合長)ノ承認ヲ經ルニ非サレハ當該土地ノ自作ヲ中止シ又ハ廢止シ及第十條ノ抵當權ヲ除クノ外其ノ土地ノ上ニ抵當權其ノ他ノ權利ヲ設定スルコトヲ得ス
第十三條 借受人ハ前條ノ期間内當該土地ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ第十四條ニ依リ其ノ土地ヲ本市町村(産業組合)ニ於テ先買シ又ハ市町村長(産業組合長)ノ承認ヲ經

テ之ヲ第三者ニ讓渡スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第十四條 借受人本則ニ違反シタルトキハ違約金一反歩ニ付金何圓ヲ徴シ且ツ貸付金ノ未償還ヲ一時ニ返還セシメ又ハ左ノ金額ヲ以テ當該土地ヲ先買ス

一 購入價格ノ金額ニ相當スル金額ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額
二 購入價格ノ一部ニ相當スル金額ノ貸付ヲ爲シタル場合又ハ維持ノ爲メ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ貸付當時ニ於ケル其ノ土地ノ價格(購入ノ場合ニ在リテハ購入價格)ト貸付金額トノ差額ヲ加算シタル金額

第十五條 借受人第六條ノ償還期日ヲ經過スルモ其ノ負擔ニ係ル償還ヲ爲ササルトキハ償還金百圓ニ付日歩何錢ノ割合ヲ以テ償還期限ノ翌日ヨリ償還當日迄ノ延滞利息ヲ徴收ス
第十六條 借受人ハ左記事項ヲ遲滞ナク市町村長(産業組合長)ニ報告スヘシ
一 借入ノ目的ニ資金ヲ使用スルコト能ハサルニ至リタルトキハ其ノ理由
二 購入シタル土地ニ對スル所有權取得ノ登記又ハ維持セムトスル土地ノ抵當權等ノ抹消登記ヲ了シタルトキハ

其ノ年月日

三 住所職業ノ變更

第十七條 借受人死亡隱居又ハ住所不明トナリタルトキハ其ノ相續人ヨリ遲滞ナク其ノ旨市町村長(産業組合長)ニ届出ツヘシ

(借受人本組合ヲ脱退セムトスルトキハ六箇月以前ニ本組合長ニ届出ツヘシ)

第十八條 第八條ニ依リ資金ノ貸付申請スル者併せて自己ノ宅地ヲ購入シ又ハ維持セムトスル場合ニ於テモ本則ヲ準用ス

附 錄

第七條第三號ノ算式

小作料額一租租及地租附加税又ハ之ニ準スルキ地方税
0,062273

備 考

- 一 小作料ハ平年作ニ於ケル實納小作料ニ依ルコト但シ小作料ノ定ナキ土地ニ在リテハ其ノ土地ニ類似スル土地ノ小作料ニ依ルコト
- 二 小作料カ平年作ニ於ケル收穫高ノ五割五分以上ナル場合ニ於テハ其ノ五割五分ニ相當スル額ヲ以テ小作料ニ代フルコト
- 三 小作料カ平年作ニ於ケル收穫高ノ四割以下ナル場合ニ於テ農業經營費比較的多カラサルトキ其ノ他特殊ノ

前項宅地ノ面積ハ現ニ所有スル面積(維持セムトスル面積)ヲ加算シ五畝歩以内トシ其ノ價格五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス
第十九條 本規程ニ明文ナキ事項ハ凡テ本組合定款及總會ノ決議ニ依ル

附 則

本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第八條中八月 日トアルハ大正十五年度ニ在リテハ 月 日
迄大正十六年度ニ在リテハ 月 日迄トス

- 事由ナキトキハ收穫高ノ四割迄ノ範圍ニ於テ適宜ノ程度ニ認定シタル額ヲ以テ小作料ニ代フルコトヲ得ル
- 二 小作料及收穫高ヲ價格ニ換算スル場合ニ於テハ其ノ物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五年ノ平均價格ヲ用フルコト
- 三 小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ土地ノ購入ニ際シ其ノ土地ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ小作料ハ小作權ノ賃借料(又小作料)ヲ含ムモノヲ以テスルコト

第一號様式 (美濃紙)

自作農創設維持資金借入申込書

一 金額

二 借入金用途

記載例

何地何某ヨリ別記目録記載ノ土地ヲ金何圓ニテ購入ノ爲

又ハ何年何月何日購入何地何某ニ擔保トシテ利率年何分返済期限年月日約束ニテ金何圓借用右償還未済

金何圓返済ノ爲

三 借入金ノ交付ヲ受ケムトスル年月日

記載例

大正 年 月 日

四 償還方法及期限

記載例

規則第 條ニ依ル御指定ノ通

前記ノ金額右ノ條件ニテ御貸下相成度此段申込候也

住所

借受人 氏

年 月 日 生

市町村長(産業組合長)宛

第二號様式 (美濃紙)

土地目録

(購入ノ場合)

(甲) 購入者

一 購入者住所氏名

町村大字氏名 (生年月日)

二 所有土地

地目	段	別	時	價	備	考
田						
畑						
宅地						
原野						
計						

●山梨縣自作農創設維持調查會規則

(大正十五年十二月廿日)
告示二百七十六號

昭和二年一〇月告示第二四三號改正

山梨縣自作農創設維持調查會規則左ノ通り定メタリ

山梨縣自作農創設維持調查會規則

第一條 本會ハ知事ノ諮問ニ應シ自作農ノ創設維持ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條 本會ハ會長一名副會長一名及委員若干名ヲ以テ之ヲ組織ス

會長ハ知事、副會長ハ內務部長ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ關係官吏縣會議員タル者及學識經驗アル者ノ中ヨリ知事之ヲ囑託又ハ任命ス

第三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長トナル會長事故アルトキハ副會長之ヲ代理シ正副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ指命スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第四條 本會ニ幹事及書記ヲ置キ知事之ヲ命ス
幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理シ書記ハ幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第五條 會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定ム

第六條 會議ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス但シ豫メ特ニ議決ヲ經タル場合ハ此限ニ在ラス

第七條 議事ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス
可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第八條 會長、副會長官公吏タル委員及職員會務ノ爲旅行ヲ爲ストキハ官職相當ノ旅費ヲ支給ス

官公吏ニ非サル委員會務ノ爲旅行ヲ爲ストキハ縣費支辨旅費規則ノ例ニ依リ同規則第一號表中委任待遇者ノ額ヲ支給ス但シ會議當日ハ日當ヲ支給セス

官公吏ニ非ラサル委員會議ニ出席シタルトキハ手當トシテ一日ニ付金三圓ヲ支給ス

第九條 本則ニ明文ナキ事項ハ會長ノ定ムル所ニ依ル

●自作農創設維持資金借入ニ關スル件

(大正十五年十二月二十五日)
地發第三七九號通牒

十月七日付縣令第百二十一號自作農創設維持資金貸付規則ニ依ル資金借入ニ付テハ市制第百六十六條第一號町村制第百四

十六條第一號及市制町村制施行令第五十九條第六號ニ依リ當該各市町村ハ知事ヨリ起債許可ヲ受クヘキ義ニ有之候條右起債ノ場合ハ別記各項ニ準據相成度

別記

- 一 自作農創設維持事業費ハ特別會計トナス可トス
- 二 右起債ニ關シテハ左記事項ニ付市町村會ノ議決ヲ經ルコト

1 特別會計設置 (別紙様式ノ通)

2 事業費歳入出豫算 (右同)

3 起債及償還方法 (右同)

(別紙様式)

特別會計設置ノ件

自作農創設維持ノ爲左記特別會計ヲ設クルモノトス

記

一 何市(町)(村)自作農創設維持事業費

大正何年度何市(町)(村)自作農創設維持事業費歳入歳出豫算

一金	何	程	歳入	歳出	歳入豫算高

第九編 産業 第一章 農事

一金 何 程
歳入歳出差引残金ナシ

歳出豫算高

大正何年度何市(町)(村)自作農創設維持事業費歳入歳出豫算

科 款	項 目	豫算額	種 目	算		増 減	附 明 記
				本年度 豫算額	前年度 豫算額		
一 市(町)(村)債	一 市(町)(村)債		一 市(町)(村)債				
二 償還金	一 元金償還		一 元金償還				何年度貸付元金何圓ノ内本年度償還金
	二 利 子		一 利 子				何年度貸付元金何圓ニ對スル本年度利子
三 繰入金	一 繰一般會入計						

第九編 産業 第一章 農事

科 款	項 目	豫算額	種 目	算		増 減	附 明 記
				本年度 豫算額	前年度 豫算額		
一 貸付金	一 自作農創設維持資金貸付金						
歳入	合 計		一 繰前越年度				
歳出	合 計		一 繰前越年度				
			一 一時預金子				
			二 延滞金				
			三 違約金				

昭和何年度諸税負擔一覽表

何市(町)村

市(町)(村)税	縣稅	直接國稅	稅目	金額	納稅者總數ニ對スル平均一人當	總人口ニ對スル平均一人當	總戶數ニ對スル平均一戶當
			金				
			額				
			納稅者總數ニ對スル平均一人當				
			總人口ニ對スル平均一人當				
			總戶數ニ對スル平均一戶當				

備考

總人口
總戶數
納稅者總數

人 戶 人

自作農創設維持資金ニ關スル調

山梨縣

郡市

村町

總戶數	種別	耕作地所有者	耕作者					計
			兼業	專業	兼業	專業	兼業	
人	戶	人	人	人	人	人	人	
			以十町上歩	以五町上歩	以二町上歩	以一町上歩	以五反上歩	未五反滿
			人	人	人	人	人	人

種別	人員	所要反別	購入資格	貸付見込額	購入セムトスル土地一一反當負債	借入利率		借替チ必要トスルモノ	人員	金額
						低	高			
自作農タラムトスル希望アル者			一反當總額	一反當總額	一反當總額					
今同貸付										
計劃ノ大要										
從前貸付ノ實施成績										

●自作農創設維持ノ爲ニスル土地所有權取得ノ登録税免除ニ抵當權取得ノ登録税免除ニ關スル件

(昭和二年四月十三日)
(農發第一二三號通牒)

内務部長ヨリ各市町村長宛

客月二十九日法律第六號ヲ以テ登録税法中改正セラレ自作農創設維持ノ爲ニスル縣、市、町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ施設ニ依ル個人ノ土地所有權取得ノ登記並ニ縣市町村産業組合又ハ産業組合聯合會カ自作農創設維持ノ爲ニスル抵當權取得ノ登記ニハ地方長官ノ證明アル場合、其ノ登録税ヲ免除セラルルコトニ相成候ニ付テハ添付ノ様式ニ依リ願書提出相成度

追而様式第一號ノ證明願書ハ貴町村(組合)ヲ經由ノ上申達有之度

様式第一號
登録税法施行規則第五條ニ依ル證明願書
一 證明ヲ受ケントスル物件ノ指示

町村	大字	地番	地目	反別	價格	備考
						1 貸付金使途明細書ノ要領ニ依リ町村大字地番地目ハ各筆毎ニ記載シ價格ハ合計ニ於テ記載スルコト
						2 事項記載ノ餘白ニハ横線ヲ附シ餘白ナルコトヲ明ニスルコト
合計						

右ハ山梨縣自作農創設維持資金貸付規則ニ依リ昭和 年度ニ於テ資金ノ貸付ヲ受ケ何某ヲシテ購入セシメタル土地ニシテ其ノ抵當權取得ノ登記ハ登録税法施行規則第五條ニ該當スルモノナルコト御證明相成度此段及御願候也

昭和 年 月 日

何村長 姓 名 ㊦

山梨縣知事宛
(宛名ノ末尾五六行ヲ餘白トシテ必ス存シ置クコト)

町村	大字	地番	地目	反別	價格	備考
						1 貸付金使途明細書ノ要領ニ依リ町村大字地番地目ハ各筆毎ニ記載シ價格ハ合計ニ於テ記載スルコト
						2 事項記載ノ餘白ニハ横線ヲ附シ餘白ナルコトヲ明ニスルコト
合計						

右ハ山梨縣自作農創設維持資金貸付規則ニ依リ昭和 年度ニ於テ資金ノ貸付ヲ受ケ購入シタル土地ニシテ其ノ所有權取得ノ登記ハ登録税法施行規則第五條ニ該當スルモノナルコト御證明相成度此段及御願候也

昭和 年 月 日

山梨縣知事宛 何々郡何村 姓 名 ㊦

様式第二號
(宛名ノ末尾五六行ヲ餘白トシテ必ス存シ置クコト)
登録税法施行規則第五條ニ依ル證明願書
一 證明ヲ受ケムトスル物件ノ指示

●自作農地取得者ノ指導督勵ニ關スル件

(昭和三年二月二十八日)
(農發第七七號通牒)

内務部長ヨリ各市町村長宛

自作農創設維持資金貸付後ノ指導督勵ニ關シテハ夫々御配慮中ノコトト被存候處左記事項ニ付特ニ御留意ノ上遺憾ナカラム事ヲ期セラレ度依命此段及通牒候也
追而貴管内産業組合ニ於テ本事業ヲ施設スルモノアラハ本件移牒相成度

記

一 農業經營改善指導ニ關スル件
農業産業組合其ノ他各種産業團體ト連絡シテ可成之等自作農地取得者ヲシテ機會アル毎ニ耕種肥培及其ノ經營方法等適切ナル指導ヲ爲ス様注意セラレ度

二 資金償還等ニ關スル件
資金貸付後其ノ償還ヲ容易ニシ且ツ之ヲ確保スル様指導督勵スルコトハ亦施設者ノ極メテ緊要ナルコトナリトス故ニ成可産業組合等ト連絡セシメテ機會アル毎ニ償還貯金備荒貯金ノ方法ヲ講シテ毎年ノ償還ヲ便ニシ且ツ不時ノ場合

二備へ或ハ農業倉庫ヲ利用スル等適切ナル方法ヲ講スル様致シ度其ノ方法ハ各地ノ状況借受人ノ事情ヲ顧慮シテ定ムヘキモノ一、二其ノ例ヲ示セハ左ノ如シ

第一 償還貯金

借受人ノ償還期日ハ毎年概ネ二月末日(年賦償還ノ場合)ニシテ其ノ時期ハ農家ノ資金最モ窮迫セル時期ナルヲ以テ資金ノ償還ヲ確實容易ナラシムル爲農作物其ノ他ノ收穫期ニ於テ一ケ年ヲ通シ償還金ニ相當スル額以上ノ貯金ヲ爲サシメ之ヨリ償還期ニ於テ償還金ヲ差引殘金ハ其ノ儘備荒ノ爲積立ツルモノトス

其ノ貯金ノ時期及額(現品ヲ寄託スルモ一法ナルヘシ)ハ地方ノ状況ニ依リ異ナルヘキモ其ノ一例ヲ示セハ左ノ如シ

第一例 養蠶地ノ場合	貯金ノ時期	償還金一〇〇ニ對スル貯金額
	春蠶收穫期	四〇以上
	夏秋蠶收穫期	三〇以上
	概收穫期	三〇以上
	計	一〇〇以上
第二例 米麥作地ノ場合	麥收穫期	二〇以上

概收穫期

五〇以上

其他(養蠶養畜蔬菜ノ收穫期) 三〇以上

計

一〇〇以上

第二 農業倉庫ノ利用

農業倉庫ヲ經營スル地方(又ハ各自ノ申合セニ依リ之ニ準スル取扱ヒヲ爲スモ一法ナルヘシ)ニ在リテハ可成之ヲ利用スルコトトシ借受人ハ平年作ニ於ケル小作料ニ相當スル額以上ノ量ヲ右倉庫ニ寄託シ組合ハ任意ノ時期ニ於テ之ヲ競賣シ各自ノ貯金トナシ償還金ニ充當シタル殘額ハ之ヲ其ノ儘積立テ不時ノ場合ニ備フルモノトス

自作農創設維持ニ關スル件

(昭和四年二月五日) 農發第五二號通牒

内務部長ヨリ各市町村長宛

自作農創設維持施行ニ關シテハ曩ニ夫々通牒ノ次第モ有之候處規則ノ運用並ニ事務取扱等今後本件ニ依リ處理相成度依命此段通牒候也

追テ大正十五年十月二十一日農發第三四七號通牒ノ左記及同年十一月一日農發第二五二號通牒ハ廢止スヘキニ付御了知相成度尙貴管内産業組合ニ對シ本件移牒相成度

記

第一 山梨縣自作農創設維持資金貸付規則(以下單ニ規則ト稱ス)ニ依リ事業ヲ施設セムトスル者ハ大正十五年十一月十五日山梨縣告示第二百五十四號ニ準シ貸付規則ヲ制定スルモノトス

第二 規則第二條第二號ニ依ル自作田畑ノ維持ハ數年前(四五年前)自作田畑トシテ土地ヲ購入シタルニ因リ生シタル高利ノ土地抵當債務ニヨリ負擔スル爲低利資金ニ依リ之ヲ借替フルニ非サレハ自作田畑トシテ其土地ノ經營ヲ持續シ得サルモノノ借替ニ限ルモノトス

第三 規則第三ニ依ル据置期間内ノ貸付金ノ利子計算ハ貸付金交付ノ翌日ヨリ起算シ償還當日迄日割ヲ以テ計算スルモノトス

從ツテ施設者ヨリ借受人ニ對シ貸付ヲ爲ス場合ニ在リテモ之ニ準スルヲ可トス

第四 施設者ハ知事ヨリ發スル納額告知書ニ依リ据置期間内ノ利息又ハ償還元金ヲ償還スルモノトス
施設者カ借受人ニ對シ償還ヲ爲サシムル場合ハ其ノ市町村財務取扱手續ニ依リ取扱フモノトス

第五 前項第一號ニ依リ償還ヲ了シタルトキハ施設者ハ遲滯

ナク別紙第一號様式ニ依リ納入報告書ヲ提出スルモノトス

第六 規則第八條ノ借受人ノ資格ハ一世帯ニ付考慮スヘキモノニシテ其ノ選定ニ當リテハ專業農家ヲ先順位トシ創設ノ場合ニ於テハ可成左ノ順位ニ依ルヘキモノトス

一 農業ニ依リ主トシテ生計ヲ立ツル小作農又ハ自作兼小作農

二 農業ニ依リ主トシテ生計ヲ立ツル自作農又ハ農業労働者

第七 土地ノ購入價格ニ付テハ最モ注意シ荷モ規則ニ定メラレタル標準價格並ニ地方ノ普通價格ヲ超ユルカ如キ土地ノ購入維持ニ對シテハ絕對ニ申請ヲ爲サシメサルコトトシ貸付實施ニ當リテハ其ノ低廉ナルモノヨリ採用スルコト肝要ナリ

尙標準價格算出ニ當リテハ左記ニ依ルモノトス

一 標準價格算式中「地租及地租附加稅又ハ之ニ準スヘキ地方稅」トハ其ノ土地ニ付キ最近年度ニ於テ負擔シタル地租及地租附加稅ノ外反別割アル場合ニ於テハ之ヲモ含ミ計算スルモノトス

二 耕地整理法ニ依ル事業施行地ニシテ賣主タル組合員カ其ノ土地ニ付組合ノ債務ヲ負擔スル場合ニ於テモ之ヲ

返済セシメタル上購入セシムルモノナルモ組合ニ於テ其ノ土地ノ負擔額チ一時ニ完済セシムルコト能ハスシテ買受人カ爾後其ノ負擔チ引キ受クルノ止チ得サル場合ニ於テハ當該土地ノ標準價格ノ決定ハ特ニ左ノ方法ニ依ルコトハ事實上差支ナキモノトス

現在ノ小作料ニ依リ規定ノ算式チ以テ算出シタル金額ヨリ買受人ノ爾後ノ負擔額(利子チ含マス)チ控除セルモノチ以テ其ノ價格トス

コノ場合ニ於テモ買受人ノ右負擔カ多年ニ亘リ年々支拂フ場合ニ於テ其ノ負擔年額ト土地購入資金ノ償還金年額トノ合計カ其土地チ組合ノ債務ノ負擔ナキモノトシテ買入ル場合ノ土地購入資金ノ償還金年額チ超ユル場合ハ其ノ土地ニ對シ貸付チ爲ササルモノトス

第八 購入セムトスル土地ノ先取得權ニ付テハ公共團體(水利組合チ除ク)ノ先取得權ノ外ハ規則第八條第七號ニ依リ自作ノ障害トナルヘキ權利トシテ取扱フヘキモノトス

第九 規則第八條第十號ニ依リ二十四ヶ年未滿ノ償還チ認ムル場合ハ施設者ノ負擔ニ依リ貸付利率チ低減スルコト等ノ爲借受人ノ支拂フヘキ償還金年額カ償還期間二十四ヶ年及年三分五厘トシテ計算シタル償還金年額(〇、〇六二二七三

ノ代リニ貸付當時ニ於ケル標準價格(標準價格カ其ノ當時ニ於ケル時價チ超ユル場合ハ時價)チ用フルコト

4 購入價格(維持ノ場合ニ在リテハ前號ノ價格)一部ニ相當スル金額ノ貸付チ爲シタル場合ニ於テハ「償還濟元金」ノ代リニ償還濟元金ニ購入價格(維持ノ場合ニ在リテハ前號ノ價格)ト貸付金額トノ差額チ加算シタル金額チ用フルコト

第十二 規則第八條第十八號ノ讓渡ノ場合ニ於テハ讓渡人ノ受クル金額ハ未償還金額ニ前記ノ讓渡價格チ加算シタル金額(其ノ金額チ超ユル場合ハ時價)ニ依リ讓受人ノ支拂フヘキ金額ハ時價ニ依ルコトトシ其ノ差額ハ貸付者ノ定ムル所ニ依リ適宜之チ處分スルモノトス

第十三 規則第八條第十九號ニ依リ先買ノ價格ニ付テハ原野チ購入シテ田畑トナシタルカ如キ著シキ改良ニ依リ土地ノ價格チ増加シタルモノニ在リテハ特ニ例外チ認ムルモ己チ得サルモノトス

第十四 規則第八條第十二號第十三號第十六號乃至第十九號ノ規程チ實施セムトスルトキハ豫メ知事ノ承認チ受クルモノトス

ニ相當スル金額)ヨリ高カラサル場合ニ限ルモノトス

第十 規則第八條第十三號ニ依リ償還方法ノ變更ハ爾後ノ償還金年額チ増加セシメサル方法ニ依リ借受人ノ事情ニ應ジ適宜之チ定ムヘキモノトス

第十一 規則第八條第十六號但書ノ貸付者ノ定ムル制限ニ關シテハ左記事項ニ付貸付ニ關スル規定資金契約書等ニ定メ置クヘキモノトス

- 一 讓渡チ認ムル場合
 - (例之)疾病ノ爲農業ニ從事シ能ハサル場合借受人死亡シ後繼承人ナキ場合等
- 二 讓渡人ノ選定及讓渡價格ノ決定ハ貸付者ニ於テチ行フヘキモノトス右讓渡價格ノ決定ハ左ノ標準チ超エサルモノトス

標準價格 = 償還濟元金 × 償還當時ノ標準價格 / 購入價格

備考

- 1 償還濟元金トハ貸付者カ償還チ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額
- 2 標準價格トハ附録ニ定ムル算式ニ依リ價格(其ノ價格カ時價チ超ユル場合ハ其ノ時價)トス
- 3 維持ノ爲貸付ケチ受ケタル土地ニ在リテハ購入價格

第十五 借受人左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ施設者ハ遲滯ナク届出チ爲シ知事ノ指揮チ受クルモノトス

- 一 資金貸付ノ日ヨリ一ヶ月以内ニ所有權移轉(維持ノ場合ニ在リテハ抵當權抹消ノ登記)並ニ規則第八條第十四號ニ依リ抵當權設定ノ登記チ了スルコト能ハスト認メタル者アルトキ
- 二 規則ノ目的ニ違反スル事實アリト認メタルモノアルトキ

第十六 借受人左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ施設者ハ各其ノ様式ニ依リ遲滯ナク報告スルモノトス

- 一 相續ニ依リ借受人ノ名義チ變更シタルトキ別紙様式第二號ノ一
- 二 所有權移轉(維持ノ場合ニ在リテハ抵當權抹消登記)並ニ規則第八條第十四號ニ依リ抵當權設定ノ登記又ハ同第十五號ニ依リ抵當權抹消ノ登記チ爲シタルトキ別紙様式第二號ノ二
- 三 地籍(地番、地目、反別)ノ變更チ爲シタルトキ別紙様式第二號ノ三

第十七 規則第九條ノ調査審議機關ノ組織及調査審議事項ハ左ニ依ルチ可トシ之カ設定チ爲シタルトキハ其ノ設置ニ關

第九編 産業 第一章 農事

スル規程ヲ提出スルト共ニ役員及委員ニ關シテハ別紙様式第三號ニ依リ報告スルモノトス

一 市町村ニ設置スル場合

イ 委員及役職員

會長 市町村長

委員

市町村助役、農會關係者、地主、自作、小作農ヨリ各同數、土地賃貸價格調査員

幹事

關係職員

書記

同

ロ 調査審議事項

1 土地價格ノ適否

2 借受人ノ適否

3 其ノ他重要ナル事項

二 産業組合ニ設置スル場合

イ 委員及役職員

會長 産業組合長

委員

産業組合役員、農會關係者、市町村長、地主、小作、自作農ヨリ各同數

幹事

關係職員

書記

同

ロ 調査審議事項

市町村ニ設置スル場合ニ準スルモノトス
第十八 施設者ハ別紙様式第四號ニ依リ臺帳ヲ備付ケ整理スルモノトス

第十九 施設者ハ毎年三月末日ニ限り別紙様式第五號ニ依リ借受人ノ償還狀況報告書ヲ提出スルモノトス

第二十 施設者ハ左ノ區分ニ依リ書類ヲ編綴シ永久保存スルモノトス

一 事業ニ關スル規則、例規程

二 事業計畫並ニ事業成績ニ關スル綴(年度別)

三 審議會(調査會)ニ關スル綴

四 雜件

備考

本通牒ニ於テ「施設者」ト稱スルハ山梨縣自作農創設維持資金貸付規則ニ依リ事業ヲ施設シタル市町村産業組合又ハ之ニ準スヘキ者、借受人「ト稱スルハ施設者ヨリ資金ノ貸付ヲ受ケタル耕作者トス

様式第一號 (美濃紙)

自作農創設維持資金借入金償還報告

一金 何 圓 也

内 譯

昭和何年度借入金何圓ニ對スル年賦元金(據置)金何圓也

昭和何年度借入金何圓ニ對スル年賦元利息 金何圓也

右昭和 年 月 日何々金庫ニ納入候條及報告候也

昭和 年 月 日

山梨縣知事 殿

様式第二號ノ一 (美濃紙)

借受人名義變更報告

昭和 年度	貸付年度	借受名義人	變更名義人	前借受名義人トノ續柄	變更シタル理由	變更登記濟年月日

郡 町(組合)

何々村 何 某 某
(何々組合長 何 某 某)

郡 町(組合)

右及報告候也

様式第四號ノ二(鏡) 注意 同上

第 何 號	自作農創設維持資金貸付業務	
何 郡 何 町	(又ハ何産業組合)	

様式第五號 (美濃紙)

自作農創設維持資金償還状況報告書

借受人氏名	償還年月日	償還元金 円	償還利息 円	計 円	未償還 元金	摘要
計						

郡 町村 (組合名)

右及報告候也

昭和 年 月 日

山梨縣知事

股

(何々産業組合長

何 町村 長

何

某 (印)

某 (印)

●山梨縣立農事試驗場職制

(大正十二年九月二十七日)
(縣令第四十九號)

大正四年三月山梨縣令第十三號山梨縣立農事試驗場職制左ノ通改正ス

山梨縣立農事試驗場職制

- 第一條 山梨縣立農事試驗場ヲ甲府市伊勢町ニ置キ左ノ業務ヲ行フ
- 一 農産ノ改良増殖ニ關スル試驗及研究
 - 二 農作物病害蟲ノ試驗及研究
 - 三 葡萄「フキロキセラ」蟲ノ驅除豫防ニ關スル試驗及研究
 - 四 肥料土壤ニ關スル試驗及研究
 - 五 農業用器具器械ニ關スル試驗及研究
 - 六 米麥其ノ他主要農作物ノ原種採取及配付
 - 七 野鼠チブス菌ノ培養配付及其ノ他殺鼠劑ノ配付
 - 八 肥料土壤ニ關スル鑑定分析
 - 九 農業技術員ノ養成
 - 十 講習講話及實地指導
- 第二條 山梨縣立農事試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク
場長

技師
技手
主事補

第三條 場長ハ知事ノ指揮監督ヲ承ケ場内全般ノ事務ヲ掌理ス

第四條 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第五條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第六條 主事補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務會計ノ事務ニ従事ス

●山梨縣立農事試驗場分析規程

(大正十四年一月二十九日)
(告示第十二號)

山梨縣立農事試驗場分析規程左ノ通定メ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

山梨縣立農事試驗場分析規程

- 第一條 山梨縣立農事試驗場ニ於テ公衆ノ依頼ニ應シ農事ニ關スル物ノ分析ヲ行フ但シ農事試驗場長ニ於テ分析ノ必要ナシト認メタルトキ又ハ場務ノ都合ニ依リ分析ヲ爲シ能ハサルトキハ依頼ニ應セサルコトアルヘシ
- 第二條 分析ノ依頼ヲ爲サムトスル者ハ別記様式ノ依頼書ヲ農事試驗場長ニ提出スヘシ

第三條 農事試驗場長分析ノ依頼ヲ承認シタルトキハ其ノ旨依頼者ニ通知スヘシ

第四條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ左ノ區別ニ依リ供試品ヲ提供スヘシ但シ必要ト認ムルトキハ之ヲ増加セシムルコトアルヘシ

一 土壤 二 坭

二 肥料

イ 油粕、米糠、乾鰾、大豆粕、骨粉、石灰、草木灰、

鳥糞 四百瓦

ロ 人造肥料 二百瓦乃至一坭

ハ 燒酎粕、醬油粕、蠶蛹粕 一坭

ニ 堆積肥料類 二坭

ホ 生草、其ノ他乾燥セル莖葉類 三坭

三 農産物

イ 穀菽其ノ他子實物 四百瓦

ロ 稈皮 穀類 一坭

ハ 稿稈其ノ他乾燥セル莖葉類 一坭

ニ 蔬菜類 三坭

ホ 牛乳 一立

四 農産製造品

イ 砂糖、澱粉、脂肪、乾酪 二百瓦

ロ 茶、藍、煙草 四百瓦

ハ 酒精釀造飲料類 一立

五 水

イ 定性分析 四立

ロ 定量分析 十立

第五條 供試品ハ之ヲ返還セス但シ分析ノ依頼ニ應セサルモノニ付テハ其ノ旨ノ通知ノ日ヨリ二週間以内ニ請求アリタル場合ニ限り之ヲ返還ス

前項ノ場合ニ於ケル供試品返還ニ要スル費用ハ依頼者ノ負擔トス

様式

分析依頼書

一 供試品名

二 生産地名又ハ製造地名

三 生産人又ハ製造人若ハ採取人名

四 價格

五 分析ヲ要スル成分

右定性(又ハ定量)分析被成下度相願候也

年月日

住所

職業 氏

名印

山梨縣立農事試驗場長宛

●山梨縣立農事試驗場分析手數料徵收規程

(大正十四年一月二十九日) 縣令第四號

山梨縣立農事試驗場分析手數料徵收規程左ノ通定ム

山梨縣立農事試驗場分析手數料徵收規程

第一條 山梨縣立農事試驗場分析手數料徵收規程ニ依リテ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムヘシ但シ市町村及縣郡市町村農會產業組合其ノ他公共團體ノ依頼ニ係ルモノニシテ公益上必要アリト認ムルモノニ付テハ手數料ヲ徵收セサルコトアルヘシ

一 定性分析

土壤 肥料 每一件 一成分金參拾錢

土壤中有成分 每一件 一成分金貳圓五拾錢

水 每一件 一成分金貳圓一成分ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ

農産製造品 每一件 一成分金五拾錢

二 定量分析

土壤 每一件 一成分金壹圓一成分ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ

土壤中有成分 每一件 一成分金七圓

肥料 每一件 一掛分金參拾錢但シ水分、灰分、定量各金拾錢

農産物及飼料ノ有機質成分

每一件 一成分金七拾錢一成分ヲ増ス毎ニ金參拾錢ヲ加フ

農産物及飼料ノ灰成分

每一件 一成分金五拾錢一成分ヲ増ス毎ニ金參拾錢ヲ加フ但シ灰分全量ノ定量ハ金拾錢

農産製造品 每一件 一成分金壹圓五拾錢一成分ヲ増ス毎ニ金壹圓ヲ加フ

水 每一件 一成分金參圓一成分ヲ増ス毎ニ金壹圓ヲ加フ

三 前各號ニ掲グルモノノ外農業ニ關係アル物ノ分析手數料ノ額ハ前各號ノ規定ニ準シ之ヲ定ム

三 前各號ニ掲グルモノノ外農業ニ關係アル物ノ分析手數料ノ額ハ前各號ノ規定ニ準シ之ヲ定ム

第二條 手數料ハ山梨縣立農事試驗場長ノ發スル納入告知書ニ依リ指定ノ金庫ニ之ヲ納付スヘシ

附 則

本規程ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●山梨縣立農事試驗場種苗配付規程

(大正十四年七月二十二日) 告示第一百一號

大正六年三月告示第四五號改正

山梨縣立農事試驗場種苗配付規程左ノ通定ム

山梨縣立農事試驗場種苗配付規程

第一條 農事試驗場ニ於テ生産シタル種苗ハ本規程ニ依リ本縣在住ノ農業者、郡市町村學校、農會其他ノ團體ニ限リ之ヲ配付ス但餘裕アル場合ニ限リ縣外ノ請求ニ對シテモ配付ヲナスコトアルヘシ

第二條 種苗ノ配付ハ有償トス但郡市町村、學校、農會其他公共事業ノ爲ニスル諸團體ノ請求ニ對シテハ無償配付ヲナスコトアルヘク又米麥原種ニ限リ一箇人ニ對シテモ二品種以內一種品三升迄ハ無償配付ヲナスコトアルヘシ

第三條 配布スヘキ種苗ノ種類、品種、數量、價格及出願期日ハ其都度之ヲ公告ス

第四條 (削除)

第五條 配付ヲ受ケントスルモノハ其種類、品種及數量ヲ記載シタル書面若ハ口頭ヲ以テ出願期日迄ニ農事試驗場長ニ願出ヘシ

第六條 出願ノ數量配付スヘキ總量ヲ超過スルトキハ配布數量ヲ減スルコトアルヘシ

第七條 配付スヘキ種苗ノ荷造及運搬ニ要スル費用ハ出願者ノ負擔トス

第八條 種苗ノ配付ヲ受ケタルモノニ對シテハ配付後ノ處置及成績ヲ報告セシムルコトアルヘシ

●管内在米高調査ノ件

(昭和二年六月十五日) 農發第二二五號通牒

內務部長ヨリ各郡農會長宛

米穀需要供給ノ狀況調査上必要有之候條左記事項承知致度候ニ付毎年五月一日七月一日及十一月一日現在ニ依リ各調査期日後五日以內ニ御取調ノ上親展ヲ以テ御報告相成度依命及通牒候也(大正六年六月二十二日農發第二二五號)以テ市長

宛通縣文略

(五月一日)(十一月一日)現在管内在米高調
(七月一日)

管内在米高	昭和	年分	前年同期分	比較増減
生産家ノ手 ニアルモノ 商人ノ手 ニアルモノ 計				

記 事

- 一 生産家ノ米穀取引ニ關スル意態(特ニ賣意又ハ賣惜ノ傾向)
- 二 商人ニ關シ同上事項(特ニ仕入難易感賣買ノ多寡等)
- 三 新米ノ噴込ニ關スル事情(十一月一日報告限リ)
- 四 其他参考記事

古麥殘存見込高調査ノ件

(昭和三年六月二十二日)
規農發第二〇號通縣

内務部長ヨリ市長郡農會長宛

主要食糧需給關係調査上端境期ニ於ル古麥殘存高承知致度旨ヲ以テ主務省ヨリ通縣有之候條左記様式ニヨリ毎年七月一日現在ニ於ル古麥殘存見込高調査ノ上期日後五日以内ニ覽展テ以テ御報告相成度依命此段及移牒候也
進而本調査ハ其目的麥ノ需給大勢ヲ知ルノ資料ニ供スルニ止リ且之ガ正確ナル調査ヲ遂クルコト頗ル困難ナルヘキヲ以テ敢テ精細ナル計數ヲ必要トセス管内ノ麥ニ關スル事情

ニ通曉スル生産者商人運送業者倉庫業者等ノ意見ヲ參酌シ
適宜御査定相成度申添候(市長通縣文略)

昭和 年七月一日現在古麥殘存見込高調

種 類	昭和 年七月一日現在		前年七月一日現在		比 較 増 減
	生産者ノ手 ニアルモノ	商人又ハ製 粉業者ノ手 ニアルモノ	生産者ノ手 ニアルモノ	商人又ハ製 粉業者ノ手 ニアルモノ	
大 麥 (石)					
裸 麥 (石)					
小 麥 (石)					
小麥粉 (斤)					

附記 本調査ヲ行フニ付採リタル具體的方法

- 注意 一 本調査ニハ其年收穫ニ係ルモノハ之ヲ合算セサルコト
二 本調査ニハ輸入又ハ移入ニ係ルモノヲ合算スルコト
三 附記ノ事項ハ本年ニ限り記入ノ事

合 計	内 地	外 國	塞 灣	朝 鮮

●米穀需要供給狀況調査報告方ノ件

(大正七年六月二十日
農收第二二五二號通牒)

内務部長ヨリ各(郡)市長宛

管内在米高其他調査ノ義ニ付テハ本年四月二十六日農發第一二一號ヲ以テ及通牒置候處今般右報告事項ヲ別紙ノ通改正相成候條別記第一表ノ事項ハ爾今每年五月一日七月一日及十一月一日現在ニ依リ各調査期日以後五日以内ニ又第二表ノ事項ハ隨時其ノ報告要求ノ都度取調ノ上御報告相成度尙其ノ報告資料ニ絶對ハ公表セラレサル様取計相成度依命此段及通牒候也

第一表

五月一日(七月一日)現在管内在米見込高調
十一月一日

種	類	大正		比較増減
		前年	同前分	
内地米	生産家ノ手ニ在ルモノ	石	石	石
	商人ノ手ニ在ルモノ	石	石	石
朝鮮米	計			

臺灣米	外國米	合計

記事

- 一 生産者ノ米穀取引ニ關スル意向(特ニ賣急又ハ賣惜ノ傾向ノ有無等)
- 二 商人ノ米穀取引ニ關スル意向(特ニ思惑聯合買占ノ有無及賣買ニ對スル意向等)
- 三 各種在米高(前々年産内地米在高チモ含ム)ノ例年ニ比シ著シキ増減アリタル時ハ其ノ狀況及事由
- 四 十一月一日現在ノ在米高報告ノ場合ニハ其ノ年ニ於ケル今摺米出廻狀況及新米食込ニ關スル事情
- 五 其ノ他參考トナルヘキ事項

第二表

自大正 年十一月一日米搬出入見込高調
至大正 年十月末日

種	類	管外へ搬出(入)超過見込高		管内へ搬出(入)超過見込高	
		石	石	石	石
内地米					

計	朝鮮米	臺灣米	外國米

備考

- 一 縣外ニ搬出又ハ縣外ヨリ搬入ノ數量ハ區別記載スルコト
- 一 朝鮮米、臺灣米及外國米ヲ區別調査スルコト困難ナル場合ハ合併計上スルモ差支ナシ但シ其旨附記スルコト

記事

- 一 主ナル仕向地及仕出地
 - 二 其ノ他參考トナルヘキ事項
- 調査ニ關スル注意
- 一 本調査ハ其ノ目的米ノ需要供給ノ大勢ヲ知ルニ止ルモノニシテ正確ナル調査ヲ遂クルコトハ甚々困難ナルヘキヲ以テ敢テ精細ナル計數ヲ必要トセス
 - 二 本調査ハ在米消費及取引ノ狀況ノ毎ニ注意シ且ツ米ニ

- 關スル事情ニ通曉セル生産者、商人、運送業者、倉庫業者等ノ意見ヲモ參酌シ見込ヲ立テラルルコト
- 十一月一日現在ノ内地米在高ニハ其ノ年生産シタルヲ加ヘサルコト
- 四 白米及粳ハ玄米ノ容量ニ換算ノ上算入シ碎米ハ之ヲ算入セサルコト
- 五 報告濟ノモノト雖其ノ後ノ調査ニ依リ一層事實ニ近シト認ムル計數或ハ需給狀況ヲ知リタル場合ハ次回ノ報告ニ於テ更正シ其ノ旨附記スルコト

十五號様式ニ依ルヘシ

第十一條 肥料取締法施行規則第二十一條ニ依ル製造、輸入、移入及原料トシテ使用シタル肥料ノ數量届ハ第十六號様式ニ依ルヘシ

第十二條 肥料取締法第六條又ハ第七條ノ處分ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ書類ヲ送達スル能ハサルトキハ之ヲ告示ス前項告示ノ日ヨリ十四日ヲ經タルトキハ送達シタルモノト看做ス

第十三條 未成年者又ハ禁治産者ノ願届ハ總テ法定代理人之ヲ差出スヘシ但シ民法第六條ニ依ル未成年者ニ在リテハ法定代理人ノ連署ヲ要ス

法人ノ願届ニハ其ノ名稱事務所ノ位置及代表者ノ氏名ヲ記載シ定款ヲ添付スヘシ
前二項ノ各事項ニシテ變更ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク届出ツヘシ

第十四條 本則ニ依ル願届ハ市ニ居住スル者ニ在リテハ市役所町村ニ居住スル者ニ在リテハ町村役場ヲ經由スヘシ但シ肥料取締法施行規則第十九條、第二十一條ノ届ハ直接差出スヘシ

第十五條 本則(第八條及第九條ニ違背シタルモノハ)肥料ニ處

(第一號様式)

肥料製造營業免許願

一 製造場ノ位置

縣都市町村大字番地

一 製造ニ關スル設備

(肥料製造ニ關スル工場器具機械其他必要ナル設備ノ概要ヲ記載スヘシ)
一 設置ニ關スル設備

(例ヘハ倉庫瓦葺(又ハ藁葺)床板張(又ハ三和土たつき)等其概要ヲ記載スヘシ又納屋何々ト記載スヘシ)

一 肥料ノ名稱

何々 何々

一 肥料製造方法

(一)原料ノ名稱

何々何々

(二)製造法ノ大要

明細ニ記載スヘシ

各原料ニ含有スル窒素、
磷酸、加里ノ最少量及ヒ
角粉、蹄粉、皮粉、毛粉、
(三)羽粉、骨炭末、骨灰、
アノ一其他之ニ類スル原
料ヲ使用スル場合ハ其配
合歩合ノ最多量

何々何買目 何々何買目

右之通相違無之候也

年月日

住所 縣都市町村大字番地

氏 名

(第二號様式)

肥料輸入(移入)營業免許願

一 肥料ノ名稱

何々 何々

一 營業所ノ位置

縣都市町村大字番地

右肥料輸入(移入)營業仕度候間御免許相成度別紙施行規則第三條ニ依ル書類添付此段相願候也

年月日

本籍 縣都市町村大字番地

住所 同上

氏 名

生年月日

知事 宛

肥料輸入(移入)營業免許願添付書

一 營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

縣都市町村大字番地

氏 名(又ハ何々會社)

(四)保證成分量

右肥料製造營業仕候間御免許相成度別紙施行規則第一條ニ依ル書類添付此段相願候也

年月日

本籍 縣都市町村大字番地

住所 同上

氏 名

生年月日

知事 宛

備考 施行規則第十三條第一號又ハ第四號ニ該當セサル

肥料ノ製造營業者ハ製造方法中(三)ノ事項ノ記載ヲ要セス

肥料製造營業免許願添付書

一 營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

縣都市町村大字番地

氏 名(又ハ何々會社)

二 營業所ノ位置

縣都市町村大字番地

三 設置所ノ位置

同上

何 之 誰

履歴書別紙ノ通り

第九編 産業 第二章 肥料

- 二 藏置所ノ位地 縣都市町村大字番地
 - 三 製造者ノ氏名若ハ名稱及其主タル製造場所在地又ハ肥料生産地各肥料毎ニ記入ヲ要ス但シ製造者不明ノ場合ハ生産地ノミ記載スヘシ
 - 四 保證成分量 各肥料毎ニ記載スヘシ
- 右之通相違無之候也

年 月 日

氏 名

(第三號様式)

肥料賣買營業免許願

- 一 肥料ノ名稱 何々 何々又ハ普通肥料(肥料取締法施行規則第十三條第一項各號ノ肥料及溶劑ヲ用ヒスシテ製造シタル大豆油粕魚肥類、人糞尿、獸肉搾粕、干蠶蛹、米糠、草木灰ハ總括シテ普通肥料ト記載スヘシ)

一 營業所ノ位置

縣都市町村大字番地

右肥料賣買營業仕度候間御免許相成度別紙施行規則第三條

ニ依ル書類添付此段相願候也

年 月 日

本籍 縣都市町村大字番地

住所 同上

氏 名

生年月日

知事宛

肥料賣買營業免許願添付書

一 營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

縣都市町村大字番地

氏 名(又ハ何々會社)

二 藏置所ノ位置

縣都市町村大字番地

三 製造者ノ氏名若ハ名稱及其主タル製造場所在地又ハ肥料生産地(各肥料毎ニ記入ヲ要ス但シ普通肥料ニアリテハ省略スルモ差支ナシ)但シ製造者不明ナル米糠、魚肥ノ如キハ其生産地ノミヲ記載スヘシ

右之通相違無之候也

年 月 日

右

氏 名

(第四號様式)

肥料營業所ノ位置(又ハ何々)變更認可願

一 營業所ノ位置(肥料ノ名稱肥料製造方法、製造場ノ位

置、製造及藏置ニ關スル設備等變更ノ目的ニ依リ記載スヘシ)

今般右黒書ノ通變更致度候間御認可相成度此段相願候也

年 月 日

住所 縣都市町村大字番地

肥料製造營業者 氏 名

知事宛

備考 免許又ハ認可ヲ受ケタル事項ハ朱書變更セントスル事項ハ黒書トナスヘシ

(第五號様式)

肥料營業所ノ位置(又ハ何々)變更認可願

一 營業所ノ位置(肥料ノ名稱保證成分量等ノ變更セントスル目的ニ依リ記載スヘシ)

今般右黒書ノ通變更致度候間御認可相成度此段相願候也

年 月 日

住所 縣都市町村大字番地

肥料輸入(移入、賣買)營業者氏 名

知事宛

備考 免許又ハ認可ヲ受ケタル事項ハ黒書トナスヘシ

(第六號ノ一様式)

肥料行商鑑札下付願

一 肥料ノ名稱 何々 何々

右肥料行商仕度候間行商鑑札御下附相成度肥料取締法施行規則第六條ニ依ル書類添付此段相願候也

年 月 日

住所 縣都市町村大字番地

肥料製造(輸入、移入、賣買)營業者 氏 名

知事宛

(第六號ノ二様式)

肥料行商鑑札下付願

一 肥料ノ名稱 何々 何々

左記ノ者ヲシテ前記肥料行商致サセ度候間行商鑑札御下附相成度肥料取締法施行規則第六條ニ依ル書類添付此段相願候也

年 月 日

住所 縣都市町村大字番地

雇人(又ハ從業者) 氏 名

住所 縣都市町村番地

肥料製造(輸入、移入、賣買)營業者 氏 名

(第七號ノ一様式)

(縦六寸五分)

第 號	免 許 證
山梨縣郡市町村番地	何 之 誰
一 肥料ノ名稱	
二 原料ノ種類	
三 原料配合歩合	
右肥料ノ製造營業ヲ免許ス	
年 月 日	
山 梨 縣	

(第七號ノ二様式)

第 號	免 許 證
山梨縣郡市町村番地	何 之 誰
一 肥料ノ名稱	
右肥料ノ賣買(輸入、移入)營業ヲ免許ス	
年 月 日	
山 梨 縣	

(第八號様式)

第 號	縣郡市町村番地
肥料製造(輸入移入)賣買營業者 氏 名	生年月日
肥料行商鑑札	(雇人又ハ從業者何之誰) 生年月日

(縦三寸)

原サ三分

裏	年 月 日 下付
山 梨 縣 團	

(第九號様式、第十號ノ一様式) (削除)

(第十號ノ二様式)

肥料行商鑑札書換願	一 肥料營業者
一行商者ノ氏名、名稱若ハ住所	
肥料行商鑑札下附相成居候處前記ノ通り變更致シ候ニ付行商鑑札書換相成度別紙行商鑑札添付此段相願候也	
年 月 日	
住所 縣郡市町村大字番地	

知事宛

(第十一號ノ一様式)

何々ニ關スル事項變更願	一 藏置所ノ位置
	一 營業者ノ氏名又ハ名稱及住所
	一 製造者ノ氏名若ハ名稱及其主タル製造場所在地又ハ肥料生産地
右ノ通變更致候間此段及御届候也	
年 月 日	
住所 縣郡市町村大字番地	

第九編 産業 第二章 肥料

肥料製造(輸入、移入、賣買)營業者 氏 名印
知事宛

備考 變更セル事項ノミ記載シ不要ノ事項ハ記載スルニ及
ハス

(第十一號ノ二様式)

肥料營業廢止(休止)届

一 營業ノ種別 (製造、輸入、移入、賣買)ノ區別ヲ記載スヘ

(第十二號様式)

肥料賣買(輸入)(移入)營業所(製造場)(藏置所)

郡市町村大字番地

營業者 氏 名

今般營業廢止(休止)仕候間製造(輸入、移入)高届添付此段
及御届候也
年 月 日
住所 縣郡市町村大字番地
肥料製造(輸入、移入、賣買)營業者 氏 名印
知事宛

(第十三號様式)

肥料製造簿

製造年月日	肥料名稱	製造數量	摘要
何年何月何日	何々	何百何十貫	

月	計	同
通	計	同

備考 數量ハ凡テ質量ニ計算記載スヘシ

(第十四號様式)

肥料輸入(移入、又ハ讓受)簿

輸入(移入、又ハ讓受)年月日	肥料名稱	數量	量價	格	相手方氏名
何年何月何日	何々	何百何十貫	何百何十圓		何縣何郡何町村何
月	計	同	同		同
通	計	同	同		同

備考

一 肥料ノ名稱ノ異ナル毎ニ口座ヲ設クヘシ

第九編 産業 第二章 肥料

第九編 産業 第二章 肥料

- 一 輸入、移入、賣買兼業者ハ各別ニ帳簿ヲ調製スヘシ
- 一 數量ハ總テ貫目ニ計算スヘシ

(第十五號様式)

肥料讓渡簿		年	月	日	肥料名稱	同上	數量	同上	價格	相手方姓名
通計	月計	何年何月何日	同	同	何々々	何百何十貫	何百何十圓	何	何之誰	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

備考

- 一 肥料ノ名稱ノ異ナル毎ニ口座ヲ設クヘシ
- 一 内國產ト外國產トハ同一名稱ノ肥料ナリトモ別座ニ記載スヘシ
- 一 數量ハ總テ貫目ニ計算シテ記載スヘシ

(第十六號様式)

何年中肥料製造(輸入、移入又ハ製造原料トシテ使用セル肥料)高届

肥料ノ名稱	數	量	價	格
何	何	何	何	何
計	何	何	何	何

右及御届候也

年 月 日

知事宛

住所

營業別 氏

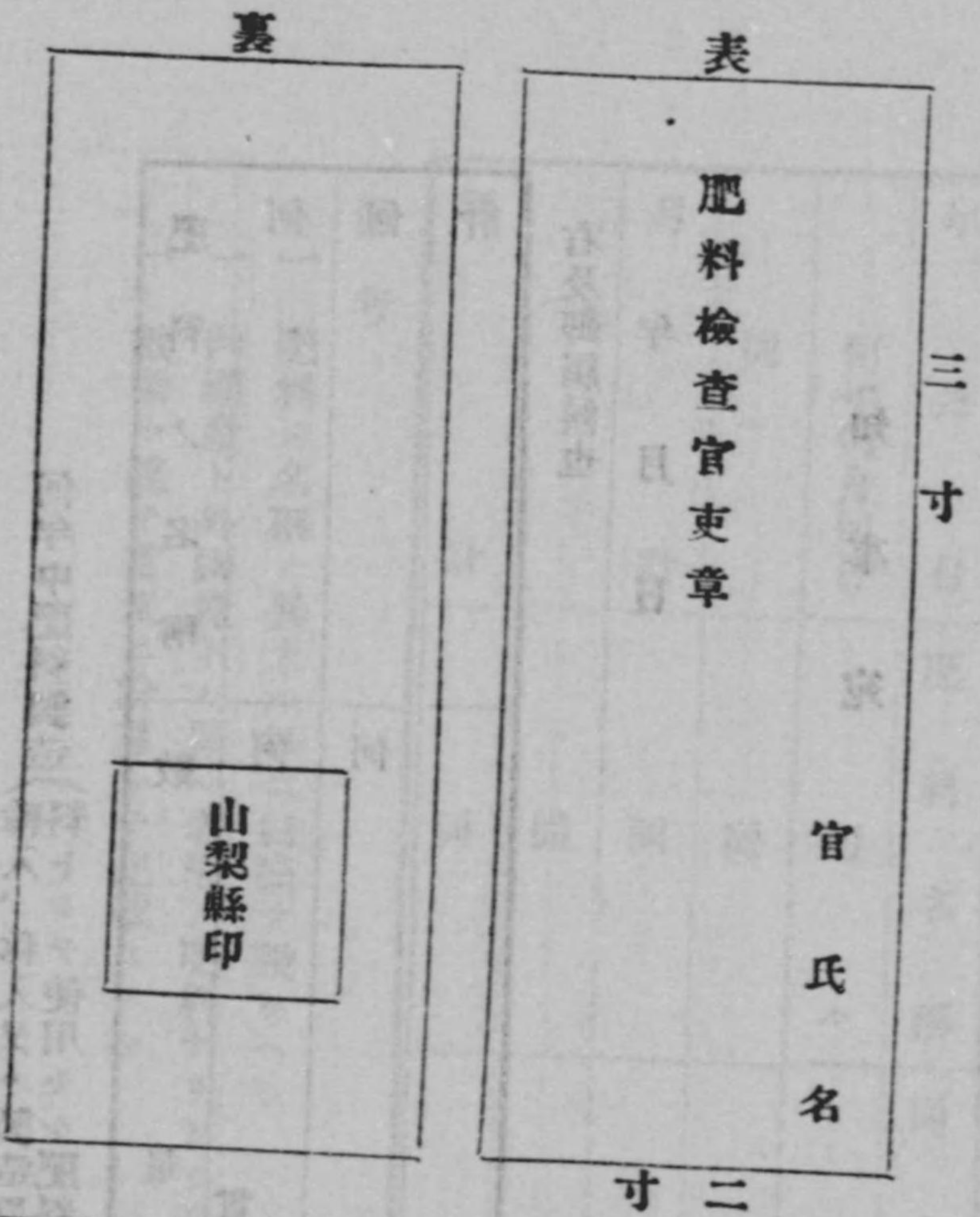
名

第九編 産業 第二章 肥料

●肥料検査官吏証票ノ件

(明治四十一年十一月九日)
(告示第三百八十號)

本縣肥料検査官吏ノ携帯スヘキ証票ハ左之通り相定ム
用紙厚質白紙



●肥料取締法第八條ニ依ル物料指定

(明治四十二年二月十五日)
(告示第四十六號)

肥料取締法第八條ニ依ル物料ハ左之通り指定ス

- 酒粕 大豆 餡粕 醬油粕 麥糠 米糠 蠶蛹

第三章 害虫驅除

●害虫驅除豫防規則

(昭和二年一月十日)
(縣令第二號)

害虫驅除豫防規則左ノ通定ム

害虫驅除豫防規則

第一條 害虫驅除豫防法第二條ニ依リ驅除豫防スヘキ害虫ノ種類左ノ如シ

種類	左ノ如シ	名	稱	方	言	被害作物
一	螟	蟲	ズイムシ			稻
二	浮	塵	ウンカ、ゴメカムシ			稻
三	苞	蟲	ソトムシ、ハマキムシ			稻
四	葉	蟲	ドウロハムシ、クワハムシ、ウリバイ、キンキス			稻、桑、蔬菜
五	螟	蛉	マホムシ			稻、蔬菜
六	稻	蠶	イナゴ			稻
七	天	牛	クワカミキリ、ホシカミキリ、トラカミキリ			桑、果樹
八	尺	蠖	ダイギリ、エダシヤクトリ、トゲシヤクトリ			桑

九	夜	盜	蟲	ヨトウムシ		穀、菜、桑、蔬菜	
一〇	蚜	蟲	アブラムシ			穀、菜、果樹	
一一	介	殼	蟲	カイガラムシ、カザラミ		桑、果樹	
一二	桑	姫	象	ヒメゾウムシ		桑	
一三	金	龜	子	コガネムシ、ブンブン		桑、果樹、造林用苗木	
一四	ふ	ろ	き	せら	フキロキセラ	桑	
一五	桑	蛾	蛾	スキムシ		桑	
一六	椿	象	象	クロガメムシ、マルガ		稻、菜	
一七	二	十	八	星	瓢	蟲	馬鈴薯、蔬菜
一八	稻	熱	病	イモチ		稻	
一九	麥	黑	穗	病	クロホ	麥	
二〇	麥	班	葉	病	イサハ、ササ、シマス	麥	
二一	桑	赤	澁	病	アカシア	桑	
二二	紫	紋	羽	病	ムラサキモンバ	桑、果樹	
二三	白	紋	羽	病	シロモンバ	桑、果樹	
二四	葡	萄	白	澁	病	シブ	葡萄
二五	葡	萄	露	菌	病	ツユカビ	葡萄
二六	梨	赤	星	病	アカホシ	梨	
二七	梨	黑	星	病	クロホシ	梨	

- 一 胡瓜露菌病 ベト、ツユカビ
- 二 杉赤枯病 スギアカガレ
- 三 蝸 ナメクジ
- 四 野 鼠 ノネヅミ

瓜類
杉苗木
桑
穀、菘、蔬菜、
果樹、造林用
苗木

第二條 前條ノ害蟲ヲ驅除豫防スヘキ方法ハ別ニ之レヲ告示ス

第三條 第一條ノ害蟲田畑ニ發生シタルトキハ作人ハ直ニ市町村長ニ届出テ驅除豫防上ノ指揮ヲ受クヘシ

第四條 市町村長ハ前條ノ届出アリタルトキ又ハ害蟲田畑ニ發生シ若ハ發生ノ虞アリト認メタルトキハ直ニ作人ヲシテ驅除豫防ニ着手セシメ左記事項ヲ具シ知事ニ報告シ同時ニ警察官吏ニ通知スヘシ

- 一 害蟲ノ名稱
- 二 被害作物ノ名稱
- 三 發見ノ月日

害蟲驅除豫防市町村費施行報告

害蟲名	市町村名	被害農作物種類	同上見積別	此平年收穫高	被害ニ付見積除豫防ニ係積減收高	市町村費	同夫役ノ數	同上補助額

- 四 發生ノ區域
 - 五 驅除豫防方法
 - 六 被害見積段別及被害狀況
- 第五條 市町村長ハ害蟲蔓延ノ虞アリト認メタルトキハ直ニ隣接市町村長及警察官吏ニ通知スヘシ
- 第六條 市町村長ハ第一條ニ掲クル以外ノ害蟲田畑ニ發生シ驅除豫防ノ必要アリト認メタルトキハ直ニ知事ニ報告スヘシ
- 第七條 市町村長害蟲驅除豫防法第四條乃至第六條ノ規定ニ依リ市町村費ヲ以テ驅除豫防ヲ爲シ又ハ夫役ヲ賦課スルノ必要アリト認メタルトキハ第四條ノ事項ヲ具シ知事ニ報告シ指揮ヲ受クヘシ
- 第八條 第四條ノ場合ニ於テ作人驅除チ行ハサルトキハ二十圓未満ノ科料又ハ三十日未満ノ拘留ニ處ス
- 第九條 市町村費ヲ以テ驅除豫防ヲ施行シタルトキハ市町村長ハ左ノ様式ニ依リ翌年度四月十日迄ニ知事ニ報告スヘシ

附則

第十條 明治四十三年一月山梨縣令第三號害蟲驅除豫防規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

● 害蟲驅除豫防方法

(昭和二年一月十日) 告示第二號

昭和二年一月山梨縣令第二號害蟲驅除豫防規則第二條ニ依リ害蟲及病菌驅除豫防方法左ノ通定ム

驅除豫防方法

- 一 螟 虫
 - (一) 苗代ニ於テ採卵、捕蛾チ行フヘシ但シ採集シタル卵塊ハ益虫保護器ニ投シ寄生蜂ヲ保護スヘシ
 - (二) 特ニ早植ノ地方ニ於テハ本田ノ採卵チ行フヘシ
 - (三) 發生多キ地方ニ於テハ点火誘殺法チ行フヘシ
 - (四) 夏秋期被害莖ハ成ルヘク早ク根際ヨリ除去スヘシ
 - (五) 被害劇甚ナリシ個所ノ莖及株ハ燒棄スヘシ
 - (六) 春期四月以後ニ殘存スル莖ハ蛾ノ逃出セサル様處理スヘシ
 - (七) 麥作間ニ生糞チ敷クトキハ糞ノ上半部ノミチ用ヒ若シ

全部チ肥料トシテ用フルトキハ必ス堆積後用フヘシ

二 浮塵子

- (一) 苗代及本田ニ於テ捕虫網ヲ用ヒテ掬ヒ取ルヘシ
 - (二) 苗代本田ニ於テ注油驅除(段當油量石油、輕油ニアリテハ一升五合乃至二升、除虫菊浸出石油ニアリテハ一升乃至一升五合)チ行フヘシ
 - (三) 陸稻又ハ水利不便ノ稻田ニ於テハ除虫菊加用石油乳劑ノ五十倍乃至六十倍液、除虫菊石鹼合劑ノ水一升、除虫菊粉三匁石鹼二匁液、テリス石鹼劑ノテリス石鹼百六十匁水五斗乃至六斗液等チ撒布スルカ又ハ長方形ノ淺キ箱ニ油類ヲ滴下セル水ヲ盛り之ニ拂ヒ落スヘシ
 - (四) 冬期畦畔路傍ノ雜草ヲ燒棄スヘシ
- 三 苞 虫
- (一) 幼虫ハ成ルヘク早ク之ヲ捕殺又ハ壓殺スヘシ
 - (二) 幼虫ノ稚弱ナル際除虫菊木灰合劑ノ除虫菊粉百二十匁乃至二百四十匁木灰五匁乃至六匁混合チ夕刻撒布スヘシ
 - (三) 冬期被害地附近禾本科植物主ニ「クサシヨ」笹チ刈リ燒棄スヘシ
- 四 葉 虫

(一) 稻「ドロハムシ」ハ苗代及本田ニ於テ注油驅除(段當油
量除虫菊浸出石油一升乃至一升五合)ヲ行ヒ又ハ除虫菊木
灰合劑ノ除虫菊粉百匁木灰一匁混合ヲ撒布シ或ハ胡桃ノ
葉ヲ揉ムカ微温湯ニ浸シテ青汁ヲ出セルモノニテ拂ヒ落ス
ヘシ

(二) 桑「ハムシ」ハ捕虫器ニテ捕殺スヘシ

(三) 「ウリバイ」及「葡萄」キンキス「ハ除虫菊木灰合劑ノ除虫
菊粉百匁木灰一匁混合、テリス石鹼劑ノテリス石鹼百六
十匁、水五斗乃至六斗液、砒酸鉛ノ糊狀ニテハ百二十匁粉
狀ニテハ六十匁ヲ水二斗五升乃至五斗ニ溶解セルモノヲ撒
布シ或ハ捕殺スヘシ但シ砒酸鉛ハ收穫期一ヶ月以前ニ之レ
カ撒布ヲ止ムヘシ

五 融 蛉

(一) 稻「アホムシ」ハ苗代ニ於テ捕虫網ヲ用ヒテ拘ヒ取り或
ハ注油驅除(段當油量除虫菊浸出石油一升乃至一升五合)ヲ
行ヒ若クハ除虫菊木灰合劑ノ除虫菊粉百匁木灰一匁混合
除虫菊石鹼合劑ノ除虫菊三百匁石鹼二匁水一升液、テリス
石鹼劑ノテリス石鹼百六十匁水五斗乃至六斗液等ヲ撒布ス
ヘシ

(二) 蔬菜「アホムシ」ハ除虫菊石鹼合劑ノ除虫菊粉三匁石鹼

二匁水一升液除虫菊加用石油乳劑ノ四十倍乃至五十倍液、
テリス石鹼劑ノテリス石鹼百六十匁水五斗乃至六斗液ヲ撒
布スヘシ

六 蝗

(一) 苗代期ニ於テ注油驅除(段當油量除虫菊浸出石油一升
乃至一升五合)ヲ行ヒ又除虫菊石鹼合劑ノ除虫菊粉三匁石
鹼二匁水一升液ヲ撒布スヘシ

(二) 苗代及本田ニ於テ捕殺スヘシ

七 天 牛

(一) 成虫ヲ捕殺スヘシ

(二) 卵ヲ刺殺又ハ潰殺スヘシ

(三) 幼虫ノ虫孔ニ百部根、除虫木精浸出液ノ二倍乃至三倍
液等ヲ注入シテ殺スヘシ

(四) 葡萄ノ剪枝ハ五月頃迄ニ之レヲ燒却スヘシ

八 尺 蠶

(一) 幼虫期ニ於テ捕殺スヘシ

(二) 「トゲ」尺蠶ハ冬期桑樹根際ノ土ヲ掘リ起シ蛹ヲ捕殺ス
ヘシ

九 夜 盜 虫

(一) 幼虫ヲ捕殺スヘシ

(二) 被害植物ノ根際ニ蘆等ヲ敷キ其下ニ集マル幼虫ヲ殺ス
ヘシ

(三) 砒酸鉛ノ糊狀ニアリテハ百二十匁粉狀ニアリテハ六十
匁ヲ水二斗五升乃至五斗ニ溶解セルモノヲ撒布スヘシ但シ
食用ニ供スルモノハ收穫期一ヶ月以前ニ之レカ撒布ヲ止ム
ヘシ

(四) 畑ノ周圍ニ幅五寸深サ一尺位ノ溝渠ヲ掘リ陥落スルモ
ノヲ殺スヘシ

一〇 蚜 虫

(一) 除虫菊石鹼合劑ノ除虫菊粉一匁乃至三匁石鹼一匁乃至
三匁水一升液揮發油乳劑ノ十倍乃至十五倍液、テリス石鹼
劑ノテリス石鹼百六十匁水七斗乃至一石液ヲ撒布スヘシ

一一 介 殼 虫

(一) 冬期青酸瓦斯内容一千立方尺ニツキ青酸加里二百瓦乃
至二百五十五瓦硫酸二百立方尺乃至二百五十五立方尺、水六百
立方尺乃至七百五十立方尺、煙蒸期間四十五分乃至一時間
ノ煙蒸ヲ行ヒ又ハ松脂合劑ノ松脂百匁苛性曹達二十五匁魚
油四匁乃至一合水一斗液、石灰硫黃合劑ノボーメー比重四
度乃至五度液、石油乳劑ノ五倍液魚油木灰合劑ノ木灰一升
水二升ノ上澄液七合魚油一合混合液ヲ撒布スヘシ

(二) 夏期幼虫期ニ石油乳劑ノ九倍乃至十倍液、テリス石鹼

合劑ノテリス石鹼百六十匁水五斗乃至六斗液揮發油乳劑ノ
七倍乃至十倍液等ヲ撒布スヘシ

(三) 桑樹ニ寄生セル桑介殼虫ニ對シテハ夏期株直後發芽前
石灰硫黃合劑ノボーメー比重四度乃至五度液硫酸ニコチン
劑ノ四十%硫酸ニコチン一匁水七升乃至八升ヲ撒布スヘシ

(四) 苗木ハ青酸瓦斯ノ煙蒸ヲ行ヒタル後栽植スヘシ

一二 桑 蠶 象 虫

(一) 冬期潜伏期中ニ於テ枯枝ヲ切採リ燒棄スヘシ

(二) 成虫ヲ捕殺スヘシ

一三 金 龜 子

(一) 早朝箕又ハ捕虫器ニ拂ヒ落シテ殺スヘシ

(二) 砒酸鉛ノ糊狀ニアリテハ百二十匁粉狀ニアリテハ六十
匁ヲ水二斗五升乃至五斗ニ溶解シタルモノ其他毒劑ヲ撒布
スヘシ但シ食用ニ供スル作物ニアリテハ收穫期一ヶ月前ニ
之レカ撒布ヲ止ムヘシ

(三) 幼虫ヲ土中ヨリ掘リ出シテ殺スヘシ

一四 ふ ゐ ろ き せ ら

(一) 葉ニ五倍子ノ發生ヲ認メタルトキハ摘取り燒棄スヘシ

(二) 被害甚ダシキ葡萄樹及苗木ハ燒棄スヘシ

(三) 免疫性砒木ニ接木スヘシ

一五 桑螟蛾

- (一) 桑葉ヲ糸チ以テ折り曲ケ其ノ中ニ匿レタル幼虫ヲ捕殺スヘシ
- (二) 冬期枯葉ノ間若クハ莖幹ノ割目等ニ潜伏セル幼虫ヲ捕殺スヘシ

一六 椿 象

- (一) 成虫若クハ幼虫ハ箕又ハ油ヲ入レタル器中ニ拂ヒ落シ殺スヘシ
- (二) 幼虫發生期ニ於テ煙草粉末ノ撒布チ行フヘシ

一七 二十八星瓢虫

- (一) 採卵チ行フヘシ

一八 稻熱病

- (一) 成虫幼虫ノ捕殺チ行フヘシ
- (二) 冬期日當リ瓦キ堤塘、雜草若クハ石下等ニ潜伏スル成虫ヲ搜索シテ殺スヘシ
- (三) 砒酸鉛ノ糊狀ニアリテハ百二十匁粉狀ニアリテハ六十匁チ水二斗五升乃至五斗ニ溶解スル液、パリスグリーン百二十匁チ三斗式石灰ホルドウ液一石乃至二石ニ溶解セル液等チ撒布スヘシ

(二) 肥料ノ配合施用法ニ注意スヘシ

- (一) 葉稻熱病、首稻熱病豫防トシテ六斗式過石灰ホルドウ液又ハ八匁式銅石鹼液チ撒布スヘシ
- (二) 被害甚ダシキ病葉ハ摘採燒却スヘシ
- (三) 落水期チ後ラスヘシ

一九 麥黑穗病

- (一) 黑穗病ノ發生ナキ麥畑ノ種子チ播下スヘシ
- (二) 麥種子ニハ冷水温湯浸法、温湯浸法、又ハ風呂湯浸法チ行フヘシ

- (三) 發病チ認メタルトキハ黑粉ノ飛散セサル前ニ拔キ取り燒棄又ハ土中深ク埋没スヘシ

二〇 麥斑葉病

- (一) 發病セサル麥畑ノ種子チ播下スヘシ
- (二) 麥種子ニ冷水温湯浸法風呂湯浸法又ハ二斗式石灰ホルドウ液二十八時間ノ浸漬チ行ヒテ播下スヘシ

二一 桑赤澁病

- (一) 春期發芽當時橙黃色チナセル病芽チ認メタルトキハ黃粉ノ飛散セサル中ニ摘採シテ燒棄スルカ地中五寸以上ノ深サニ埋没スヘシ
- (二) 全株ノ芽及葉ノ開キタルモノニ發病シタルトキハ其ノ枝梢チ切り去リテ新梢チ生セシムヘシ

(三) 桑園外ノ桑モ桑園ト同時ニ驅除スヘシ

二二 紫紋羽病

- (一) 被害甚ダシキ樹ハ掘り取り燒棄シ跡地ハ石灰乳ノ水一斗生石灰一貫匁液又ハ「クロールピクリン」一封度チ六坪ノ割ニテ消毒スヘシ
- (二) 苗木ハ石灰乳ノ水一斗生石灰一貫匁液ニ浸漬シテ植ヘ付クヘシ

二三 白紋羽病

- (一) 被害甚ダシキ樹ハ掘り取り燒棄シ跡地ハ石灰乳ノ水一斗生石灰一貫匁液又ハ「クロールピクリン」一封度チ六坪ノ割ニテ消毒スヘシ
- (二) 苗木ハ石灰乳ノ水一斗生石灰一貫匁液ニ浸漬シテ植ヘ付クヘシ

二四 葡萄白澁病

- (一) 三斗式石灰ホルドウ液チ開花前及開花後數回撒布スヘシ

二五 葡萄露菌病

- (一) 落花後數回三斗式石灰ホルドウ液チ撒布スヘシ

二六 梨赤星病

- (一) 開花前ヨリ果實ノ大豆粒大ニ達スル迄ノ間三斗式石灰

ホルドウ液チ撒布スヘシ

(二) 梨園附近ノ「ビヤクシン」類ハ之チ切り棄ツヘシ

二七 梨黑星病

- (一) 被害ノ小枝、病果、病葉ハ剪り取り燒棄スヘシ
- (二) 早春一回石灰硫黃合劑ノボーメー比重四度乃至五度液チ撒布スヘシ

- (三) 開花前ヨリ果實ノ大豆粒大ニ達スル迄ノ間三斗式石灰ホルドウ液チ撒布スヘシ

- (四) 果實ノ大豆粒大以後ハ銅石鹼六匁式又ハ石灰硫黃合劑ノボーメー比重〇、二度乃至〇、三度液チ撒布スヘシ

二八 胡瓜露菌病

- (一) 發芽後二三寸ノ時ヨリ數回三斗式乃至四斗式石灰ホルドウ液又ハ八匁式銅石鹼液チ撒布スヘシ

二九 杉赤枯病

- (一) 被害甚ダシキ苗木ハ掘り取り燒棄スヘシ
- (二) 發病ノ憂アル苗木ニハ五、六月及九、十月ノ二期ニ三斗式石灰ホルドウ液又ハ八匁式銅石鹼液チ撒布スヘシ

三〇 蝸 蝸

- (一) 石灰、煤、石灰乳ノ水一斗生石灰一貫匁液チ被害樹ノ下部周圍ニ塗布スヘシ

- (一) 株直シ後桑株ハ乾土ヲ以テ覆ヒ置クヘシ
- (二) 魚肥、堆肥、古糞等ニ米ノ磨汁ヲ注キタルモノヲ處々ニ配置シテ誘殺スヘシ
- 三一 野 鼠

(一) 野鼠チブス菌ノビール壘一本ヲ水五合穀粉三升ニ混シタルモノ又ハ亞砒酸五匁乃至十匁穀粉一升ヲ混シ水ニテ捏ネタルモノ其他殺鼠劑ヲ穀粉其他ノ食物ニ混シタルモノヲ鼠穴ニ投入スヘシ

● 害蟲驅除豫防規則施行細則

(大正十五年七月一日)
(訓令甲第八十四號)

警察署 市役所 町村役場

害蟲驅除豫防規則施行細則左ノ通知改正ス

第一條 害蟲驅除豫防規則實施督勵ノ爲左ノ害蟲驅除豫防委員ヲ設置ス

- 害蟲驅除豫防委員長 一 名
- 副委員長 一 名
- 同 縣委員 若干 名
- 同 市町村委員長 各市町村一名
- 同 市町村副委員長 各市町村三名

同 市町村委員

若 干 名

第二條 委員長ハ内務部長副委員長ハ警察部長ヲ以テ充テ縣委員ハ地方事務官、地方警視、地方技師、農林技師、屬、警部、警部補、技手、農林技手中ヨリ知事之ヲ命免ス

市町村委員長ハ其ノ市町村長市町村副委員長ハ其ノ市町村助役、其ノ市町村駐在警察官吏及市町村農會長ヲ以テ之ニ充テ市町村委員ハ市町村吏員、市町村農會役員並篤農者中ヨリ市町村長之ヲ命免又ハ委解囑シ其ノ都度知事ニ報告スヘシ

第三條 知事ハ必要アリト認ムルトキハ縣農會並郡農會役員中ヨリ縣委員ヲ委解囑スルコトヲ得

第四條 委員長ハ知事ノ命ヲ承ケ害蟲驅除豫防事務ヲ總轄ス副委員長ハ委員長ヲ補佐シ委員長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

縣委員ハ委員長ノ命ヲ承ケ其ノ事務ニ從事ス

市町村委員長ハ委員長ノ命ニ依リ其ノ市町村ニ於ケル害蟲驅除豫防事務ヲ掌理ス

市町村副委員長ハ市町村委員長ヲ補佐シ其ノ事故アルトキハ之ヲ代理ス

ニ依リ御提出相成度

害蟲驅除豫防施行結果報告

苗代見	苗代注油	苗代除蟲菊木灰	驅除施行人員
積反別	驅除反別	合劑驅除反別	

備考 螟卵採集概數及益蟲保護器設置ノ有無個數等ヲ附記スルコト

一本田

水稲作付反別	白穗切取反別	白穗切取本數	同上施行人員
--------	--------	--------	--------

備考 浮塵子、等驅除ノ場合ハ右様式ニ準シ報告ノコト

一 桑園

桑園反別	醜曹液(石灰硫黃合劑ニ)	同上施行人員	摘 要
	(ヨル驅除反別)		

備考 害蟲ノ種類ニヨリ右様式ニ準シ報告ノコト

一 其他ノ病蟲害驅除ニ付テハ右ニ準シ報告ノコト

第五條 害蟲驅除豫防上必要ナル事項ハ協議會ヲ開催シテ驅除豫防ノ周到ヲ圖ルモノトス

第六條 市町村委員長ハ市町村委員ニ各受持區域ヲ指定シ常ニ害蟲發生ノ有無ヲ調査セシメ驅除豫防ヲ勵行セシムヘシ

第七條 市町村長ハ其ノ市町村內ニ於テ害蟲驅除豫防ヲ執行シタルトキハ其ノ結果ヲ十日以内ニ知事ニ報告スヘシ

附 則

第八條 本則ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九條 本則施行ノ際現ニ縣及市町村委員タル者ハ本則ニ依リ命囑セラレタルモノト看做ス

第十條 大正十二年八月二十七日山梨縣訓令甲第三十八號害蟲驅除豫防規則施行細則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

● 害蟲驅除施行結果報告ニ關スル

件

(昭和二年六月二十二日)
(農發第二三八號通牒)

内務部長ヨリ各市町村長宛

昨年七月一日付縣訓令甲第八四號害蟲驅除豫防規則施行細則第七條ニヨル害蟲驅除豫防施行結果報告ハ爾今毎年別記様式

●病害蟲豫防事務成績報告ノ件

(昭和二年三月二十二日)
農發第九七號通牒

内務部長ヨリ各町村長宛

毎年度貴部内ニ於ケル農作物病害蟲驅除豫防事務ノ成績ヲ翌年度七月末日迄ニ別記事項ニヨリ取調報告相成度

記

何年度病害蟲豫防成績

一 主ナル菌類又ハ害虫ノ發生分布及被害ノ狀況

二 豫防督勵ノ狀況

イ 豫防督勵及成績ノ概要

ロ 豫防督勵ニ關スル市町村委員ノ數

ハ 豫防督勵ニ關スル命令、訓令、諭告等

ニ 豫防法令違反者

拘留 何 人

科料 何 人

何々 何 人

ホ 市町村等ヨリ補助ヲ與ヘタル事業ノ概要

ハ 豫防方法上ノ施設ニシテ特ニ周知モシムル價值アリト

認ムル事項アラハ其概要
ト 豫防ノ効果ニ關シ特ニ顯著ナル事實アラバ其概要

三 經費

イ 市町村費

ロ 市町村農會費

記載例

一 督勵ノ狀況成績中ニハ害虫卵塊ノ採取、白蟻採取、麥奴

豫防實施等モ可成具體的ニ記載スルコト

二 經費ハ特ニ豫算ニ計上セラレタルモノト否トヲ問ハス

實際ノ負擔額ヲ調査スヘシ但シ市町村費ニ在リテハ昭

和二年一月十日付縣令第二號害蟲驅除豫防規則第九條

ニ依リ報告スヘキ費用ヲ控除スルコト、經費ハ補助金

人夫賃、器具購入等大略區分スルコト

●山梨縣立農事試驗場苗木青酸瓦斯燻蒸規程

(大正四年七月八日)
告示第九十一號

山梨縣立農事試驗場苗木青酸瓦斯燻蒸規程左ノ通定ム

山梨縣立農事試驗場苗木青酸瓦斯燻蒸規程

況ヲ報告セシムルコトアルヘシ

●野鼠窒扶斯菌並殺鼠藥劑配付規程

(大正十二年十月四日)
縣令第五十一號

附首 大正一五年七月縣令第九七號改正

明治四十三年五月山梨縣令第四十一號野鼠窒扶斯菌配付及取締

規程左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

野鼠窒扶斯菌並殺鼠藥劑配付規程

第一條 市町村又ハ郡市町村農會ニ於ケル野鼠驅除施行ニ要

スル野鼠窒扶斯菌又ハ亞砒酸其ノ他ノ殺鼠藥劑ハ山梨縣立

農事試驗場ニ於テ之ヲ配付ス

第二條 野鼠窒扶斯菌又ハ殺鼠藥劑ノ配付ヲ受ケムトスル

ハ左記事項ヲ具シ野鼠窒扶斯菌ハ毎年九月末日殺鼠藥劑ハ

驅除施行期日三十日前迄ニ山梨縣立農事試驗場長ニ出願ス

ヘシ

一 被害地名

二 被害面積

三 野鼠ノ種類

第一條 果樹桑樹等ノ苗木ニ寄生セル害蟲驅除ノ爲メ青酸瓦斯ノ燻蒸ヲ受ケントスルモノハ左記事項ヲ具シ農事試驗場長ニ出願スヘシ

一 果樹ノ種類

二 樹 齡

三 本 數

第二條 前條ノ出願ヲ爲シ得ルモノハ本縣現住ノ農業者又ハ苗木販賣者及管内郡市町村、學校農會、其他ノ團體ニ限ル

第三條 苗木ノ燻蒸ニ要スル費用ハ出願者ノ負擔トス

但シ郡市町村其他公共事業ノ爲ニ出願スルモノハ此限りニ

アラス

第四條 農事試驗場長出願ヲ許可シタル時ハ燻蒸施行ノ期日

ヲ定メ出願者ニ通知スヘシ

第五條 出願者ハ前條指定ノ期日ニ其苗木ヲ農事試驗場ニ運

搬シ之カ燻蒸ニ立會フヘシ

第六條 農事試驗場長ハ出願者ノ請求ニ依リ燻蒸濟ノ苗木ニ

對シ證明書ヲ交付スルコトヲ得

第七條 出願者ハ苗木ノ枯損其他ノ事故ニ對シ異議ノ申立ヲ

爲スコトヲ得ス

第八條 燻蒸ノ施行ヲ受ケタル出願者ニ對シテハ燻蒸後ノ狀

四 被害作物及其ノ狀況

五 驅除施行ノ豫定期日

第三條 野鼠窒扶斯菌ノ配付ハ特別ノ場合ヲ除クノ外毎年十月一日ヨリ翌年三月末日迄ノ間トス

第四條 野鼠窒扶斯菌並殺鼠藥劑ノ配付ハ無償トス但シ運搬ニ要スル費用ハ出願者ノ負擔トス

第五條 野鼠驅除實施期日決定シタルトキハ直ニ農事試驗場長並所轄警察官署長ニ届出ツヘシ

第六條 野鼠窒扶斯菌並殺鼠藥劑ハ人體及家畜ニ有害ナルヲ以テ其ノ取扱ヲ注意シ其ノ使用ニ就テハ農事試驗場職員其ノ他監督者ノ指揮ヲ遵守スヘシ

第七條 野鼠窒扶斯菌又ハ殺鼠藥劑ノ配付ヲ受ケタル者ハ驅除施行後二箇月以内ニ其ノ成績ヲ農事試驗場長ニ報告スヘシ

第八條 第五條、第六條ニ違背シタル者ニ對シテハ其ノ施行ヲ停止セシムルコトアルヘシ

第四章 耕地整理及開墾助成

●耕地整理法施行細則

(大正七年六月二十日) 縣令第三十九號

附則 大正一五年七月縣令第八四號改正

耕地整理法施行細則左ノ通定ム

耕地整理法施行細則

第一條 耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スルモノハ別ニ規程アルモノノ外本則ノ定ムル所ニ依リ其ノ事務ヲ處理スヘシ

第二條 耕地整理法及耕地整理法施行規則並本則ノ規定ニ依リ作製スヘキ書面ハ別ニ規定アルモノノ外附屬様式ニ依ルヘシ

第三條 工事施行後ニ於ケル地區ノ總面積五十町歩以上ノモノ若ハ揚水機、溜池、伏越、隧道、頭首工、排水樋門ノ各工事費三千圓以上ノモノハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立認可申請書ニハ設計書及規約各二通ヲ添付スヘシ但シ

設計書ニ添付スヘキ現形圖ノ副本ニハ土地各筆ノ番號記入ヲ要セス

第四條 耕地整理組合設立者又ハ施行認可申請者ハ其ノ施行地區内ニ保安林、開墾制限地等存在スルトキハ之ヲ知ルニ足ルヘキ圖面並説明書ヲ申請書ニ添付スヘシ

第五條 耕地整理組合ノ起債認可申請書ニハ左ノ各號ノ書類ヲ添付スヘシ但シ三萬圓ヲ超ユル負債ヲ起ス場合ニハ起債理由書、工事施行ニヨリテ得ヘキ利益ヲ除ク外各二通ツツ添付ノコト舊債ヲ合セ三萬圓ヲ超ユル場合亦同シ

- 一 總會(組合會)決議書
 - 二 起債ノ理由書
 - 三 借入金並利子償還ノ財源調
 - 四 借入金並利子償還ノ年次表
 - 五 當該年度歲入歲出豫算書工事完了ニ至ル迄ノ各事業年度收支計算ノ見込概要
 - 六 地區内ノ土地ニ直接賦課セラルル各租稅總額ノ一覽表
 - 七 舊債調及償還年次表
 - 八 工事施行ニ依リテ得ヘキ利益
- 第六條 耕地整理組合設立及耕地整理施行ノ認可ヲ受ケタル者ハ左記各號ノ事項ハ五日以内ニ知事ニ報告スヘシ其ノ報

告シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ亦同シ

- 一 耕地整理施行者又ハ耕地整理組合員ノ氏名若ハ其ノ所有スル土地ノ面積及地價ニ異動アリタルトキハ其ノ事項事由及年月日
- 二 事業施行ニ關スル細則其ノ他規程ノ設定及其ノ年月日
- 三 評議員、組合會議員又ハ施行委員、施行委員長ノ就職退職年月日事由及氏名
- 四 工事ニ著手シ又ハ完了シタルトキハ其ノ年月日
- 五 耕地整理施行ニ關シ訴訟又ハ和解ヲ爲シタルトキハ其ノ要領
- 六 地價配賦決定及登記完了ノ通知ヲ受ケタルトキハ決定又ハ完了ノ年
- 七 整理前又ハ整理後ノ土地ニツキ評定シタルトキハ地番地目、面積及評定額
- 八 請負契約ニ依リ工事ヲ施行スルトキハ其ノ契約條項但シ金額五百圓未満ノモノハ此ノ限りニアラス
- 九 帳簿又ハ書類ヲ滅失シタルトキハ其ノ名稱員數並其ノ事由及年月日
- 一〇 前條ニ依リ起債ノ認可ヲ受ケ其ノ借入レヲ爲シタルトキ又ハ耕地整理施行者ニシテ資金ノ借入レヲ爲シタルトキハ

ルトキハ借入金額、其ノ年月日、償還期限、借入先、利率、償還方法、元金及利子支拂期日其ノ負債ヲ償還シタルトキハ償還金額、償還先及年月日

- 第七條 耕地整理組合、耕地整理施行者ハ每事業年度經費收支豫算ヲ前年度八月末日迄ニ知事ニ報告スヘシ但シ初年度ニアリテハ組合設立認可若ハ施行認可後三十日以内ニ報告スヘシ
- 第八條 一人施行者ハ每事業年度ノ事業報告及經費收支決算書ヲ知事ニ差出スヘシ
- 第九條 耕地整理法施行規則第二十二條及前條ノ規定ニ依ル報告書類ハ毎年十月末日迄ニ提出スヘシ
- 第十條 工事完了シタルモノニアリテハ創業以來工事完了シタル年度迄ニ要シタル工事費及其ノ他一切ノ費用ノ各決算額累年總計表ヲ當該年度ノ事業報告ト同時ニ知事ニ差出スヘシ
- 第十一條 耕地整理法第三十條第三項ノ認可申請書ニハ換地説明書及整理確定圖正副二通ヲ添付スヘシ但シ換地説明書副本ニハ評定價額記入ヲ要セス
- 本則第三條ノ規定ニ該當スル地區ニアリテハ土地各筆ノ番號ノ記入セサル整理確定圖ヲ更ニ一通提出スヘシ

第十二條 換地説明書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル調書ヲ添付スヘシ

- 一 耕地整理施行者又ハ組合員數及換地ヲ受ケタル者ノ員數
- 二 従前ノ土地及換地ノ筆數、面積ノ地目別合計並耕地整理法第十一條ニ該當スル國有地ノ地目別面積
- 三 従前ノ土地又ハ工事施行後ノ土地ニツキ其ノ價額ヲ評定シタルモノニアリテハ其ノ評定價額總額
- 四 精算金ノ徴收及交付總額並其ノ差額
- 五 従前ノ土地ノ評定價額總額ト換地ノ評定價額總額トノ比ニ依リ精算シタルモノニアリテハ其ノ比
- 第十三條 事業ノ種類及土地ノ狀況ニ依リ換地處分ヲ爲ササルモノニシテ地價ノ配賦ヲ爲サムトスルモノハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後遲滞ナク地價配當案ヲ作製シ總會又ハ總會議ノ議決ヲ經テ之ヲ所轄稅務署長ニ差出シ其ノ配賦ヲ受クヘシ
- 第十四條 耕地整理法施行規則第二十五條ノ規定ニ依リ書類及帳簿ノ引渡シヲ了シタルトキハ十日以内ニ雙方連署ヲ以テ引繼目錄ヲ添付シ其ノ完了年月日ヲ知事ニ届出ツヘシ
- 第十五條 耕地整理ニ關スル圖書類ハ左ノ分類ニ從ヒ編綴ス

ヘシ

- 一 整理施行又ハ組合設立認可申請關係書類
 - 二 收支豫算、收支決算及事業報告書類
 - 三 會議關係書類
 - 四 選舉關係書類
 - 五 起債關係書類
 - 六 換地處分關係書類
 - 七 地價配當關係書類
 - 八 登記關係書類
 - 九 指令書及其ノ他諸令達書類
 - 一〇 諸公告及通知書類
 - 一一 諸契約書類
 - 一二 諸往復文書類
 - 一三 雜件文書類
- 第十六條 耕地整理法、耕地整理法施行規則及本則ニ依リ提出スル書面ハ地區所在ノ市、町村長ヲ經由スヘシ
- 附則
- 本則ハ大正七年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附屬樣式
- 第一號樣式

第九編 産業 第四章 耕地整理及開墾助成

土地立入許可願

耕地整理組合設立(施行)ノ爲左記ノ土地へ立入測量及調査致度候ニ付御許可相成度耕地整理法第八條ニ依リ此段相願候也

年月日

耕地整理組合設立(施行)認可申請者

氏名 ㊦

市町村長宛

記

一 立入ノ場所 何市町村大字何ノ土地全部

二 立入ノ期間 何年何月何日ヨリ何年何月何日迄

第二號様式

土地立入通知書

一 立入ノ目的 耕地整理施行ニ關シ測量及調査ノ爲

二 立入ノ場所 何市町村大字何字何番ヨリ何番迄ノ土地

三 立入ノ期間 何年何月何日ヨリ何年何月何日迄

右耕地整理法第八條ニ依リ此段及通知候也

年月日

耕地整理組合設立(施行)認可申請者

一〇〇

土地占有者宛

第三號様式

土地立入公告

一 立入ノ目的 耕地整理施行ニ關シ測量及調査ノ爲

二 立入ノ場所 何市町村大字何ノ土地全部

三 立入ノ期間 何年何月何日ヨリ何年何月何日迄

右耕地整理法第八條ニ依リ公告ス

年月日

住所

耕地整理組合設立(施行)認可申請者

氏名 ㊦

第四號様式

簿書閱覽(謄寫)願

何都市町村大字何地内ニ於テ耕地整理施行ノ爲左記ノ土地ニ關スル土地臺帳(圖面)閱覽(謄寫)ノ必要有之候間(資格證明書相添)耕地整理法第九條ニ依リ此段相願候也

年月日

住所

資格 氏名 ㊦

何々宛

記

一 何都市町村大字何

第五號様式

耕地整理組合設立(施行)届

何々耕地整理組合設立(耕地整理施行)可致候條耕地整理法施行規則第三條ニ依リ左記事項及御届候也

何郡町村大字何々番地

年月日

何々耕地整理組合設立(耕地整理施行)認可申請者

氏名 ㊦ (以下連署)

市町村長宛

一 整理施行地區 何市町村地内

一 事務 所 何市町村大字何々番地

第六號様式

耕地整理組合設立認可申請

何都市町村(大字何)地内ニ於テ耕地整理組合設立致度候條御認可相成度別冊關係書類相添へ此段申請候也

何都市町村大字何々番地

第九編 産業 第四章 耕地整理及開墾助成

年月日

耕地整理組合設立認可申請者

氏名 ㊦ (以下連署)

知事宛

備考 關係書類トシテ左記書面添付ヲ要ス

一 設計書並規約

二 土地原簿甲寫

三 土地原簿乙寫

四 施行地ヨリ特ニ除斥シタル土地及其ノ事由

五 土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者、豫約開墾者、又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地又ハ水面ノ權利別、地目別ノ面積及地價若ハ假地價

六 組合員ノ員數其ノ土地水面ノ總面積、總地價並組合設立ニ同意シタル者ノ總數及其ノ土地水面ノ總面積

七 總地價

八 組合設立ニ同意ヲ證スル書面

國有ニ屬スル道路堤塘溝渠等整理施行地區へ編入調

書

一〇一

第一項ノ地土		計	
計			
合	計		

備考

- 一 土地各筆又ハ水面ノ實測面積ニ地目別ニ面積欄内ニ朱書ヲ以テ之ヲ併記スヘシ
- 二 土地又ハ水面ノ假地價ハ地價欄ニ記載スヘキ地價中ニ之レヲ算入スヘシ
此ノ場合ニ於テハ内書トシテ地目別ニ假地價ヲ朱書スルコトヲ要ス
- 三 外畦畔ノ面積ハ本地ノ地目別ヲ記載シタル面積欄内ニ朱書ヲ以テ之ヲ併記スヘシ

二 土地原簿乙寫

字	番	號	地	目	記	事

備考

- 一 水面ノ位置ハ字欄ニ之ヲ記載スヘシ
- 二 左ノ事項ニ付テハ記事欄ニ之ヲ記載スヘシ

(一) 耕地整理法施行規則第三十二條第四號ノ土地ノ表示

(二) 耕地整理組合ニ在リテハ耕地整理法第四十四條第一項ノ土地ノ表示

三 法第四十三條四號乃至八號ノ土地アル場合ハ其表示

三 整理施行地區ヨリ特ニ除斥シタル土地及其事由

字	番	號	地	目	除斥シタル事由
			宅	地	建物アリテ移轉シ難キ事情アルニ由ル
			墓	地	墓地ニシテ移轉シ難キ事情アルニ由ル
計					

備考

除斥シタル土地各筆ハ番號ノ順ヲ追テ記入スヘシ

四 土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者、豫約開墾者、又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ所有權其他ノ權利ノ目的タル土地又ハ水面ノ權利別、地目別ノ面積及地價若ハ假地價

地	目	面	積	地	價	權利別	組合員タルヘキ者ノ住所氏名(若ハ名稱)
畑	田	町				土地所有者	同

備考

- 表中掲記ノ順序ニ依リ署名捺印スヘシ
- 一四 埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面アルトキハ其許可ヲ證スル書面
 - 一五 耕地整理事業カ府縣、郡、市、町村其ノ他ノ公共團體ノ事業ニ關スルトキハ其團體ノ承認ヲ證スル書面其ノ承認ヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面
 - 一六 整理施行ノ爲國縣道、河川法施行ノ堤塘等ニ加工スルトキニハ之ニ必要ナル調書

住所

貸貸人氏

名

第七號様式

代表者通知書

何某外何名所有ノ土地耕地整理施行地區へ編入ニ付テハ共有者ノ一人タル何某ヲ代表者ト定メ整理施行ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムルコトニ致候條及通知候也

年月日

何市町村大字何々番地

氏名

(以下連署)

何々耕地整理組合宛

第八號様式

總會通知書

今般何耕地整理組合設立認可相成候ニ付來ル何月何日午前(後)何時ヨリ何所ニ於テ總會相開キ左記事項ヲ表決可致候ニ付御出席相成度此段及通知候也

年月日

何耕地整理組合設立認可申請者 氏名

何某宛

追テ出席ノ節ハ別紙出席届ニ夫々記入捺印御携帶相成度出席差支ノ節ハ書面ニ依リ表決セラルルカ又ハ別紙書面ニ相當代理人ニ委任スル旨記入署名捺印シ表決權委任相成度申添候

表決事項

- 一 (組合設立ニ關スル事項ノ報告及費用ノ承認)
- 二 組合長一名組合副長何名評議員何名選舉
- 三 初年度收支豫算
- 四 組合費ノ起債
- 五 何々

(別紙)

出席届		本人ノ住所	
所 有 地	町 積 一 地 價	氏 名	代理人氏名

大正 年 月 日

注意 一、出席ノ方ハ本届及實印持參ノコト
二、他人へ委任ノ節ハ裏面委任狀ニ印紙貼用署名捺印ノコト

(別紙ノ裏)

紙印 委任狀

一 代理人ノ表示

何縣何郡何村大字何番地

氏名

一 委任事項

大正何年何月何日何耕地整理組合總會ニ出席シ招集通知書記載事項ノ表決ヲ爲スコト

右委任ス

年月日

何郡何村大字何番地

氏名

第九號様式

總會議事録

- 一 開會ノ日時及場所
大正何年何月何日午前(後)何時
何郡(市)町村大字何々
- 二 現在ノ組合員總數、其所有スル總面積及總地價
組合員 何人
總面積 何程
總地價 何程
- 三 出席シタル組合員ノ氏名

第九編 產業 第四章 耕地整理及開墾助成

四 出席シタル者ノ員數及其所有スル土地ノ總面積及總地價

出席人員	總面積	總地價
町		
人		

五 議事ノ要領

議事經過ノ概要ヲ記スヘシ

六 表決シタル事項

第一號議案何々

第二號議案何々

七 賛否ノ數

表決議案	出席者ノ員數	賛成數	不賛成數
第一號			
第二號			

八 賛成者ノ氏名、員數及其ノ所有スル土地ノ總面積、總地價

第一號議案 何某、何某、何某

總面積
總地價
第二號議案

第一號議案ニ準ス
右ノ通相違無之候也

年月日

議長(職) 氏
署名人 氏
署名人 氏

備考

- 一 耕地整理法第五十條ノ條件ヲ具備スルヲ要セサル總會ノ議事録ニハ土地ノ總面積、總地價ノ記入ヲ要セス
- 二 表決權數ニヨリ賛否ヲ決シタル場合ハ七項ノ様式ニ準シ表決權總數、賛成數、不賛成數ヲ掲記スヘシ
- 三 備考一、二ノ場合ニ於テハ八項ノ記載ヲ要セス

第十號様式

組合長、組合副長選任認可申請
何々耕地整理組合長並組合副長ニ左記ノ者選任致候ニ付御認可相成度總會議事録謄本及履歷書相添此段申請候也

年月日

何都市町村大字何番地

耕地整理組合設立認可申請者 氏 名

(以下連署)

知事宛

記

何都市町村大字何々番地

組合長 氏 名

同 大字何々番地

組合副長 氏 名

第十一號様式

評議員(組合官議員)(施行委員)(施行委員長)當選(異動)報告

評議員 氏 名

同 氏 名

同 氏 名

右何月何日當選(死亡又ハ何々)致候條此段及報告候也

年月日

何々耕地整理組合長(何々施行委員長) 氏 名

知事宛

第九編 產業 第四章 耕地整理及開墾助成

第十二號様式

事業施行ニ關スル規程設定(變更)報告

何々規程(細則)何々ノ事由ニ依リ何年何月何日別冊ノ通設定(變更)致候條此段及報告候也

年月日

何々耕地整理組合長(何々施行委員長) 氏 名

知事宛

備考 規程變更ノ場合ハ關係ノ舊條項ハ左方ニ朱書スヘシ

第十三號様式

組合長(組合副長)解任認可申請

本耕地整理組合長(組合副長)何某左記理由ニ依リ解任致候條御認可相成度總會(組合會)議事録謄本相添ハ此段申請候也

年月日

何々耕地整理組合副長(組合長) 氏 名

知事宛

一 解任ノ理由
解任スルニ至リタル事由ヲ詳記スヘシ

第九編 產業 第四章 耕地整理及開墾助成
第十四號樣式

經費收支決算(豫算)報告
大正何年度何耕地整理組合經費收支決算(豫算)別紙ノ通ニ有之候ニ付此ノ段及報告候也
年 月 日

知事 宛

何耕地整理組合長 氏

名 〇

大正何年度何耕地整理組合經費收支決算(豫算)書

科 目	豫算額	決算額	増減	附 記
第一款 賦課徴収金				
第一項 評定價額				土地評定價額總額何程價額百圓又八十圓ニ付何程ノ割
第二項 何々割				
第二款 夫役現品換算金				
第一項 夫役換算金				夫役何人分一人ニ付何程
第二項 現品換算金				何品何程一個ニ付何程
第三款 雜收入				
第一項 預金利子				預金何程ニ對スル利子

科 目	豫算額	決算額	増減	附 記
第二項 賣却代				何々賣却代
第三項 補償金				田何程ニ對スル小作米何程一石ニ付何程
第四項 寄附金				何某ヨリ寄附金
第五項 雜入				組合費延滞利子何程何々何程
第四款 補助金				
第一項 縣費補助				工事費豫算金何程ニ對スル何分ノ一
第二項 何費補助				
第五款 借入金				
第一項 借入金				日本勸業銀行又ハ山梨農工銀行ヨリ借入
第六款 繰越金				
第一項 繰越金				前年度剩餘金
合計				
支 出				
第一款 事務所費				

第九編 產業 第四章 耕地整理及開墾助成

第三項	評議員	同
第四項	雜費	會場ニ要スル借家料及消耗品等計上説明スヘシ
第四款	補償費	
第一項	償地	地區外償地何程此金何程一坪ニ付何程
第二項	竹木及土石工作物補償金	果樹何本何程一本ニ付何程
第三項	耕作補償金	田何程ニ對スル小作米何程一反ニ付何程ノ割リ
第五款	揚水機運轉費	運轉士一人月何程何ヶ月分此金何程火夫何人延何日分一人一日ニ付何程此金何程
第一項	給料	石炭又ハ石油何程
第二項	燃料費	各費目ニ屬セサルモノニシテ揚水機運轉ニ要スル諸雜費何々何程ト説明計上スヘシ
第三項	雜費	
第六款	維持管理費	
第一項	修繕費	道路又ハ水路修繕何程何々何程
第二項	管理費	道水路看守人手當何人分年何程此金何程何々何程
第七款	償還費	

第一項	償還元金	日本勸業銀行償還元金何程農工銀行償還元金何程
第二項	償還利子	日本勸業銀行借入金何程ニ對スル分何程農工銀行又ハ何々銀行モ同上説明スヘシ
第八款	交附金	組合費又ハ換地清算金滯納額徵收何程ニ對スル交付金
第九款	設立費	測量入夫何人金何程杭何本金何程
第一項	設計費	何々
第二項	事務所費	何人一人ニ付金何程
第三項	報關者	實費何回分
第四項	旅費	
第十款	豫備費	
第一項	豫備費	豫算外又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツ
合計		

差引金何程(ナシ)殘翌年度へ繰越(何々)

但工事完了シタルモノニアリテハ尙左表ヲ添付スヘシ

支出決算額累年總計表

科目	年次				計
	何年度	何年度	何年度	何年度	
工事費	○	○	○	○	○
其他一切ノ費用					○
計					

備考

- 一 豫算報告書ニハ累年合計表及決算欄比較増減欄ヲ要セス
- 二 收入豫算又ハ支出豫算ハ必要ニ應シ各經常費臨時費ノ二部ニ分チ其各部チ更ニ款項ニ區別スル事ヲ得
- 三 本様式中ニ示ササル科目アルトキハ適當ニ其ノ科目ヲ設クヘシ
- 四 豫備費ハ豫算會議ニ於テ否決セラレタル費途ニ充ツルコトヲ得ス
- 五 豫算ニ對シ過不足ヲ生シタルモノハ其過不足ノ説明ヲ附記欄ニ記入スヘシ

第十五號様式

起債認可申請

何耕地整理組合事業資途ニ充當ノ爲起債致度候ニ付御認可相成度左記書類添付此段申請候也

年 月 日

- 一 總會(組合會)決議書

何耕地整理組合長

氏

名

印

- 二 起債ノ理由書
- 三 借入金並利子償還ノ財源調
- 四 借入金並利子償還年次表
- 五 當該年度歲入歳出豫算書及工事完了ニ至ル迄ノ各事業年度收支計算ノ見込ノ概要
(第十四號ノ様式ニ準シ累年表ヲ作製スヘシ)
- 六 地區内ノ土地ニ直接賦課セラレル各租稅總額ノ一覽表
- 七 舊債調及其ノ償還年次表
- 八 工事施行ニ依リ得ヘキ利益計算

備考

三萬圓ヲ超ユル負債ヲ起ス場合ニハ起債理由書、工事施行ニ依リテ得ヘキ利益ヲ除ク外各二通宛添付ノコト舊債ヲ合セ三萬圓ヲ超ユル場合亦同シ

總會(組合會)決議書

- 一 起債金額 金何圓
- 一 起債ノ目的 面積何町步ニ對スル耕地整理施行費
- 一 借入金利率 年何分以内
- 一 借入先 何々
- 一 借入時期 大正何年度但シ借入期月ハ銀行ト協定スルモノトス
- 一 据置期間 借入ノ月ヨリ何年何月迄
- 一 償還期限 自何年度何ヶ年賦但シ毎年度ノ償還期月ハ銀行ト協定スルモノトス
至何年度何ヶ年賦但シ毎年度ノ償還期月ハ銀行ト協定スルモノトス
組合財政ノ都合ニ依リ繰リ上ケ償還ヲ爲シ償還期限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲ス

ナル事項

備考

- 一 設計變更ノミノ場合ハ二、以下ヲ要セス
- 二 地區變更ノ結果規約ニ影響スルモノアルトキハ其變更手續ヲモ爲スヘシ
- 三 本則第三條ニ該當ノモノニアリテハ二通ヲ要ス

第二十三號様式

規約變更認可申請

何耕地整理組合(整理施行地區)規約變更致度候ニ付御認可相成度總會(組合會議事錄謄本及左記書面相添へ此段申請候也

年月日

何々耕地整理組合長 (何々施行委員又ハ一人施行者) 氏 名 印

何々耕地整理組合長 (何々施行委員又ハ一人施行者) 氏 名 印

知事宛

一 變更シタル事項及其ノ事由

イ 規約第何條中何々トアルヲ何々ト變更ス

變更ノ事由ヲ記スヘシ

ロ 規約第何條ヲ左ノ通り變更ス

第何條何々

- 二 債務ノ分擔ニ關スル規定ヲ變更セムトスル場合ニ於テ組合債アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面

備考

本則第三條ニ該當ノモノニアリテハ二通ヲ要ス

第二十四號様式

耕地整理組合(地區)事業停止認可申請

何耕地整理組合(整理施行地區)事業停止致度候條御認可相成度總會(總會會議事錄謄本及左記書面相添へ此段申請候也

年月日

何々耕地整理組合長 (何々施行委員又ハ一人施行者) 氏 名 印

何々耕地整理組合長 (何々施行委員又ハ一人施行者) 氏 名 印

知事宛

一 事業停止ノ事由書

二 事業停止ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面

第二十五號様式

耕地整理組合合併認可申請

何々耕地整理組合

右合併致度候條御認可相成度各總會會議事錄謄本及左記書面相添此段申請候也

年月日

何々耕地整理組合長 氏 名 印

何々耕地整理組合長 氏 名 印

知事宛

一 合併ノ事由書

二 合併ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面

イ 合併ノ爲解散スヘキ組合ニ付定メタル事項

ロ 合併後存續スヘキ組合ニ付定メタル事項

ハ 解散スヘキモノト存續スヘキモノトノ關係ヲ定メタル事項

タル事項

ニ 組合合併ニ依リ設立スル組合ニアリテハ合併後其

ノ設立スル組合ニ關シ定メタル事項

ホ 其他必要ナル事項

三 合併ニ依リ定メタル設計書及規約

四 合併後ニ於ケル整理施行地ノ總面積及總地價並筆數

面積及地價ノ地目別合計

(第六號様式第一二同シ)

第二十六號様式

第九編 產業 第四章 耕地整理及開墾助成

耕地整理組合解散認可申請
何耕地整理組合解散致度候條御認可相成度總會會議事錄謄本及左記書面相添へ此段申請候也

年月日

何々耕地整理組合長 氏 名 印

何々耕地整理組合長 氏 名 印

知事宛

一 解散ノ事由書

二 解散ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面

三 組合債アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面

四 事業及經費收支決算報告書

第二十七號様式

換地交付認可申請

何耕地整理組合(整理施行地區)工事完了致候條換地交付御認可相成度總會(總會會議事錄謄本及左記書面相添へ此段申請候也

年月日

何々耕地整理組合長 (何々施行委員又ハ一人施行者) 氏 名 印

何々耕地整理組合長 (何々施行委員又ハ一人施行者) 氏 名 印

知事宛

第九編 產業 第四章 耕地整理及開墾助成

何々耕地整理組合長 (何々施行委員長) 氏 名 印

知事宛

- 一 事業ノ現況
- 二 引繼カムトスル事業及其説明
- 三 同上事業ノ一ケ年間ニ要スル經費ノ概算
- 四 同上權利義務ノ明細
- 五 郡市町村又ハ水利組合トノ協議一致ヲ證スル書面、協議一致セサルトキハ其事由ヲ記載シタル書面

第三十二號様式

耕地整理書類及帳簿引繼指定ノ義ニ付申請

何耕地整理組合(整理施行地區)事業完了致(廢止セラレ)(清算結了致)候處整理施行地區何々市町村ニ涉リ書類及帳簿引繼方決定致兼候條引渡スヘキ市町村長御指定相成度此段申請候也

年月日

何々耕地整理組合長 (何々施行委員長) 氏 名 印

知事宛

第三十三號様式

地價配賦決定(登記完了)報告

本耕地整理組合(整理施行地區)地價配賦(登記)何月何日決定(完了)ノ旨通知有之候條此段及報告候也

年月日

何々耕地整理組合長 (何々施行委員長) 一人施行者 氏 名 印

知事宛

第三十四號様式

耕地整理事業(書類)引繼ノハ清算結了届

何耕地整理組合(整理施行地區)事業(書類)何月何日水利組合(郡市、町、村)ニ引繼(清算結了)致候條左記書面相添ヘ及御届候也

年月日

何々耕地整理組合長 (何々施行委員長) 氏 名 印

知事宛

記

- 一 書類引繼届ノ場合ハ引繼目錄書
- 二 清算結了ノ場合ハ清算報告書

第三十五號様式

耕地整理共同施行認可申請

記

何郡市、町、村大字何々番地 氏 名

氏 名

第三十七號様式

耕地整理共同施行者一人トナリタル場合ノ届

本耕地整理施行地區土地所有權移轉ノ爲整理施行地一人ノ所有ト相成此段及御届候也

年月日

何耕地整理施行地區整理施行者 氏 名

氏 名

知事宛

第三十八號様式

耕地整理一人施行認可申請

何郡市町村大字何地内ニ於テ耕地整理施行致度候條御認可相成度設計書及左記書面相添ヘ此段申請候也

年月日

何郡市町村大字何々番地 氏 名 印

氏 名 印

知事宛

一 事業ノ範圍

第三十六號様式

代表者届

耕地整理法施行規則第三十條ノ代表者ニ左記ノ者選定致候條此段及御届候也

年月日

耕地整理施行認可申請者 氏 名 印 (以下連署)

知事宛

第九編 產業 第四章 耕地整理及開墾助成

(一) 例

土地ノ分合、開墾、地目變換、區劃形質ノ變更、道路、溝渠、畦畔ノ變更廢置並灌漑排水ニ關スル設備工事

前項ノ事項施行ノ爲必要ナル工作物ノ設置及其ノ他ノ設置
二 整理施行地ノ總面積、總地價、並筆數、面積及地價ノ地目別合計

(第六號様式第一項ニ準ス)

三 土地各筆ノ字番號、地目及水面ノ位置並耕地整理法第四十三條ノ土地ノ表示

(第六號様式第二項ニ準ス)

四 整理施行地區ヨリ特ニ除斥シタル土地アルトキハ其ノ事由

(第六號様式第三項ニ準ス)

五 國有ニ屬スル道路、堤塘、溝、等耕地整理地區ヘ編入調査

(第六號様式第七項ニ準ス)

六 耕地整理法第四十三條第一項第二號第三號ノ土地アルトキハ主務官廳又ハ公共團體ノ認許アリタルコトヲ證スル書面

七 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土

地アルトキハ其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面
八 整理施行者カ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ナルトキハ土地所有者及賃貸人ノ同意ヲ證スル書面

(第六號様式第十三項ニ準ス)

九 整理施行事業カ府、縣、郡市、町村、其ノ他、公共團體ノ事業ニ關スルトキハ其ノ團體ノ承認ヲ證スル書面、其ノ承認ヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

十 耕地整理法第三條ニ規定シタル關係人ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

十一 整理施行ノ爲國縣道、河川法施行ノ堤塘等ニ加工スルトキハ之レニ必要ナル調査

第三十九號様式

耕地整理一人施行ヲ共同施行ニ變更認可申請

本耕地整理ヲ共同施行ニ變更致度候條御認可相成度左記書面相添ヘ此段申請候也

年月日

何々耕地整理施行者

氏

名

知事宛

一 共同施行ト爲ス事由書

二 協議一致ヲ證スル書面

三 規約

四 共同施行ト爲ス爲定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面

五 整理施行者ノ員數

六 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者賃借權者、豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタルモノノ所有權其他權利ノ目的タル土地又ハ水面ノ權利別地目別ノ面積及地價若ハ假地價

(第六號様式第四項ニ準ス)

耕地整理基本調査規程

(明治四十年七月二十九日)
(縣令第四十五號)

耕地整理基本調査規程左ノ通定ム

耕地整理基本調査規程

第一條 本調査ハ管内全耕地ヲ通シテ最適當ナル整理ヲ爲ス

第九編 産業 第四章 耕地整理及開墾助成

ニ必要ナル基本計畫ヲ立ツルヲ以テ目的トス

第二條 本調査ハ全管内ヲ分チテ左ノ七大區トシ實地ノ地形ニ應シ測定ヲ爲スモノトス

第一區 釜無川以東ノ地(北巨摩郡内)
第二區 釜無川ヨリ荒川ニ至ルノ間(中巨摩郡内)及明穗村ヨリ鯉澤町ニ至ルノ間

第三區 荒川ヨリ笛吹川ニ至ルノ間(西山梨郡内)

第四區 日川並ニ笛吹川以東(東八代郡及西八代郡内)

第五區 笛吹川並ニ重川ノ沿岸(東山梨郡内)

第六區 南都留郡

第七區 釜無川以西(北巨摩郡及中巨摩郡内)

第三條 本調査ハ専ラ現在ノ耕地ニ關シ左ノ事項ニ付測量調査ヲ行フモノトス

一 平面地形

一 道路ノ位置性質及農業上ヨリ見タル其ノ適否

一 用水源及用水組織ノ適否並ニ主要ナル用水路ノ位置性質及ヒ其ノ適否

一 惡水排除法及惡水組織ノ適否並ニ主要ナル惡水路ノ位置性質及ヒ其適否

一 河流ノ位置性質及流量並ニ耕地下水位トノ關係

- 一 各大字ノ境界
- 一 各地種目別ノ位置
- 一 鉛直地形
- 一 製圖

第四條 前條ノ測量調査ヲ終リタルトキハ將來耕地整理ニ對スル基本計畫ヲ定メ之レテ現形平面圖ニ設定スルモノトス
圖面ニ設定スヘキ基本計畫線ハ左ノ如シ

- 一 道路ノ變更又ハ新計畫線
- 一 用水源用水組織及用水路改良又ハ新計畫線
- 一 惡水排除法惡水路ノ改良又ハ新計畫線
- 一 河流ノ改良線

第五條 本調査ハ最モ必要ナル區域ヨリ著手シ漸次全管内ノ調査ヲナスモノトス

第六條 本調査ニ關スル細則ハ別ニ之レヲ定ム

●耕地整理及土地改良獎勵規程

(大正九年八月九日)
(縣令第四十號)

沿旨 大正一五年七月縣令第八五號改正

耕地整理及土地改良獎勵規程左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施

行ス

耕地整理及土地改良獎勵規程

第一條 耕地整理及土地改良事業ヲ行ハムトスル者アルトキハ本規定ニ依リ測量設計ヲ補助ス

第二條 測量設計ヲ補助スヘキ地區ハ左ノ條件ヲ具備スルモノニ限ル

- 一 耕地整理及土地改良ノ施行ニ適當ナルコト但シ耕地整理ニ在リテハ耕地整理法第五十條ノ條件ヲ具備スルコト
- 二 地區總面積五町以上ナルコト但シ土地ノ狀況ニ依リ此ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第三條 測量設計ノ補助ヲ受ケムトスルトキハ前條ノ條件ヲ證明スル書類ヲ添付シ知事ニ申請スヘシ

第四條 測量設計ハ本縣技術員ヲシテ之ヲ爲サシム但シ測量設計ニ附帶スル人夫其ノ他必要ナル材料ハ申請者ノ負擔トス

第五條 測量設計ヲ終リタルトキハ設計書ヲ申請者ニ交付ス前項交付ヲ受ケタル設計書ハ知事ノ許可ヲ受ケルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第六條 前條ニ依リ設計書ノ交付ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク工

事ニ著手スヘシ

工事中ハ縣ニ於テ隨時之カ監督指導ヲナスモノトス

第七條 本規定ニ違背シ若ハ不都合ノ行爲アルトキハ其ノ測量設計ヲ中止若ハ廢止シ又ハ其ノ要シタル費用ノ一部若ハ全部ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第八條 本規定ニ依リ知事ニ提出スル書類ハ所屬町村役場及市役所ヲ經由スヘシ

附則

明治四十三年三月山梨縣令第二十號耕地整理獎勵規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢ス

●耕地整理補助金交付規程

(明治四十三年三月十四日)
(縣令第二十一號)

沿旨 大正元年八月縣令第一號、二年四月同第一三號、五年一月同第二號、一五年七月同第八六號改正

耕地整理補助金交付規程左ノ通定ム

耕地整理補助金交付規程

第一條 耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スルモノニ對シ本規程ニ依リ補助金ヲ交付ス

第二條 (削除)

第三條 補助金ハ左ノ標準ニ依リ當該年度ニ於テ行ヒタル工事又ハ設備ニ對シ交付ス

- 一 開、及開田ヲ目的トスル地目變換、湖沼ノ埋立干拓、溜池、堀井、揚水機、伏越、隧道、頭首工若ハ排水樋門等ノ各工事又ハ設備ニ要スル費用ニ對シテハ其ノ十分ノ五以內
- 二 其ノ他ノ工事又ハ設備ニ要スル費用ニ對シテハ其ノ十分ノ三以內

第四條 補助金ノ交付ヲ申請スルモノハ整理施行ノ認可又ハ組合設立ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ル

第五條 補助金ノ申請書ハ一人ニテ施行スル耕地整理ニアリテハ施行者、數人共同シテ施行スル耕地整理ニアリテハ代表者、耕地整理組合ニアリテハ組合長ヨリ左ノ事項ヲ具シ毎年四月三十日迄ニ知事ニ之ヲ差出スヘシ但シ初年度ニ於テハ施行認可又ハ組合設立ノ認可ヲ受ケタル後遲滞ナク之ヲ差出スヘシ

- 一 施行認可又ハ組合設立ノ認可ヲ受ケタル年月日
 - 二 整理施行地區ノ所在及總面積
 - 三 當該年度ニ於ケル工事又ハ設備ニ要スル費用ノ豫算
- 第二號及第三號ノ事項ハ規約ヲ以テ整理施行地區ニ分テタ

第二號樣式

國有土地無償交付申請

町村名	大字	地目	反別	價格	摘要
			町	圓	
合計					

右ハ今般何々耕地整理施行地區工事完了ニ付耕地整理法第十一條第一項ニ依リ無償交付相成度此段申請候也

年月日

住所

何々耕地整理施行者
何々耕地整理組合長

何 某

山梨縣知事宛

第三號樣式

民有土地無償上地屆

町村名	大字	地目	反別	價格	摘要
合計					

右ハ何々耕地整理施行地區ニ開設シタル道路、溝渠等ニシテ廢止シタルモノニ代ルヘキモノニ付耕地整理法第十一條第二項ニ依リ無償上地致候間國有地ニ編入相成度此段及御届候也

年月日

住所

何々耕地整理施行者
何々耕地整理組合長

何 某

山梨縣知事宛

● 整地耕理換地處分ニ關スル件

(大正元年十二月二十七日)
(梨農發第八九〇號通牒)

内務部長ヨリ各[郡]市長宛

耕地整理法第三十條ニ依リ換地處分認可申請書ニ添付スヘキ換地説明書中換地清算チナス場合ニ於テ同法第二條ノ關係人チ有スル土地チ除ク外各筆ニ付清算チ行ハス各人ノ合計ニ於テ換地清算チナシ支障無之趣其筋ヨリ通牒有之候ニ付此段及移牒候也

● 設計書變更ニ關スル件

(昭和二年九月十日)
(農發第三三七號通牒)

内務部長ヨリ各耕地整理組合宛

耕地整理組合設立又ハ整理施行ノ認可後工事施行ニ際シテハ設計書ニ準據スルハ勿論ノ義ナルモ不得已事情ノ爲一部變更チ爲サントスル場合ハ豫メ其ノ事由ヲ具シ設計書變更ノ認可ヲ得タル後施行スル義ニ候モ往々右手續ヲ履行セサル向有之取扱上支障不尠候條爾今制規ノ手續相成度此段及通牒候也
追テ設計書變更ニ關シ其補助ヲ受ケムトスルトキハ變更セントスル事由ヲ記載シ申請書提出セラレ度

● 耕地整理監督ノ件

(大正三年九月十四日)
(梨農發第一六二號依命通牒)

内務部長ヨリ各[郡]市長宛

耕地整理組合其他耕地整理ヲ施行スルモノノ經費ニシテ工事費以外ノ事務費等ニ少カラサル出費チナシ又ハ負債ノ既定償還チ怠ル向往々有之右ハ土地所有者ノ負擔益重大トナリテ疑懼ノ念チ懷カシメ延テ紛擾チ來シ或ハ財政紊亂之基因トナリ事業ノ進捗ニ障礙不尠義ト存セラレ候ニ付負債ノ豫定償還チ怠ラサルハ勿論一般事務費等之節約チ計リ候様常ニ充分ノ監督チナシ遺憾ナキチ期セシメラレ度依命此段及通牒候也
追テ耕地整理組合其他耕地整理ヲ施行スルモノノ經費收支豫算書ハ爾今議定ノ都度(本年九月事業年度開始ノ豫算ハ此ノ際)報告セシメラレ度候

● 耕地整理豫算及決算報告ニ關スル件

(大正十二年四月十三日)
(農發第一〇六號通牒)

内務部長ヨリ各[郡]市長宛

備考

- 一 各人別ニ口座ヲ設クヘシ
 - 二 本帳簿ノ頭初ニハ普通用紙ヲ挿入シ置キ其年度内ノ徴收總額、各期ノ徴收通知月日並ニ其徴收總額其
他必要ナル事項ヲ記スヘシ
 - 三 本簿ノ番號ハ賦課簿及徴收通知書ノ番號ト同一ナラシムヘシ
 - 四 備考欄ニハ延滞利子ヲ徴收シタルトキ之ニ關スル記事其他必要ナル事項ヲ記スヘシ
- 正 本簿ノ領收月日ニハ取扱人之ニ捺印シ且領收證ト割印ヲナスヘシ

收入金整理簿様式

年月日	摘要	收入豫算額	收入額	收入未済額
明治何年何月何日	第何款何々第何項何々第何目何々	一、五〇〇〇〇〇		一、五〇〇〇〇〇
同 同月何日	整理費何某外何名分收入		三〇〇〇〇〇	一、二〇〇〇〇〇
同 同月計	整理費何某外何名分收入		五〇〇〇〇〇	七〇〇〇〇〇
同 何月何日	何々		八〇〇〇〇〇	七〇〇〇〇〇
同 同月計	何々		一〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇
同 何月何日	何々		三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇
同 同月計	何々		四〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇
累計		一、五〇〇〇〇〇	一、二〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇

- 備考
- 一 收入豫算ノ各款(目)ニ口座ヲ設クヘシ
 - 二 月計及累計ヲ朱記スヘシ
 - 三 過誤納拂戻ノ如キ控除スヘキモノハ金額事由トモ朱記スヘシ

支出金整理簿様式

年月日	摘要	支出豫算額	仕拂額	差引豫算殘額
明治何年何月何日	第何款何々第何項何々第何目何々	一、五〇〇〇〇〇		一、五〇〇〇〇〇
同 同月何日	木口徑四寸長六尺松丸太杭		七〇〇〇〇	一、四三〇〇〇
同 同月計	何々		一〇〇〇〇	一、三三〇〇〇
同 何月何日	何々		一七〇〇〇	一、一六〇〇〇
同 同月計	何々		二〇〇〇〇	一、一三〇〇〇
同 何月何日	何々		一、一三〇〇〇	〇
同 同月計	何々		一、六三〇〇〇	〇
同 何月何日	何々		一、〇〇〇〇〇	六三〇〇〇
同 同月計	何々		一、〇〇〇〇〇	六三〇〇〇

ニ 利率

ホ 借入レノ年月日
ハ 償還方法並ニ其ノ豫定年次金額表
但シ認可ヲ要セサルモノハイ、ロノ事項ヲ要セス又承認ヲ受ケタル分ハ借入レ先ノ記入ヲ要セス
二 借入金償還報告

- イ 借入(認可)ヲ受ケタル年月日及指令番號
 - ロ 借入金額及借入先
 - ハ 償還シタル金額(元金ト利子トヲ區別ス)
 - ニ 償還シタル年月日
 - ホ 現在償還未済金額
- 但シ認可ヲ要セサルモノハイノ事項ヲ要セス
又認可ヲ受ケタル分ハ借入先ノ記入ヲ要セス

●耕地整理及產業組合資金供給ノ件

(大正四年八月二十一日
梨地收第二一三一號通牒)

内務部長ヨリ各(郡)市長宛

本年度耕地整理及產業組合低利資金ノ供給ニ付テハ、曩ニ通牒

ヘキコト

イ 耕地整理事業ニ付テハ府縣ノ場合ヲ除クノ外財務整理セラレテ舊債ノ償還ヲ怠リタルコトナク且整理施行地區内ノ土地所有者ニ於テ公課意納等ノ弊ナク事業ノ施行工事ノ仕様等設計書ノ定ムル所ヲ遵守シ成績良好ナルモノ

ロ 產業組合又ハ聯合會ニ在リテハ三事業年度ヲ經過シ其ノ基礎鞏固ナルモノニシテ曾テ不正ノ行爲ナク信用ヲ損シタル事實ナキモノタルコト但三事業年度ヲ經過セスト雖モ地方長官ニ於テ其ノ基礎特ニ鞏固ナリト認めタルモノハ此ノ限りニ在ラス

第二條 前條ノ資金ハ耕地整理事業資金ニ在リテハ新事業經營費ニ供給シテ殘餘アル場合ニ限り舊債償還費ニ充當セシメ產業組合資金ニ在リテハ左ノ各號ノ一ニ該當スル用途ニ對シテ供給方取扱ハルヘキコト

- イ 組合又ハ聯合會ノ固定資金(倉庫、器具、機械、土地、工場其ノ他ノ設備ニ充ツルモノニシテ組合又ハ聯合會ノ目的タル事業施行上缺クヘカラサルモノ)
- ロ 信用組合員又ハ信用組合聯合會ノ所屬組合ノ組合員ノ固定資金(前號ニ掲ケタルモノニ等シキ設備ニ充ツル

致候金額ニテハ要求ヲ滿タス能ハスト被存候ニ付其筋ニ於テハ日本勸業銀行ニ協議ノ結果同行ニ於テハ緊切ノ事業ニシテ且相當ノ資力ヲ有スルモノニ對シテハ同行資金ノ繰合付候限リ力メテ普通資金ヲ以テ申込ニ應スル答ニ有之候條御諒知相成度爲念此段及通牒候也

●耕地整理事業及產業組合資金取扱順序ニ關スル件

(大正四年七月二十一日
梨地收第一九七二號ノ一通牒)

内務部長ヨリ各(郡)市長宛

大正四年度以降ニ於テ大藏省預金部ヨリ融通セラルル耕地整理事業及產業組合資金取扱順序別紙之通り定メラレ候條御了知相成度此段及通牒候也

第一條 耕地整理事業及產業組合資金取扱順序

本件資金ハ耕地整理事業資金ニ在リテハ耕地整理組合共同施行ニ依ル耕地整理法ニ依リ發起ノ認可ヲ得タル者(一人施行ヲ除ク)及耕地整理事業助成ノ目的ヲ以テ工事又ハ設備ヲ行フ府縣ニ對シ產業組合資金ニ在リテハ組合及聯合會ニ對シ左ノ條件ヲ具備スルモノニ限り供給方取扱ハル

モノニシテ組合員各自ノ産業上缺クヘカラサルモノ)

トシテ貸付スヘキ組合又ハ聯合會ノ資金

ハ 組合又ハ聯合會ノ流通資金

- (一) 產業ノ原料(廣義)ニ屬スル物品即生計用品ニ非サルモノノ購入資金(肥料、種苗、工業原料等ノ購入ニ要スルモノ)
- (二) 販賣事業ニ關シ必要ナル資金

ニ 信用組合ノ組合員又ハ信用組合聯合會ノ所屬組合ノ組合員ノ産業上必要ナル流通資金トシテ貸付スヘキ組合又ハ聯合會ノ資金

ホ 前各號ノ用途ニ充當シタル組合又ハ聯合會ノ舊債償還資金

第三條 資金ノ供給ハ耕地整理事業資金ニ在リテハ地方長官ハ其ノ年度内ニ申請スヘキ貸付金ノ總額ヲ豫定シ其ノ豫定額ト當該年度ニ割當テラレタル金額トノ比ヲ算出シ置キ各申請ニ對シ權衡ヲ得セシムルコトヲ期シ產業組合共同資金借入ノ申請アリタル場合ニ於テハ速ニ各其ノ事業及財務ノ狀況資金需用ノ緩急並豫定ノ時期ニ於テ償還ヲ爲シ得ルコト確實ナリヤ否ヤヲ審査シ供給金額ノ決定ニ付意見ヲ定メラルヘキコト但シ特ニ抵當ヲ徵スルニ非サレハ貸付ヲ爲ス

コト能ハサル如キモノニ對シテハ本件資金ヲ融通スルノ限
ニ在ラサルヲ以テ注意セラルヘキコト

前項ノ外耕地整理組合ニ付テハ耕地整理法第八十條ノ認可
ヲ與ヘタルモノナリヤ否ヤ其共同施行ニ依ル耕地整理又ハ
舊耕地整理法ニ依リ發起ノ認可ヲ得タルモノナルトキハ資
金借入ニ關スル規約ノ規定又ハ土地所有者ノ同意ノ有無產
業組合及產業組合聯合會ニ付テハ資金ノ用途カ定款ニ定メ
タル事業ノ範圍ニ屬スルヤ否ヤ及償還期カ存立時期以內ニ
定メラレタルヤ否ヤヲ審査セラルヘキコト

第四條 舊債償還ノ爲ニ資金ヲ供給スル場合ニ在リテハ特ニ
舊債ニ依リテ遂行シタル事業ノ狀況及財務ノ整否ヲ調査シ
借替ニ際シ漫リニ償還年限ヲ延長セシムルコトナク又年賦
償還ノ舊債ニ付テハ借替ノ年度內ニ償還スヘキモノヲ借替
額ニ加算セシメサルコト

第五條 地方長官ハ前數條ニ依リ供給金額ヲ豫定シタルトキ
ハ北海道ニ於テハ金額ノ如何ニ拘ラス北海道拓殖銀行ニ府
縣ニ於テハ參萬圓以上ノモノニ在リテハ日本勸業銀行(第
九條但書ノ場合ニ於テハ農工銀行)ニ參萬圓未滿ノモノニ
在リテハ當該府縣ノ農工銀行ニ協議シ供給金額ヲ決定スヘ
シ協義整ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ當該銀行ノ意見書ヲ

添へ農商務大藏兩大臣ニ申請シ其ノ指揮ヲ受ケ前項ノ決定

ヲ爲シタルトキハ其ノ都度之ヲ農商務、大藏兩大臣ニ尙指
揮ヲ受ケテ之ヲ決定シタルモノニ付テハ當該銀行ニ各別ニ
通牒セラルヘキコト

第六條 前條ノ指揮申請書ニハ

甲 耕地整理事業資金供給ノ場合ニ在リテハ左ノ事項ヲ具
シタル書面、耕地整理組合ニ付テハ起債認可書ノ副本
共同施行ニ依ル耕地整理又ハ舊耕地整理法ニ依リ發起
ノ認可ヲ得タルモノニ付テハ資金借入ニ關スル規約ノ
規定各二通ヲ添付セラルヘキコト

イ 整理施行地區ヲ表示スヘキ名稱其ノ他ノ文字

ロ 整理施行地區ノ總面積及總地價

ハ 整理施行地區內ニ於ケル土地所有者數

ニ 整理施行者又ハ借入ニ關シ一切ノ權限ヲ有スル代表
者ノ氏名及住所

ホ 當該耕地整理事業ノ爲ニ要スル工費總額

ハ 資金ノ供給ヲ請求シタル額及其ノ用途並地方長官ニ

於テ決定シタル額

ト 第一條イ號ノ條件ニ適合スル旨

チ 第三條ノ審査概要

第八條 資金供給決定後用途ノ變更ヲ爲サムトスルモノアル
トキハ第五條ヲ準用スヘシ

第九條 日本勸業銀行ノ取扱ニ係ル本件資金ノ貸付ニシテ一
口參萬圓未滿ノモノハ農工銀行ヲシテ其ノ貸付ヲ代理セシ
ムヘシ但一口參萬圓以上ノモノト雖特別ノ事由アルトキハ

農工銀行ハ代理貸付ノ認可ヲ農商務、大藏兩大臣ニ申請ス
ルコトヲ得

第十條 農工銀行ハ第五條第一項ノ決定アリタル後直ニ日本
勸業銀行ニ代理貸付資金交付ヲ申込ムモノトス

第十一條 日本勸業銀行又ハ北海道拓殖銀行ハ速ニ貸付ノ結
果ヲ各口ニ付(日本勸業銀行ニ在リテハ代理貸付ノ分共)農
商務、大藏兩大臣及當該地方長官ニ報告スヘシ第五條ノ決
定ニ異動ヲ生シ又ハ貸付ヲ爲ササリシトキハ其ノ旨ヲモ報
告スヘシ

第十二條 大藏省(預金部)ニ於テハ第五條ノ通牒ヲ受ケタル
トキハ隨時勸業債券ヲ引受クルモノトス

第十三條 日本勸業銀行、北海道拓殖銀行ニ於テハ勸業債券
及拓殖債券ノ拂込ヲ受領シタルトキヨリ半箇月以內ニ貸付
金ノ仕拂ヲ了スルモノトス

第十四條 農工銀行ニ於テハ代理貸付資金ヲ受領シタルトキ

リ 資金ノ負擔ニ關スル地方長官ノ意見

ヌ 舊債償還ノ場合ニアリテハ舊債ノ額利率及償還方法

乙 產業組合資金供給ノ場合ニ在リテハ左ノ事項ヲ具シタ
ル書面各二通ヲ添付セラルヘキコト

イ 組合又ハ聯合會ノ名稱及組合長又ハ會長ノ氏名

ロ 設立許可年月日及存立時期

ハ 第一條ロ號ノ條件ニ適合スル旨同號但書ノ場合ニ於
テハ特ニ基礎鞏固ト認メタル事由

ニ 金額及其ノ用途

ホ 償還ノ方法及期限

ヘ 第三條ノ審査概要並意見

ト 最近ノ財産目錄貸借對照表並最近三事業年度ニ於ケ
ル毎年度ノ事業ノ分量及損益計算表

チ 資金ノ負擔ニ關スル地方長官ノ意見

リ 舊債償還ノ場合ニ在リテハ舊債ノ額、利率及償還方
法

第七條 第五條ノ農商務、大藏兩大臣ニ對スル通牒ニハ各資
金ニ付前條甲イ、ヘ、リ、ヌ又ハ乙イ、ニ、ホ、チ、リ、
ノ各事項ヲ具セラルヘキコト但シ指揮ヲ受ケテ之ヲ決定シ
タルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ヨリ半ヶ月以内ニ貸付金ノ支拂了スルモノトス

第十五條 日本勸業銀行、北海道拓殖銀行ニ於テ勸業債券又ハ拓殖債券ノ拂込金受領後事故ニ因リ貸付金不用ニ歸シタルモノアルトキハ其ノ金額ヲ限度トシテ第十二條ノ期限後一ヶ月以内ニ勸業債券又ハ拓殖債券ノ買入銷却ヲ行フヲ要ス但シ券面額ニ充タサル端數ハ之ヲ次期ノ計算ニ繰越スコトヲ得

第十六條 日本勸業銀行北海道拓殖銀行及農工銀行ハ耕地整理事業又ハ産業組合貸付資金ノ償還ニ付テハ各營業區域内ニ於ケル毎年度末迄ノ分ヲ取極メ其ノ期ニ於ケル償還ヲ受ケタリ額及未済ノ額ヲ區分シ償還未済ノ分ニ付テハ各口ニ付耕地整理地區ヲ表示スヘキ名稱又ハ其ノ他ノ文字及組合又ハ聯合會ノ名稱ヲ附記シ日本勸業銀行ハ代理貸付ノ分共農商務、大藏兩大臣ニ(直接貸付ニ付テハ當該府縣知事ニモ)北海道拓殖銀行ハ農商務、大藏兩大臣及北海道廳長官ニ農工銀行ハ當該府縣知事ニ報告スヘシ

第十七條 地方貸付資金勸定ハ別ニ補助簿ヲ設ケ他ノ勸定ト區別スルヲ要ス

第十八條 本資金ハ毎年打切り計算スルモノニシテ某年度ノ繼續事業費ニ對シ供給ヲ受ケタルモノト雖必シモ後年度分

トモ)以内ノ年賦又ハ五ヶ年以内ノ定期償還ノ方法ニ依リ貸付ヲ爲スコト

チ 日本勸業銀行及農工銀行ハ調査費ヲ徴收スル事ヲ得スリ 日本勸業銀行及北海道拓殖銀行ハ毎年二回ニ債券ノ償還ヲ爲スヘシ

第二十一條 耕地整理工事ノ爲ニ要スル勞力ニ對シ賃銀ヲ支給スル場合ハ可成之ヲ郵便貯金ニ預入レシムルノ手段ヲ講シ以テ勤儉貯蓄ノ美風ヲ涵養シ益本件ノ趣旨ヲ貫徹セシメラルヘキコト

第二十二條 毎年度道府縣ニ割當テラルヘキ本件資金ノ額ハ農商務大臣ニ於テ之ヲ決定シ毎年六月末日迄ニ各地方長官ニ通牒スルモノトス

第二十三條 前條ニ依リ配當シタル金額中殘餘ヲ生シタルトキハ農商務大臣ニ於テ其ノ道府縣ニ對スル配當金額ノ決定ヲ變更スルコトアルヘキヲ了知セラルヘキコト

●耕地整理ニ關スル件

(大正四年六月二十四日 梨地收第一八〇九號通牒)

内務部長ヨリ各(郡)市長宛

耕地整理組合起借認可稟請ノ場合ハ維持管理ニ要スルモノヲ

ニ對シ供給シ得ヘキ限ニアラサレハ誤解ヲ生セサル様豫メ注意ヲ與ヘ置カルヘキコト

第十九條 耕地整理事業資金ニ付テハ借入金ヲ受領シ支拂ヲ爲スニ至ル迄ノ間ニ在リテハ可成之ヲ郵便貯金ニ預入シ又ハ日本勸業銀行ノ貸付ニ係ルモノハ同行ニ委託シ(但シ農工銀行代理貸付ニ係ルモノハ同行ニ於テ本代理店トモ取扱フノモトス)拓殖銀行貸付ニ係ルモノハ同行ニ預入レシムルコト

第二十條 大藏省(預金部)ノ勸業債券及拓殖債券引受ノ方法及條件左ノ如シ

- イ 債券ノ種類 引受價格ハ別ニ之ヲ定ム
- ロ 債券ノ償還年限ハ二十ヶ年(据置期間トモ)以内トス
- ハ 農工銀行ノ代理貸付ノ手数料割合ハ日本勸業銀行三分農工銀行七分トス
- ニ 日本勸業銀行直接貸付ノ利率ハ年五分八厘農工銀行代理貸付ノ利率ハ參萬圓未満ハ年六分三厘參萬圓以上ハ五分八厘トス
- ホ 北海道拓殖銀行貸付ノ利率ハ年五分八厘トス
- ヘ 前二號ノ貸付利率ハ据置、年賦及定期期間共同率トス
- ト 日本勸業銀行及北海道拓殖銀行ハ二十ヶ年(据置期間

除ク外工事業費其ノ他一切ノ費用ノ事業年度別見積額ノ調査ヲ添付セシメラレ度此段及通牒候也

農務局長通牒四農局第八七一號(大正四年六月十六日)

舊耕地整理法第四十八條ノ認可アリタルモノニシテ未ダ耕地整理法第三十六條ノ登記ノ申請ヲ爲ササルモノニ付テハ改正施行規則附則ニ依リ可成速ニ管轄登記所ニ御通知相成度右ニ關シ換地交付認可書ノ謄本等ヲ要スル場合ニ於テハ請求ニ應シ交付スヘキニ付御諒知相成度尙耕地整理事業ノ爲日本勸業銀行等ニ於テ資金貸出ニ際シテハ維持管理ニ要スルモノヲ除ク外工事業費其ノ他一切ノ費用ノ事業年度別見積額ヲ調査ノ上決定スル趣ニ付起借認可ノ際豫メ此等ノ調査ヲ徵シ置候ハハ借入者ニ對シテモ便宜ノ事ト被認候條是亦御諒知相成度爲念此段及通牒候也

●簡易土地改良獎勵規程

(大正九年五月十日 縣令第二十六號)

大正一二年七月縣令第三三號、一五年七月同第八七

簡易土地改良獎勵規程左ノ通定ム

簡易土地改良獎勵規程

- 第一條 土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ面積一段歩以上ノ開墾地目變換又ハ濕田改良ヲ行フ者ニ對シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依リ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ當該年度内ニ竣成シタル工事ニ對シ交付ス
 - 一 開墾及開田ヲ目的トスル地目變換又ハ之ニ伴フ灌溉排水ニ關スル設備若ハ工事ニ要スル費用ニ對シテハ其ノ十分ノ五以内
 - 二 濕田ノ改良ニ要スル費用ニ對シテハ其ノ十分ノ三以内
- 第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ工事著手前第一號様式ノ申請書ニ第二號様式ノ設計書ヲ添付シ十二月末日迄ニ提出スヘシ
- 第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケル工事ノ開始又ハ終了ハ遲滯ナク其ノ旨届出ツヘシ
- 第五條 本規程ニ違背シ又ハ不正ノ行為アリタルトキハ獎勵金ヲ交付セス又ハ既ニ交付シタル金額ノ全部又ハ一部ヲ返還セシムルコトアルヘシ
- 第六條 本規程ニ依リ提出スル書類ハ事業施行地ノ町村役場及市役所ヲ經由スヘシ

附則

- 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 第一號様式
- 簡易土地改良獎勵金交付申請
- 今般別紙設計書ノ通何々工事施行致度候ニ付簡易土地改良獎勵規程ニ依リ獎勵金交付相成度此段申請候也
- 年 月 日 住 所 氏 名
- 知 事 宛
- 第二號様式
- 設計書
- 一 工事施行ノ現況
 - 二 工事計畫說明
 - 三 工事施行地ノ總面積
 - 四 工事ノ開始及終了ノ豫定期
 - 五 工事費豫算

開墾地移住家屋建築補助規程

(大正十四年二月六日)
(縣令第五號)
大正一五年七月縣令第九四號、昭和二年二月第九號
四年八月同第三二號改正

開墾地移住家屋建築補助規程左ノ通定ム

- 一 開墾地移住家屋建築補助規程
- 第一條 開墾地移住獎勵ノ爲本規程ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
- 第二條 補助金ハ開墾助成法ニ依リ事業ヲ施行スル地區ニ於テ移住ノ爲必要ナル家屋及共同建造物ヲ建築スル者ニ對シ家屋ニ在リテハ一戸當四百圓以内、共同建造物ニ在リテハ建築費精算額ノ四割以内ヲ交付ス
- 前項ノ家屋ハ一戸當建坪二十坪以上建築費壹千圓以上ニシテ其ノ規模各戸獨立シ耐久的ノモノト認メ得ヘキモノニ限ル
- 第三條 本規程ニ於テ家屋ト稱スルハ移住ノ爲必要ナル家屋及其ノ附屬建物ヲ謂フ
- 第四條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ様式第一號ノ申請書ニ左ノ書類及圖面ヲ添付シ毎年四月三十日迄ニ知事ニ提出スヘシ
 - 一 家屋(共同建造物)建築費豫算書(様式第四號準用)及其ノ說明書
 - 二 家屋(共同建造物)建築計畫書(様式第二號)
 - 三 開墾地ニ於ケル宅地、共同建造物敷地、道路、水路、

耕地等ノ配置ヲ示スヘキ全地區ノ略圖(縮尺六百分ノ一乃至六百分ノ一)

- 四 家屋ニ在リテハ宅地ノ面積、宅地内家屋其ノ他配置並家屋ノ方向、間取及其ノ名稱等ヲ示ス可キ平面圖(百二十分ノ一)、共同建造物ニ在リテハ敷地ノ面積、敷地内建造物ノ配置並建造物ノ方向、建坪及各部ノ名稱等ヲ示スヘキ圖面(様式第四號)並ニ設計仕様大要
- 五 開墾面積並移住家屋及共同建造物建築ノ年次別計畫
- 六 家屋、共同建造物又ハ土地ヲ貸付又ハ讓渡スル豫定ノモノニ在リテハ其ノ方法說明書
- 七 自作農扶殖其ノ他移住者保護獎勵ニ關スル施設アルモノハ其ノ說明書
- 第五條 第四條各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 但シ未タ補助金交付ノ指令ヲ受ケサル場合ニ在リテハ之ヲ届出ツヘシ
- 第六條 補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者家屋又ハ共同建造物ノ建築ヲ終リタルトキハ様式第三號ノ請求書ニ様式第四號ノ精算書ヲ添付シ遲滯ナク知事ニ届出ツヘシ
- 第七條 補助金ハ實地検査ノ上之ヲ交付ス但シ補助指令ノ後

第九編 産業 第四章 耕地整理及開墾助成

増加シタル費用ニ對シテハ之ヲ補助セス

第八條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者家屋又ハ共同建造物ヲ移住者ニ貸付又ハ譲渡スル場合ニ於テハ様式第五號ノ届書ニ當事者双方連署ノ上知事ニ届出ツヘシ

前項ノ貸付料ヲ算定スヘキ原價又ハ譲渡ノ價額ニ補助金相當額ヲ加算スルコトヲ得ス

第九條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ知事ノ認可ヲ受クルニ在ラサレハ補助金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十箇年間移住者以外ノ者ニ家屋又ハ共同建造物ヲ貸付又ハ譲渡スルコトヲ得ス

第十條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者其ノ家屋又ハ共同建造物ヲ譲渡シタル場合ニ於テハ讓受人ハ本規定ニ依ル義務ヲ繼承スルモノトス

第十一條 補助金交付ノ指令ヲ受ケ又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者若ハ第八條ニヨル讓受人ニシテ左ノ各號ニ該當スルトキハ其ノ指令ヲ取消シ又ハ補助金ノ全部若ハ一部ヲ返還セシムルコトアルヘシ

- 一 第五條第八條及第九條ニ違反シタルトキ
- 二 補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三 詐欺ノ手段ヲ以テ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ
 第十二條 本規程ニ依リ知事ニ提出スル書類ハ開墾事業施行地ノ所屬市町村長ヲ經由スヘシ
 第十三條 本規程ニ於テ年度ト稱スルハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

附則

本規程ハ大正十三年四月一日以後ニ建築シタルモノニ對シ之ヲ適用ス

様式第一號

開墾地移住家屋(共同建造物)建築費補助金交付申請書

大正十四年二月六日縣令第五號開墾地移住家屋建築補助規程ニ依リ補助金交付相成度別紙關係書類及圖面相添へ此段申請候也

年 月 日
 住 所
 申請者 氏 名 印
 知事宛

様式第二號甲

開墾地移住家屋建築計畫書

地區名

開墾助成指令年月日番號

(未指令ノモノハ) 出願年月日

番 號	建 種	間 數	坪 數	建築材料	建築費	起工及竣工時期	宅 地	建築者	附 記
一ノ一	住 屋	幾 間	何 坪	木造瓦葺	何 圓	年 年	何 坪	何 誰	
一ノ二	納 屋	幾 間	何 坪	木造草葺	何 圓	年 年			
二ノ一	住 屋	幾 間	何 坪	木造草葺	何 圓	年 年	何 坪	何 誰	
二ノ二	厩 屋	幾 間	何 坪	木造板葺	何 圓	年 年			
計									

備考

附記欄ニハ自作移住、自作兼小作移住者、小作移住又ハ移住者貸付シ何箇年賦賣渡ノ豫定等ヲ記載スルコト

樣式第二號乙

開墾地共同建造物建築計畫書

地區名

開墾助成指令年月日番號

(未指令ノモノハ)
出願年月日

番號	共同建造物種類	構造	建築費豫算	使用目的	起工及竣工時期		敷地面積	建築者	附記
					年	月			
一	公會堂	木造瓦葺坪	何圓	集會其ノ他何々	年	月	何坪	何誰	
二	共同作業場	木造亞鉛板葺坪	何圓	收穫調製何々	年	月	何坪	何誰	

備考

附記欄ニハ移住者ノ建築、移住者ニ貸與ノ豫定等ヲ記載スルコト

樣式第三號

開墾地移住家屋(共同建造物)建築補助金請求書

地區名

補助金交付指令年月日番號

右今般家屋(共同建造物)竣成致候ニ付御検査ノ上補助金交付相成度別紙建築費精算書相添ヘ此段請求候也

年月日

住所

申請者 氏

名印

知事宛

樣式第四號

開墾地移住家屋(共同建造物)建築費精算書

地區名

家屋(共同建造物)番號

出願者 氏

名

工事費内訳

名 稱	材 料		長	高	數量	單 價	金 額	附 記
	松 角	何 々						
勞 力	大 工	何 々						
其 他	何 々	何 々						
計								

備考

本表ハ一月毎ニ作成スヘシ
 一人ニテ數戸ヲ建築シタルモノハ一月毎ニ作成シ家屋(共同建造物)ヲ表示スル記號ヲ附ス可
 共同建造物ニ在リテハ設計仕様大要並左ノ圖面ヲ添附ス可シ
 イ 平面圖(五十分ノ一)
 ロ 正面及側面背面(五十分ノ一)
 ハ 主要ナル部分ノ斷面圖

様式第五號

開墾移住家屋(共同建造物)貸付(讓渡届)

- 一 地區名
- 二 家屋(共同建造物)番號
- 一 貸付料(讓渡價額)

大正 年 月 日 指令第 號ヲ以テ補助金交付相成
 候移住建築家屋(共同建造物)貸付(讓渡)致度借受
 (讓受)ノ上ハ開墾地移住家屋建築補助規程ヲ堅ク遵
 守可致候條同規程第八條ニ依リ此段及御届候也
 年 月 日

住 所
 貸付人(讓渡人) 氏 名 印
 住 所
 借受人(讓受人) 氏 名 印
 知 事 宛